

三木市体育協会40周年記念誌

さわやかな汗

光ります

夢と感動の40年



三木市体育協会

— スポーツマン綱領 —

スポーツは人間だけがもつ文化の一つである。

これをより高く、美しいものにするには、スポーツを行うものの精神とそれを取りまく環境の清らかなことが必要である。美しいスポーツマンシップは、このような世界のなかで生まれ、やがて生活を導く基として社会のために貢献するであろう。故にスポーツマンは競技場にあると同じ精神と態度で生活し、りっぱな社会人でなければならない。

ここに真のスポーツのあまねくゆきわたり、すべての人のものとして発展することを希い、スポーツマン綱領を定めた。

◎競技するものはスポーツを愛好し、ひいてはそれを心と身体の糧とし、明るい光とすがすがしい空気の中で、純粹にスポーツを行うこと。

◎競技するものは、スポーツを行うことによって、社会的名声や物質的な利益を得ようという考えをもたないこと。

◎競技するものは、審判の判定を重んじ、その決定に満足しない場合でも感情に支配されぬ行動をとること。

◎競技するものは、つねに明朗で相手を尊重しつつ自分の最善をつくし、その成果に満足すること。

◎競技を審判するものは、規則に従って公平に判断し、競技を明るくなめらかに進めること。

◎競技を見るものは感情にとらわれた応援をせず、美しい精神とすぐれた技をたたえスポーツのよりよい発展を希うこと。



体育協会旗

歴代体育協会会長



初代会長 故 井 本 政 夫
(昭和29年～36年)



第2代会長 故 衣 巻 顕 明
(昭和37年～42年)



第3代会長 鷺 尾 弘 志
(昭和43年～)

INDEX

三木市体育協会旗

歴代体育協会会長

スポーツマン綱領

ごあいさつ

老いも若きも「ドウ・スポーツ」	三木市体育協会会長	鷲尾 弘志……………	1
-----------------	-----------	------------	---

祝 辞

スポーツはまちづくりの大きな推進力	三木市長	加古 房夫……………	2
-------------------	------	------------	---

40周年を祝して	三木市議会議長	五百蔵利治……………	3
----------	---------	------------	---

祝 辞	財団法人兵庫県体育協会会長	貝原 俊民……………	4
-----	---------------	------------	---

40周年記念誌発刊に寄せて	三木市教育長	澤田 頼男……………	5
---------------	--------	------------	---

ますますの飛躍を祈って	(財)三木市スポーツ振興基金 理事長	倉澤 豊治……………	6
-------------	--------------------	------------	---

三木市体育協会40周年記念「なつかし・おもしろ」写真展

三木市体育協会のあゆみ

年度別主な出来事（昭和29年～平成6年）

輝かしき栄冠

単位協会のひろば

陸上競技協会	陸上競技協会40年あれこれ……………	29
野球協会	半世紀のあゆみ……………	32
バレーボール協会	「バレーボール協会」の40年……………	34
卓球協会	40周年記念に寄せて……………	36
柔道協会	選手の育成から市民の健康づくりまで……………	38
ソフトテニス協会	40周年記念を祝して……………	39
剣道連盟	「礼節・いつくしみ・節度」を大切に……………	40
空手道連盟	わが連盟のあゆみ……………	43
水泳協会	体育協会40周年を迎えて……………	44
サッカー協会	三木市のサッカーのあゆみ……………	45
バドミントン協会	生涯スポーツとして……………	48
バスケットボール協会	子どもたちとともに……………	51
テニス協会	協会のあゆみ……………	54
ソフトボール協会	レベル向上をめざして……………	56
ゲートボール協会	市民ゲートボール協会の歩み……………	59

会員のひろば

愛ちゃんに思う	卓球協会	武庫 富美子……………	62
私の人生、体育人生	陸上競技協会	池町 耕一……………	62
私の望みたい事	バドミントン協会	澄川 稔子……………	65

INDEX

心身共にリフレッシュノ	ソフトテニス協会	新田 為章……………	66
四つ葉のクローバー	バスケットボール協会	横野 泰祐……………	67
私とバドミントンとの出会い	バドミントン協会	中西 久昌……………	68
私とゲートボール仲間	ゲートボール協会	近藤 善夫……………	69
全国健康福祉祭いわて大会の思い出	ゲートボール協会	米村 寿子……………	70
「やったー。優勝だノ」	野球協会学童の部	三木小学校 6 年 岡田 真治……………	71
剣道との出会い	剣道連盟	神澤 正輝……………	72
バドミントンは私の一生の友	バドミントン協会	大片 貞雄……………	73
念願の全国大会出場ノ	サッカー協会	岸本 諒介……………	74
柔道とともに	柔道協会	池田 哲雄……………	75
スポーツから得たこと	空手道連盟	黒田 成樹……………	76
上には上がある	ソフトボール協会	岡本 仁……………	76
三木市と私とバレーボール	バレーボール協会	川島 富雄……………	77
つづけていてよかった	水泳協会	三木小学校 6 年 北村 エミ……………	79
ぜんぜん泳げなかったほくが	水泳協会	三木小学校 3 年 小西けんじ……………	80
らいねんはわたしもせんばいに	水泳協会	三木小学校 1 年 よこたにゆか……………	80
毎週泣いていたわたし	水泳協会	三木小学校 5 年 坂本真梨子……………	81
やすんだらあかん	水泳協会	三木小学校 1 年 あおきゆうた……………	82

三木市体育協会40周年記念事業

事業内容……………	83
三木市体育協会40周年記念事業実行委員名簿……………	84
三木市体育協会40周年記念体育功労被表彰者一覧……………	85
三木市体育協会40周年記念スポーツ大会一覧……………	85
平成6年10月10日 40周年記念の日 「スナップショットノ」……………	86

資 料 編

三木市体育協会組織図……………	89
平成6年度三木市体育協会役員・事務局員名簿……………	90
平成6年度種目協会役員名簿……………	92
三木市体育協会歴代役員名簿……………	94
三木市体育協会規約……………	101
三木市体育功労者表彰者一覧……………	105
三木市スポーツ賞受賞者一覧……………	107
三木市スポーツ賞表彰規則……………	110
三木市立のスポーツ関連施設……………	112

あとがき



老いも若きも「ドウ・スポーツ」

三木市体育協会会長 鷲尾 弘 志

三木市体育協会も協会関係者の努力と市民各層の体育に対する情熱のもと、年と共にスポーツ参加層の拡大と競技力の向上等大きな成果をあげてまいり、ここに、栄えある40周年の今日を迎えることとなりました。

創設以来40年、本市における体育活動の中心であり組織活動の中心として体育、スポーツの普及振興に惜しめない努力と御指導をいただいた先輩、そして体育協会関係者のご協力、ご支援に深く敬意を表すとともに心から感謝申しあげる次第であります。

申しあげるまでもなく、近年の都市化の進行とわが国、社会の急激な変貌は、身体活動の場を狭めるとともに自然に親しむ機会を少なくするなど、心身ともに健康で文化的な生活の維持を難しくする傾向のなかで充実した日常活動への希求心を満たすことは、今日将来を問わず重要な課題と考えられます。こうした中で、日常活動のひとつとして、子どもから高齢者にいたる広い範囲で定着しつつある体育、スポーツの果す役割は、単に健康づくりのみならず、円満な社会生活の根源ともいわれ重要さを加えつつあるものと存じます。

今私たちは、情報化時代、高齢化社会を迎えようとしておりますが、21世紀を目指し老いも若きも「ドウ・スポーツ」により健康でしかも心豊かな人間性を、「共に生きる」隣人愛にもとづく文化的生活の実現にむけて新しい時代の観点に立つとともに市民の要請に即応出来る市民スポーツの振興を推進することが当協会に課せられた使命であり、その重大さを十分認識し40周年を契機に関係者一同、体育・スポーツ振興への決意をあらたにするものであります。

ここに記念誌を発刊するにあたり三木市体育協会の輝かしい40年の歩みを振りかえり、更に全市民のスポーツ振興へと飛躍発展することを祈念し、発刊の辞といたします。



スポーツはまちづくりの大きな推進力

三木市長 加古 房 夫

三木市体育協会が、このたび創立40周年を迎えられ、その歩んでこられた道程を綴り、将来への飛躍を誓う記念誌が発行されますことは、誠に意義深く、心からお喜びを申し上げます。

顧みれば貴会は、昭和29年、三木市誕生とともに、戦後の混乱した社会情勢のなかで、スポーツに希望を託し、青少年の健全な育成をめざして、スポーツを愛好される皆様方のご尽力により結成され、爾来、今日まで、歴代会長様をはじめ、役員並びに会員の方々の固い絆のもとに、その基盤をより堅固なものに高めるとともに、地域スポーツの普及、振興を通じ、三木市の発展のために、ご努力を重ねられてこられましたことに心から敬意と感謝の意を表するものでございます。

今、三木市では、「より心豊かな市民生活の実現」をめざして全力を挙げ取り組んでいるところでありますが、生涯スポーツの振興と市民の体力増強はその源泉であり、また、スポーツをつうじた市民の和の形成はまちづくりの大きな推進力となりますことから、皆様方のご活躍が明日の三木市づくりにつながっておりますことを大変うれしく存じます。

本市におきましても、市民の皆様方の心と心がふれあう社会、温かい思いやりにあふれた社会の実現に向けて、市政の推進に精一杯の努力を傾注してまいり所存ですので、地域に根ざしたコミュニティ活動を展開されております貴会の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、貴会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申しあげ、お祝いの言葉といたします。



40周年を祝して

三木市議会議長 五百蔵 利 治

三木市体育協会が結成40周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

このたび、三木市の誕生とともに結成されてから今日までの体育協会の活動記録をまとめられました記念誌が発刊されましたことは、本市の変遷をひもとくうえからも誠に意義深いものであり、鷲尾会長様をはじめ、役員並びに会員の皆様方の御労若に対し、深甚なる敬意を表する次第でございます。

さて、戦後、わが国経済社会の急速な進展に伴い、生活様式の変化とともに、余暇時間が増大し、生涯を健康で生きがいをもって暮らすための手段としてのスポーツへの関心が年々高まり、子供たちの身体の発達、体力がめざましく向上してまいりました。

しかしながら、一方では、ひ弱な子供たちや成人病等の増加傾向といった多くのひずみを生じている現状にあり、次代を担う青少年の健全育成策、さらには、生涯の健康づくりとしてのスポーツが、より一層奨励されていくものと確信いたしております。

貴協会におかれましても、スポーツに強い熱意と誇りをもって、その普及、啓発に努め、スポーツ人口の大幅な拡大を図るとともに、青少年の心身の健全な育成、こころ豊かな人づくり、さらには、生涯を通じての健康づくりをめざして40年の輝かしい足跡を残されたのでありまして、その事業活動が一步一步着実に実を結びつつあることを大変うれしく存じている次第でございます。

今後とも、ますますスポーツの振興が図られ、健康と明るさが息づく活力あるまちづくりに格段の御精進を賜りますよう心からお願い申し上げますとともに、体育協会のより一層の御発展と皆様方の御健勝、御多幸をお祈りいたしまして御挨拶とさせていただきます。



祝 辞

財団法人兵庫県体育協会会長

貝原俊氏

このたび、三木市体育協会が創立40周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

近年、自由時間の増加や健康への関心の高まりとともに、スポーツに参加する人たちが増えています。

こうしたなかで、三木市体育協会が、市民スポーツ教室や市民マラソン大会など、住民参加型の運営による積極的な取り組みを展開し、生きがいづくりや健康づくりの輪を大きく広げておられますことは誠に意義深いことであり、長年にわたり実りある成果を収めてこられた歴代会長をはじめ、関係各位に深く敬意を表します。

今後とも、皆様方とともに、県民スポーツの振興を図り、真の豊かさが実感できる、このころ豊かな兵庫、の実現に努めてまいりますので、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、新たな歴史に向かって歩みはじめた三木市体育協会が、今後ますます充実発展されますことを心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



40周年記念誌発刊に寄せて

三木市教育長 澤 田 頼 男

三木市体育協会が結成されて40年、このたび、その歩みを綴った記念誌が刊行されますことは、誠に意義深いことであり、心からお祝いを申し上げます。

三木市も今年は、市制施行40周年を迎えておりますが本協会の歩みは、まさに三木市民が刻んだ体育、スポーツの確かな歴史と言えましょう。ひと口に、40年といっても、これは大変な重みと中味を有しており、協会を支えて発展にみちびいてきてくださった歴代の役員や多くの会員の方々のたゆみない努力のたまものであります。

特に、鷲尾現会長には、長年にわたって体協組織の拡大充実はもとより、スポーツ諸団体の育成発展に多大のご尽力をいただいていたところであり、心から敬意と感謝を申し上げる次第です。

さて、現在の社会は、大きな変化を遂げながらも、来たるべき21世紀へ向って着実に進展しております。中でも特徴的なこととして、日本人の平均寿命の延長、また労働時間の短縮に伴う週休2日制の定着、さらに学校週5日制の実施など、市民の余暇時間の拡大は市民生活にも大きな影響を与えつつあります。一方、経済バブルの崩壊により、人びとのニーズや価値観も、かつての物の豊かさの追求から、むしろ精神的なもの、心の豊かさを求める方向に強くなってきています。特に幸せな生活を営む条件として健康に対する関心の高まりとともに、生涯を通じた体育、スポーツへの参加が盛んとなってきました。

三木市教育委員会では、これらの社会状況を踏まえて、年々、社会体育行政の強化充実を図って来ており、今後共、スポーツ振興を通じて市民の健康保全、体力の増強、生きがいづくりなどをめざして積極的に取り組みをすすめて考えておりますが、これが推進に当っては、市体協との連携が不可欠であり、今後一層のご支援とご協力を期待してやみません。

どうか、三木市体育協会が、40周年を契機として、さらなる飛躍発展されんことを心から祈念してお祝いのことばといたします。



ますますの飛躍を祈って

(財)三木市スポーツ振興基金 理事長 倉澤 豊 治

三木市体育協会が輝かしい40周年をお迎えになり、その数々の記念事業の一環として40周年記念誌を発行されるに当たり、心よりお慶び申し上げます。

三木市の歩みを振り返りますと、ちょうど40年前の7月1日に旧志染村と三木市との合併により現在の三木市が誕生し、去る7月1日に盛大に記念式典が挙行されたのでありますが、その同じ昭和29年7月1日に三木市体育協会が大きな期待と抱負のもとに結成されたのであります。当初7団体で発足した体育協会が、その間に次々と加盟団体を加え、40年後の今日では、15団体となり、文字どおり2倍の規模に発展し、スポーツにいそしむ市民のすべてが参加するまでに成長して参りました。まさに三木市の着実なそして飛躍的な発展とその歩みを共にして来られたのであります。

三木市におかれては、「21世紀のふるさと ガーデンシティみき」の創造を目指し、その大きな5つの柱の中に「こころ豊かな人づくり」「健康で明るい地域社会づくり」が掲げられています。スポーツの振興、助成に大きな貢献を果たして来られた体育協会のご活躍こそ、まさにこの市政の目標実現の最大の推進力の一つと申しても過言ではないと存じます。それだけに、三木市体育協会の発展に対する市民の方々の期待は誠に大きなものがあります。

三木市のため、三木市民一人一人のために、貴協会のますますの飛躍、発展あらんことをお祈りして40周年に当ってのお祝いの言葉といたします。

三木市体育協会40周年記念 「なつかし・おもしろ」写真展



▲昭和52年11月5～6日（国立陸上競技場）
第8回ジュニアオリンピック陸上競技選手権大会での金鹿玉緒（三木中3年）。この年、県中学校総体800m優勝、
近畿2位と輝かしい成績を収める。

三木市体育協会のあゆみ

（敬称略）

昭和26年3月15日、美濃郡三木町が久留美村を編入し、29年6月1日に別所村、細川村および、口吉川村と合併して三木市制を施行、兵庫県下で16番目の市として発足。同年7月1日、志染村と合併し現在に至っている。市制施行当時の人口は、3万9千余人で、7千8百世帯であった。

時間同じくして、7月1日にそれまで各種単体であった体育・スポーツ団体が連携し、初代会長井本政夫を迎え、三木市民のよりいっそうの体育・スポーツの普及振興をはかることを目的として、三木市体育協会を結成した。当初の加盟団体は、陸上競技・排球・軟式庭球・野球・柔道・剣道・卓球の7種目団体であった。

同年、市内各地区の親睦と戦場のレクリエーションに資する第1回職域対抗バレーボール大会を開催。三木中学校特設コートに於て、選手・応援300人が参集の中、熱戦が繰り広げられた。この大会が、バレーボールが三木市に於て普及するきっかけとなった。

昭和30年、まだまだ生活水準も高くない時代であったが、三木市では時代の先端を行くスキー教室を第1回スポーツ教室として峰山グレンデに於て開催している。

同年7月に第1回市民排球大会が排球協会の主催で開催された。

昭和32年9月22日に、急願であった第1回三木市民総合体育大会が、三木中学校・三樹小学校・三木高等学校



▲昭和49年8月20日（滑原商店街）
輝かしく準優勝パレード。ちょうど、体育協会20周年の記念の年でした。
三木中男子バレーボールクラブ（川島富雄）

おもしろ
写真賞



▲昭和32年1月（神鍋スキー場）
青年団のスキー旅行。当時の最先端に行く、スキーファッションです。「サングラスがいかしてるノ」
（西垣弘志）

昭和44年6月（別所小学校）▶
別所小学校運動会。今はなつかしい木造校舎。「このとき10歳の息子も、今は2人の子の親」
（山下亮由）



で三木市体育協会の主催で行なわれ、陸上競技・排球・庭球・野球・柔道・剣道・卓球の7種目団体、1,500人の参加を得て盛大に行なわれた。

昭和33年2月23日に、三木市陸上競技協会の主催による、市内一周駅伝大会が開催された。現在は、交通量の増加により行なわれなくなったが、代って昭和42年2月11日に第1回建国記念市民ロードレース大会が開催され、現在ではみっきいふれあいマラソンとして、引きつがれている。

昭和40年10月10日の体育の日には、第1回三木市民ハイキングが、健康と体力づくりを目的として行なわれ、今年で29回を数え、家族づれの参加も多く好評である。

この頃から、体育協会の地道な努力が実を結び、優秀な選手が育つようになった。そこで、昭和43年7月に三木市における体育・スポーツの成績優秀者を表彰し、市民の範とするとともに、スポーツを広く市民に普及させることを目的として、「三木市市民スポーツ最高賞選定規則」が制定された。さらに、平成元年には、よりきめの細かい表彰を行なうため全面改正がなされ、今に至る「三木市スポーツ賞表彰規則」が制定された。

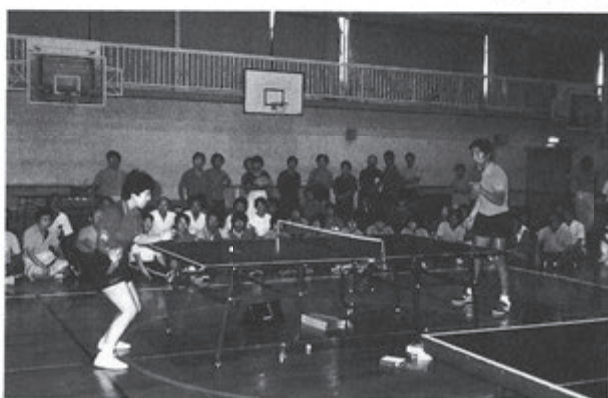
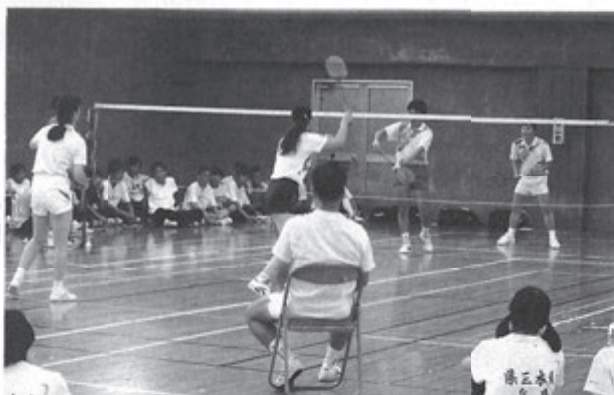
昭和43年には、県立三木高等学校空手道部OBを主体とした、空手道同好会が結成され、三木市体育協会に加盟し、8種目団体となる。

その年の10月に、協会は衣巻前会長の突然の死去によ



◀昭和49年 8月14～17日（東京）
三木中男子バレーボールクラブ準優勝の快挙！
「微のおとりAクイックで秋葉の攻撃がドンビ
シャに決まる」（川島富雄）

▶平成5年 9月15日（勤労者体育センター）
元日本チャンピオン北田スミ子を迎えてのバドミ
ントン選手強化練習会。「さすがに、北田は強かった」



◀昭和61年 8月24・25日（三木東高等学校）
元中国チャンピオン王会元を迎えての、少年及び指
導者卓球教室。「三木の女王武庫もハッスル！」

り役員会を開催し、三代目会長に鷲尾弘志、副会長兼理
事長に大林嘉蔵、副会長横山昌、理事に、前田薫、渋谷
守、岡野清、岡田逸治を選出した。

昭和44年11月23日に、第1回三木市民家庭バレーボ
ール大会を開催。三樹小グラウンドに於て75チームが参加し
た。この大会は、市民の健康意識の高揚と相まって、三
木市の社会体育を代表する行事となり、昭和58年第19回
大会では、参加チーム数173チーム、参加者数2,000人と
いう一大行事にまで発展していった。この三木市におけ
るバレーボール熱は、他市に類を見ないものがある。その
バレーボール熱に支えられて、昭和48年12月には三木
中学校男子バレーボール部が、大阪商大付属高校で行な

われた近畿大会で優勝、翌年8月には、東京で行なわれ
た全国中学生バレーボール大会で準優勝という輝かしい
成績を収めたのをはじめ、昭和57年12月、「三木排登会」
が近畿クラブバレーボール連盟発足記念大会で優勝、昭
和58年9月には、全国家庭婦人バレーボール大会に於て、
「自由が丘ママさんクラブ」が銀メダルを受賞という栄
誉に輝いた。又、昭和52年2月には、三木市体育指導員
の主管でバレーボールの正しい理解と審判員の養成を目
的として、三木市民家庭バレーボール審判員養成講習会
が開催された。

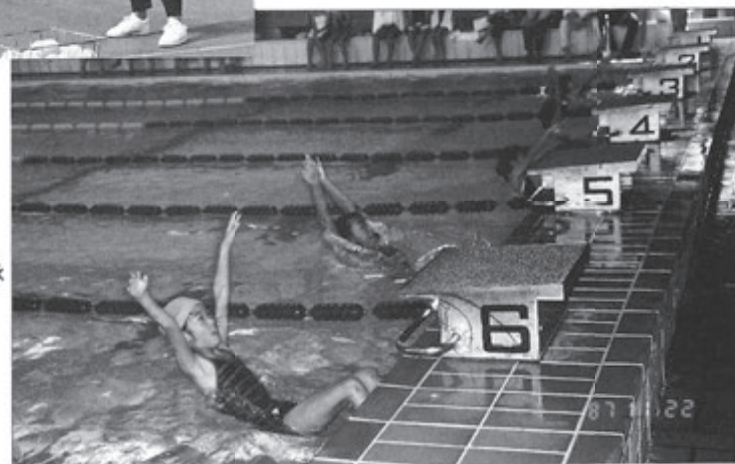
昭和48年4月には、三木市水泳協会が、三木市体育協
会に加盟。そして、昭和50年8月17日に第1回三木市民

平成2年10月14日(緑が丘小学校)▶
範士八段村山慶佑を迎えての剣道選手
強化練習会「口髭がいかに強そう！」



◀平成5年8月9日(高木公園テニスコート)
テニス教室。若いギャルがいっぱい。指導にも力が
入ります。

昭和62年11月22日▶
(グリーンピア三木プール)
法人設立記念少年スポーツ大会「背泳
ぎ決勝。早くもスタートでリード」



水泳大会が同協会の主催で、三木中学校プールに於て開催された。

昭和48年4月18日に、三木市の市木(松)市花(さつき)が制定された2周年記念として、普及と緑化運動を推進するために、三木市民ハイキングが、市役所→城山橋→跡部→加佐のコースで行なわれた。

昭和49年2月には、スポーツ少年団を中心に、第1回少年サッカー大会が、三樹小、三木小学校のグラウンドに於て開催される。同年4月、三木サッカー協会が三木市体育協会に加盟。

昭和49年6月30日に、三木市制20周年記念体育大会が、三木市体育協会の主催で市民1,500人が参加し、県立三

木高等学校グラウンドを主会場として開催され、開会式で永く三木市の社会体育・スポーツに貢献された方々に感謝状を贈る。

昭和49年頃、スポーツ・レクリエーションの普及には、体育施設の整備は必須の事項であると市当局に訴え、市当局と地元住民の協力もあって、昭和51年10月1日には別所町巴に野球場・テニス兼バレーボールコートが、昭和52年には、三木勤労者体育センターが、昭和56年には、高木コートがオープン。また、地域の社会教育・社会体育の拠点としてミニ体育館を備えた新公民館が、昭和53年に別所町、昭和55年に志染町、昭和56年に自由が丘、昭和57年に緑が丘町、昭和58年に口吉川町、昭和59年に



▲昭和55年5月（別所町公民館）
別所公春まつり協賛柔道大会「決まるか？大外刈り」



▲昭和62年11月22日（勤労者体育センター）
記念すべき第1回小・中学生卓球大会。「明日のチャンピオンをめざして！」



▲昭和63年6月25日（武川道場）
播丹少年柔道優勝記念。武川茂夫（故）は常深陽太郎（故）とともに、三木柔道の育ての親であった。

細川町にそれぞれオープンし、スポーツサークルが爆発的に増加。市民スポーツの輪が大いに広がるきっかけとなった。

昭和52年8月21日には、三木市民バドミントン大会が、三木バドミントン協会の主催で開催される。翌53年4月に三木バドミントン協会が、三木市体育協会に加盟、同年7月には、技術の普及と会員の募集を目的として、第1回家庭婦人バドミントン教室が行われた。

昭和53年8月27日には、第1回三木市民ソフトボール大会が、三木市ソフトボール協会の主催で行われた。翌54年4月に三木市ソフトボール協会が、三木市体育協会に加盟。昭和58年10月23日には、第25回兵庫県都市対

抗ソフトボール大会が三木市で県下19市町を迎えて開催された。この大会で三木市代表の「緑が丘西三丁目チーム」が準優勝をするなど、ソフトボール熱も年々高まっている。

昭和55年5月には、三木市硬式庭球協会が、三木市体育協会に加盟。昭和57年9月、同協会主催の硬式テニス市民大会が高木コートで開催された。

昭和59年は体育協会30周年の年。7月に、市制・体協30周年記念市民総合スポーツ大会が開催され、開会式において27名が体育協会の功労表彰を受け、また、30年の歴史を綴る、体育協会記念誌が初めて発刊された。

昭和60年5月には、三木青年会議所と陸上競技協会が



▲平成元年7月30日（三木東中プール）
新築なった三木東中。中京大学水泳部監督を囲んで「左端のめだっている方はどなたですか？」

昭和49年10月（市民体育館）▶
空手道の練習風景。館内は大きな掛け
声が響き渡り、緊張感がみなぎる。



主催する、第1回三木山ふれあいマラソンがスタート。ファミリーの部や、各種バザーを設けるなど、家族や、参加者相互のふれあい、親睦を協調したお祭りの雰囲気あふれるスポーツイベントで多数の参加者でにぎわった。

同年10月には、トレーニングルームやミニ体育館を備えた、サンライフ三木がオープンした。その後のスポーツ施設としては、昭和62年に、クリーンセンター庭球場及び緑が丘スポーツ公園が、平成元年には、三木グリーンパークグラウンドが、平成2年には、三木山総合公園に野球場がオープン、平成3年には、三木コミュニティスポーツセンターがオープン、平成4年には、三木山総合公園陸上競技場、翌年には、同スタンド及び、青山公

民館が、そして平成6年には、屋内ゲートボール場が完成した。今後の計画として、屋内温水プール、総合体育館が計画されており、三木市行政の市民スポーツに対するご理解とたゆまぬご努力により、着々とその整備が進められているところである。

昭和61年、この年は、三木市のスポーツにとって大きな記念すべき年となった。三木市のより一層のスポーツの振興のためにと、岡田金属工業所の山本社長より、多額の寄付金を受け、その寄付金を運用するための三木市スポーツ振興基金運用委員会が結成され、翌年には、財団法人三木市スポーツ振興基金が設立された。事業として、さっそく、卓球、ソフトテニス、サッカーの教室や、



▲昭和50年2月11日（大宮神社）
建国記念日の奉納演武。少女の顔もみられます。



▲昭和55年10月（勤労者体育センター）
家庭的なふんいきあふれる、三木バドミントン協会創立時のメンバー。

元プロ野球選手「鈴木啓示」の講演会が開催され、また、県、近畿、全国レベルの各種大会への選手派遣助成が行なわれるようになった。また、当体育協会へも、体育振興のために多額の助成をいただいている。その後、基金事業も多種多様に及び、水泳、バドミントン、剣道、バレーボール、バスケットボールなどの選手強化、指導者育成、有名選手を招いてのスポーツ講演などが活発に開催され、他市町の体育関係者の羨望的になっている。昭和62年に開催された、少年スポーツ大会も今年で、第8回を迎えることになった。

また、昭和61年11月には、ゲートボールに続く、高齢者のスポーツとしてグラウンドゴルフの講習会がおこな

われた。

昭和62年には、三木市民ロードレース大会も20回を迎え、第20回記念10キロロードレースが実施された。

同年4月には、体育協会の14番目の単位協会としてバスケットボール協会が加盟した。

平成元年には、体育協会35周年記念式典を行ない、体育協会功労者23名が表彰され、元プロ野球選手「衣笠祥雄」のスポーツ講演会が開催された。

平成4年は、15番目の単位協会として、市民ゲートボール協会が加盟。高齢者が中心となって活動される初の単位協会で、今後、迎えるべき高齢者社会に向けて、意味のある加盟であった。



▲昭和49年1月（三木小学校グラウンド）
発足もないサッカー協会の記念すべき第1回少年サッカー大会。
「三木少年サッカーの夜明けだ！」



▲昭和61年11月22日（沖縄市）
全国社会人サッカー選手権大会出場の三木フットボールクラブ。市民体育館での猛練習で、
「体育館サッカー花開く」と全国紙に紹介。

平成5年8月には、完成新しい三木山総合公園陸上競技場で、国民体育大会近畿ブロック大会少年サッカーの部の予選が行なわれた。

平成6年3月には、昭和42年より開催されていた、三木市民ロードレース大会と昭和60年より開催されていた、三木山ふれあいマラソンを統合し、初めて、市街地道路を本格的にコース設定した第1回みつきふれあいマラソンが開催され、全国各地から、約2千名以上の参加を得、盛大に開催された。

同じく、9月第2土曜日には、体育指導委員会主催による第1回ふれあいスポーツデーが開催され、家族づれの参加者が、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴル

フ、キックベースボール、輪投げなどのニュースポーツ、レクリエーションスポーツを楽しんだ。

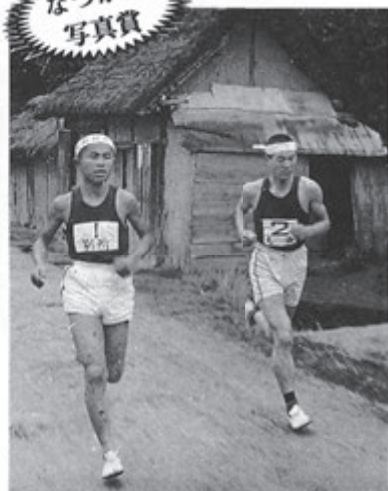
同年は、体育協会40周年の記念すべき年でもあり、各種の記念行事が実施された。10月10日の体育の日に、40周年記念式典が開催され、体育功労者41名が功労表彰を受け、元大関「琴風」の尾車親方による記念講演や「～体協40周年記念～なつかし・おもしろ写真展」が実施された。また、単位協会による、40周年記念スポーツ大会が年間を通じて繰り広げられ、40周年記念誌も発行された。

平成6年11月現在の体育協会は、鷲尾会長のもとに、陸上競技協会、野球協会、バレーボール協会、卓球協会、



▲昭和33年（市内）
都市対抗駅伝出場を記念しての古き、なつかしい写真。鷲尾現会長を始め、小倉、前田の現役員の若い雄姿も見られる。

なつかし
写真賞



昭和29年1月24日（志保町戸田付近）▶
第1回美濃郡一周駅伝第2区のトップ争い、ゼッケン1番は高芝、ゼッケン2番は横山。なつかしさあふれる沿道風景。



▲昭和35年9月1日（三木高校（現市上の丸庁舎））
第6回三木市民夏季軟式庭球大会。後方、右手側の校舎は、今も現役で活躍中。

柔道協会、ソフトテニス協会、剣道連盟、空手道連盟、水泳協会、サッカー協会、バドミントン協会、バスケットボール協会、テニス協会、ソフトボール協会、市民ゲートボール協会の15単位協会と、高等学校体育連盟、中学校体育連盟、小学校体育研修部会より理事を迎えて組織され、日々活動している。

最後に、体育協会の輝かしい40年の歩みを振り返り、感慨を新たにするとともに、更に、21世紀に向けて、体育協会が子供から高齢者までの全市民に対するスポーツの普及、振興へと大きな役割を果たし、更に充実したスポーツ組織へと飛躍発展することを願う。





▲昭和52年 8月7日 (小林ギムネテニスコート)
第23回三木市民夏季軟式庭球大会

年度別 (昭和29年～平成6年) 主な出来事

29年

- 6. 1 三木市制施行 (美濃郡三木町、別所村、細川村、口吉川村合併)
- 7. 1 三木市と志保村合併
- 7. 1 三木市体育協会発足
加盟団体: 陸上競技協会、排球協会、軟式庭球協会、野球協会、柔道協会、剣道協会、卓球協会 7団体

30年

- 2. 第1回スポーツ教室 (スキー) 於: 青山グレンデ
- 7. 4 第1回市民排球大会 (主催 排球協会)
- 16チーム参加 於: 三木中グラウンド

32年

- 4. 17 第1回別所公署まつり協賛スポーツ大会
青年歴史館マラソン大会、相撲大会他
- 9. 22 第1回三木市民総合体育大会 (主催 三木市、体育協会)
1,500人参加 於: 三木中学校、三樹小学校、県立三木高校
- 11. 3 第1回三木女子排球大会 (主催 市教委、排球協会)
於: 中央公民館広場

33年

- 2. 23 三木市駅伝大会 (主催 陸上競技協会)

40年

- 10. 10 第1回三木市民ハイキング (主催 三木市、体育協会)

42年

- 2. 11 第1回建国記念三木市民ロードレース大会 (主催 三木市、体育協会)
- 3. 三木市民運動場オープン
(県立三木高校体育館・グラウンド市へ移管される)



▲昭和31年 (市内)
国体旗リレー。後の女の子の表情もいかめしい。



▲昭和53年 4月30日 (広野田園テニスクラブ)
第1回三木市民硬式テニス大会シングルの部。市内で開催された初の市民大会でした。



▲昭和55年7月23日（グリーンピア三木体育館）

県民サマーフェスティバル（東播バレーボール大会）に皇太子殿下、美智子妃殿下ご観戦。ご案内にも力が入ります。



▲平成4年11月（グリーンピア三木）
グリーンピア三木ゲートボール大会。
県下より約80チーム600人が参加。

43年

- 4. 三木市空手道同好会、体育協会に加盟する
- 7. 三木市市民スポーツ最高賞選定規則制定

44年

- 11. 23 第1回三木市民家庭バレーボール大会（主催 三木市、体育協会）
75チーム参加

45年

- 11. 3 三木市民憲章公布

47年

- 10. 8 自然歩道設定記念 三木市民ハイキング

48年

- 4. 三木市水泳協会発足し、体育協会に加盟する。
- 4. 18 市制定2周年記念 三木市民ハイキング

49年

- 2. 1 第1回少年サッカー大会（主催 サッカー協会）
23チーム参加
- 4. 三木サッカー協会、体育協会に加盟する。
- 5. 19 市制20周年記念協賛第6回三木市民家庭バレーボール大会
126チーム参加
- 6. 三木市制20周年記念体育大会
陸上170名 野球100名 卓球160名 バレーボール208名 柔道100名
剣道200名 空手50名 サッカー500名 参加

50年

- 8. 17 第1回三木市民水泳大会（主催 水泳協会）



▲昭和22年（神戸市民グラウンド）
三木金物倶楽部、軟式野球20周年記念全国大会に出場。みごと全国制覇をなしとげる。

51年

10. 5 第1回三木市老人会連合会体育大会 (主催 老人会連合会)

52年

10. 1 ともえ運動公園オープン
野球場、テニス兼バレーボールコート
2. 11 建国記念三木市民ロードレース10周年記念大会
2. 13 第1回三木市家庭バレーボール審判員講習会 (主催 体育指導委員会)
受講者66名
5. 25 三木勤労者体育センターオープン
8. 21 第1回三木市民バドミントン大会 (主催 バドミントン協会)
11. 13 三木ライオンズクラブ創立15周年記念に「スポーツ巡回車」寄贈
11. 27 第1回三木市民硬式テニス(ダブルス)大会

53年

4. 三木バドミントン協会、体育協会に加盟する。
4. 30 第1回三木市民硬式テニス(シングルス)大会 (主催 硬式庭球協会)
7. 第1回家庭庭人バドミントン教室 (主催 バドミントン協会)
8. 27 第1回三木市民ソフトボール大会 (主催 ソフトボール協会)

54年

3. 第1回市民ゲートボール教室 (主催 教育委員会)
4. 三木市ソフトボール協会 体育協会に加盟する。
5. スポーツ広場(660m)オープン 三樹小学校東側
7. 1 三木市制25周年記念総合体育大会 (主催 三木市、体育協会)
陸上、卓球、バレーボール、剣道、サッカー、野球、ソフトボール、
バドミントン、テニス、空手、柔道(8/26水泳…三木中プール)
於：県立三木高校、市民グラウンド、市民体育館、勤労者体育センター



▲昭和23年（三樹小学校）
三木市の出身元巨人軍選手青田昇と当時三木金物倶楽部監督の
大林嘉蔵のツーショット。

三木軟式野球協会40周年記念式典

三木軟式野球協会



▲昭和61年6月1日（大和殿）
野球協会40周年記念式典。昭和21年設立で、今年で48周年を迎える。



▲平成2年3月21日（三木東高校体育館）
第5回市民バスケットボール大会。ジャンプ一発。

55年

1. 市民健康マラソン (主催 陸上競技協会)
5. 三木硬式庭球協会 体育協会に加盟する。
7. 大規模年金保養基地「グリーンピア三木」オープン
12. 第1回三木市民剣道大会 (主催 剣道連盟)

56年

4. 自由が丘コミュニティセンター体育館オープン
高木公園テニスコートオープン

57年

9. 26 市民硬式テニス教室 (主催 硬式テニス協会)

58年

2. 11 第1回三木市民女子駅伝大会 (主催 陸上競技協会)
10. 25 第25回東都市対抗ソフトボール大会 (主催 ソフトボール協会)
11. 三木城跡内トリムランニングコースオープン (国民健康体力増進補助事業)
2000m往復コース

59年

4. わんぱく広場オープン (身近な運動広場整備事業) 2036㎡
7. 1 市制、体育協会設立30周年記念三木市民総合スポーツ大会
陸上、野球、排球、卓球、軟式庭球、柔道、剣道、空手、サッカー、
バドミントン、ソフトボール、硬式庭球 (8/26水泳)
11. 4 第1回三木市小学生陸上競技選手権大会 (主催 陸上競技協会)

60年

5. 3 第1回三木山ふれあいマラソン (主催 三木市会議員 陸上競技協会)
6. 9 グリーンピア三木少年サッカースクール (主催 グリーンピア三木)
7. 1 呑吐教育キャンプ場がオープン
10. 25 中高年労働者福祉センター (サンライフ三木) 完成
10. 三木中央ライオンズクラブ発足記念に「スポーツ巡回車」を寄贈
11. 4 三木オープンテニス大会 (主催 テニス協会)

▶平成元年11月（緑が丘東小学校）
県大会予選 緑が丘チームと前田ウ
ラブとの対戦。ボールの行方はいかに。



▲平成2年（伊丹市昆陽里小学校）
子供たちに人気急上昇。県の小学生ミニバスケットボール交歓
会。

61年

（※は、財団法人三木市スポーツ振興基金の主催事業
ただし、61年度に限り三木市スポーツ振興基金運用委員会）

- 8. 24 少年卓球教室を開催（※）
- 9. 7 元プロ野球選手「鈴木啓示」スポーツ講演会（※）
- 9. 26 三木市民ゲートボール大会（後援 体育協会）
- 10. 5 第1回三木ジュニアバドミントン大会（主催 バドミントン協会）
- 10. 11 中学校生軟式庭球選手強化練習会（※）
- 11. 24 第1回三木市民ファミリーゲートボール大会（後援 体育協会）
- 11. 29 グラウンドゴルフ講習会（後援 体育協会）
- 12. 7 第1回三木市少年サッカー選手権大会（主催 サッカー協会）
- 12. 25 少年サッカースクール（※）

62年

- 2. 8 第1回市民バドミントン大会団体戦（主催 バドミントン協会）
- 2. 11 第20回健康記念三木市民ロードレース大会（主催 体育協会・三木市）
第20回記念10キロロードレース（※）
- 3. 15 少年野球教室（※）
- 4. 1 財団法人スポーツ振興基金が設立される
- 4. 三木市バスケットボール協会が体育協会に加盟する
- 4. 27 クリーンセンター庭球場オープン
- 6. 21 第1回ABCグリーンピアショートトライアスロン大会（主催 グリーンピア三木）
- 6. 23 総合計画基本構想がまとまる
- 7. 19 バレーボール協会少年部市長杯大会（主催 バレーボール協会）
- 8. 3 陸上競技長距離選手強化練習会（※）
- 8. 4 少年卓球教室（※）
- 8. 10 サマージュニアサッカースクール（※）
- 8. 25 軟式庭球強化練習会（巡回指導）（※）
- 8. 27 元全日本女子バレーボール監督「小島孝治」スポーツ講演会（※）



▲昭和62年7月26日（三木高校）
記念すべき第10回市民ソフトボール大会の開会式。参加人数50
チーム、800人が参加する。

平成2年2月11日▶
(グリーンピア三木)
教育委員会、陸上競技協会主催による
三木市民ロードレース大会表彰式。



◀平成4年5月17日(勤労者体育センター)
加古房夫三木市長による市民家庭バレーボール大会始球式。ナイスサーブでした。



▲平成3年12月7日(三木市文化会館)
財三木市スポーツ振興基金設立5周年記念「王貞治スポーツ講演会」抽選会で色紙のプレゼント。

- 8. 27 バレーボール指導者研修会(※)
- 10. 18 剣道指導者講習会(※)
- 10. 24 軟式庭球合同練習会(※)
- 10. 25 緑が丘スポーツ公園が完成
- 11. 8 子午線上市長交流第1回バレーボール大会 (後援 体育協会)
- 11. 22 財団法人スポーツ振興基金設立記念三木市少年スポーツ大会(※)
- 11. 22 第1回中学生卓球大会 (主催 卓球協会)
- 12. 24 ウインタージュニアサッカースクール(※)

63年

- 3. 4 スポーツ障害と運動及びテーピング講習会(※)
- 4. 17 三木市家庭バレーボール連盟第1回知事杯争奪戦
(主催 三木市家庭バレーボール連盟)
- 6. 5 ソフトボール審判講習会(※)
- 8. 7 会長杯男女総合選手権9人制バレーボール大会 (主催 バレーボール協会)
- 8. 18 第1回三木サッカーフェスティバル (主催 サッカー協会)
- 9. 24 近畿秋季軟式野球大会2部兵庫県決勝大会 (後援 体育協会)
- 9. 25 6人制バレーボール総合男子女子選手権大会 (主催 バレーボール協会)
- 10. 22 女子バレーボール強化練習会(※)
- 11. 6 第1回身障者と家族と市民のスポーツ大会 (後援 体育協会)

元年

- 4. 29 三木グリーンパークが完成
- 7. 30 水泳選手強化練習会(※)
- 8. 19 バスケットボール選手強化練習会(※)
- 8. 27 体育協会50周年記念元プロ野球選手「衣笠祥雄」スポーツ講演会
(主催 体育協会)
- 9. 10 ふれあいの祭典ひょうご'88東播磨地区卓球大会 (後援 体育協会)
- 10. 29 バドミントン指導者研修会(※)



▲平成2年2月11日（グリーンピア三木）
三木市民ロードレース大会。総勢1,600人が健脚を競う。



▲平成6年3月20日（商工会館前）
第1回みっきいふれあいマラソン10kmの部。大がかりな交通規制のなかでランナーがひた走る。



▲平成6年10月8日（志染町細目から窟屋付近）
三木市民ハイキング「みっきいウォーク」第2土曜日で家族ぐるみの参加でにぎわった。

12. 20 三木市スポーツ最高賞を改正し、三木市スポーツ賞表彰規則を新たに制定

2年

- 8. 4 三木山総合公園に野球場完成
- 8. 9 器械体操指導者研修会（＊）
- 8. 19 東播7市剣道大会 （後援 体育協会）
- 10. 21 三木市青少年育成剣道大会（＊）
- 11. 5 ゴルフ場市民開放事業を開始
- 11. 11 中学生冬季水泳大会 （主催 体育協会）
- 12. 3 グリーンピア関西ブロック親善ゲートボール大会 （主催 グリーンピア三木）
- 12. 9 第1回三木市ソフトバレーボール大会 （主催 バレーボール協会）

3年

- 3. 24 東播10市町バドミントン大会 （後援 体育協会）
- 8. 17 野球教室（＊）
- 8. 24 三木コミュニティスポーツセンターオープン
- 9. 15 ふれあいの祭典ひょうど91東播地区ソフトバレーボール大会 （後援 体育協会）
- 12. 7 財団法人三木市スポーツ振興基金設立5周年記念
元プロ野球選手「王貞治」スポーツ講演会（＊）

4年

- 3. 31 三木山総合公園の陸上競技場（多目的広場）オープン
- 4. 三木市民ゲートボール協会が体育協会に加盟する

5年

- 4. 30 三木山総合公園の陸上競技場のメインスタンドが完成
- 7. 24 卓球ジュニア選手強化練習会（＊）



▲平成6年9月30日（グリーンパークグラウンド）
三木市連合婦人会の運動会での大なわとび。25回を跳んだ志染チーム。



平成6年9月10日（グリーンパークグラウンド）▶
市体育指導委員会が生涯スポーツの普及をめざして開催した第1回ふれあいスポーツデー。ターゲットバードゴルフに挑戦！



▲平成6年4月2日（グルメランドみっさい）
市制40周年記念少年野球教室。
元ミスタータイガース掛布雅之を囲んで。



▲平成6年10月28日（みっさいホール）
体育協会40周年記念事業の「なつかし・おもしろ写真展」なつかし写真がいっぱいです。

- 8. 20 国民体育大会近畿ブロック大会少年サッカー（後援 体育協会）
- 9. 29 第1回家庭バドミントン大会（主催 バドミントン協会）
- 10. 3 ふれあいの祭典ひょうご'93東播磨地区硬式テニス大会（後援 体育協会）

6年

- 1. 23 第1回家庭バレーボール連盟シニア大会（主催 バレーボール協会）
- 3. 20 第1回みっさいふれあいマラソン（主催 みっさいふれあいマラソン実行委員会）
- 4. 屋内ゲートボール場竣工
- 4. ~ 三木市体育協会設立40周年記念事業を開催（主催 体育協会）
- 翌年3 （記念スポーツ大会・記念誌の発行・ポスターの作成・写真募集・展示会）
- 4. 2 少年野球教室（掛布・福本）（主催 市・教育委員会 後援 体育協会）
- 9. 10 ふれあいスポーツデー（主催 体育指導委員会 教育委員会）
- 10. 10 三木市体育協会設立40周年記念式典（功労者表彰・講演会）（主催 体育協会）
- 11. 20 三木中央ライオンズクラブ発足10周年記念に「さわやかスポーツ号」を寄贈

7年

- 1. 17 阪神大震災発生
その影響で、2〜3月に予定されていたスポーツ指導者講習会及び第2回みっさいふれあいマラソン等の事業が、中止となる



輝かしき栄冠

日頃の、たゆまぬ努力の成果が形としてはっきり現れるのが試合での成績だ。

残存する資料をもとに、過去の優秀な成績を列挙した。

昭和48年度から、年度を追ってその成績をみると、その時々選手や指導者の方々の、「輝かしき栄冠」を勝ち取るまでの努力、熱意、忍耐は、想像を超えるものがあつたことだろうと、今つくづく思う。

スポーツを通じて得た栄冠はその人の一生の財産である。「勝利」をひたすらめざすこと、それは、年代を超えて、スポーツを愛する者の原点ではないだろうか。

夢と感動をあたえてくれるスポーツ。

ただひたすら勝利をめざし、さわやかな汗をながそう。生涯を通じて。

■掲載基準 県大会優勝、近畿大会ベスト3、全国大会出場、国際大会出場を対象に掲載
(ただし、社会人の一般の部については、県大会上位入賞以上を掲載)

■大会の種別記号 ○国際大会 ○全日本大会 △近畿大会(関西大会) ☆県大会 □その他

年度	大会名称	氏名・団体名
48	☆県中学校水泳大会個人メドレー200m優勝	三木中学校 泉 秀和
	○国民体育大会出場	
	☆県中学校水泳大会平泳ぎ100m優勝	三木中学校 渋谷俊司
	○国民体育大会出場	
49	△近畿中学校総合体育大会バレーボールの部優勝	三木中男子バレーボール部
	○全日本中学生バレーボール選手権大会準優勝	三木中男子バレーボール部
	☆県中学校水泳大会個人メドレー200、400m優勝 △近畿大会400m 2位	三木中学校 山村祐一
	☆第5回県社会人都市対抗サッカー大会優勝	三木フットボールクラブ
50	☆国民体育大会県選考会実業団青年の部水泳200m バタフライ優勝	黒田静男
	○国民体育大会出場	
	☆国民体育大会県選考会水泳実業団青年の部水泳400m自由形優勝	出雲 誠
	○国民体育大会出場	
50	☆県総合体育大会空手の部 個人(組手)・団体(形・組手)の部優勝	三木高校空手道部
	○全日本高校空手道選手権大会団体組手8位	
	☆県総合体育大会山岳の部優勝 ○全国大会出場	三木高校山岳部
	○国民体育大会メドレー400m出場	三木中学校 山村祐一
50	△関西少年サッカー大会優勝 ○第9回全国少年サッカー大会出場ベスト8	三木市スポーツ少年団サッカー部
	☆第8回県少年サッカー大会7部優勝	口吉川スポーツ少年団(女子サッカー部)

年度	大会名称	氏名・団体名
	☆第8回県少年サッカー大会2部優勝 △近畿中学校総合体育大会2位 △近畿中学校総合体育大会水泳自由形100m3位 ○国民体育大会出場 △近畿中学校総合体育大会100m背泳2位 ☆県中学校総合体育大会200m、400m個人メドレー優勝 △近畿大会出場予選陸上県大会800m優勝 ☆県国民体育大会陸上競技予選教員の部1,500m優勝	三木スポーツ少年団サッカー部 三木中学校サッカー部 三木中学校 藤原貴代 三木中学校 大東恵美子 三木中学校 名倉正憲 三木中学校 河中好之 藤井晃正
51	☆県中学校総合体育大会水泳100m自由形、200m個人メドレー優勝 △近畿中学校総合体育大会背泳100m3位 ○全国中学校選手権大会出場	三木中学校 戸田光則 三木中学校 福本政浩
52	☆県中学校総合体育大会陸上800m優勝 △近畿大会準優勝 ○全日本中学校陸上選手権大会7位 ☆県中学校総合体育大会優勝 ☆県中学校サッカー選手権大会優勝	三木中学校 金鹿玉緒 三木中学校男子バレーボール部 緑が丘中学校サッカー部
53	○国民体育大会女子砲丸投げ少年の部出場9位	小野高等学校 八木睦美
54	☆県中学校総合体育大会水泳200m個人メドレー優勝 ☆国民体育大会県予選女子ソフトボールの部3位	三木中学校 藤本哲也 キャンディーズ
55	○全国高校総合体育大会陸上800m6位 ☆県中学校総合体育大会陸上1,500m優勝 ☆県中学校総合体育大会水泳400m個人メドレー優勝 ☆県高校総合体育大会山岳の部優勝	夙川学院高校 金鹿玉緒 三木中学校 安髄ゆかり 三木中学校 藤本由雄 三木高校山岳部男子
56	☆県中学校陸上競技大会3,000m優勝	三木中学校 安髄ゆかり
57	◎第31回国際ストックマンデビル車イススラローム優勝（世界新） ☆県中学校総合体育大会サッカーの部優勝 △近畿大会準優勝 ○全国大会出場 △近畿クラブバレーボール連盟発足記念大会優勝 ○第1回全国都道府県対抗女子駅伝競争大会県代表で出場 ☆第24回県都市対抗ソフトボール大会3位 △西日本学生陸上競技大会1,500m優勝 △関西学生陸上競技大会3,000m優勝 △近畿高校駅伝大会第5区（3km）区間1位	永尾嘉章 別所中学校サッカー部 三木排釜会 三木中学校 戸田香織 緑が丘西3丁目チーム 武庫川女子大 金鹿玉緒 西脇工業高校 横山重政
58	☆第25回県都市対抗ソフトボール大会準優勝 ☆第4回全日本クラブ男子県大会準優勝 ○全国家庭婦人バレーボール大会準優勝 ☆県中学校総合体育大会相撲の部団体優勝 △近畿大会準優勝 ○全日本中学校相撲選手権大会出場 ☆県9人制バレーボールクラブカップ選手権優勝近畿大会4位 ○全日本中学校相撲選手権大会出場 ○全日本中学校陸上競技選手権大会出場女子100m ○第2回全国都道府県対抗女子駅伝競争大会県代表で出場 △近畿高校総合体育大会陸上競技男子やり投げ4位 ○全国大会予選出場 ☆県ジュニアインターハイ砲丸投げ1年生男子の部優勝 □第3回大分国際車イスマラソン大会5位（日本人最高順位） ○全日本大阪車イストラック選手権大会100m優勝	緑が丘西3丁目同好会 自由が丘MC 三木中学校相撲部 三木排釜会 三木中学校 坪田義智 三木中学校 濱口佳美 三木緑が丘中学校 上田純子 本岡弘隆 三木東高等学校 梶原雅寛 永尾嘉章

年度	大会名称	氏名・団体名
59	△近畿中学校総合体育大会相撲の部 団体の部優勝 個人の部優勝 ☆昭和59年度兵庫県社会人中央大会優勝 ○第3回全国都道府県対抗女子駅伝競争大会県代表で出場 △第33回近畿中学校陸上競技大会砲丸投げ優勝 △近畿9人制バレーボールクラブ男女選手権大会3位 △近畿インターハイ三段跳4位 走幅跳準優勝 ○全国インターハイ三段跳8位	三木中学校相撲部 三木中学校 森田章嗣 三木フットボールクラブ 三木中学校 新倉優美 緑が丘中学校 上田純子 緑が丘中 マクドナルドエリザベス・信子 三木排釜会 吉川高等学校 山田勝美
60	△近畿高等学校総合体育大会砲丸投げ3位 ○全国大会出場8位 ☆県陸上競技選手権大会5,000m優勝 ○第4回全国都道府県対抗女子駅伝競争大会県代表で出場 ○国民体育大会少年男子相撲の部出場 ☆県中学校総合体育大会軟式庭球の部 団体優勝 △近畿大会3位 ☆県中学校総合体育大会相撲の部団体優勝 ○全日本中学校相撲選手権大会出場 ☆皇太子公覧兵庫県バレーボール大会優勝 ☆全日本9人制クラブカップ男子県大会優勝 △近畿大会3位 △第34回近畿中学校総合体育大会男子1,500m5位 ○全日本中学校陸上競技大会予選9位	三木東高校 梶原雅寛 三木東高校 田村 綾 緑が丘中学校 上田純子 緑が丘中学校 上田佳世 市川高校 坪田義智 市川高校 森田章嗣 三木中学校男子軟式庭球部 三木中学校相撲部 三木自由が丘MC 三木排釜会 緑が丘中学校 角 鉄平
61	○国民体育大会少年男子相撲の部 個人優勝 ○第22回全国社会人サッカー選手権関西大会ブロック優勝 ○全国大会出場 ☆県9人制バレーボールクラブ男女選手権大会優勝 △近畿大会準優勝 ☆県社会人バドミントン大会1部リーグ3位 ☆全日本一般男子県ソフトボール大会3位 ☆全日本クラブ男子県ソフトボール大会準優勝 △近畿高等学校総合体育大会陸上競技800m準優勝 ○全国大会出場	市川高校 森田章嗣 三木フットボールクラブ 三木排釜会 三木シャトル 緑が丘チーム 三木東高校 森永信二
62	△近畿9人制バレーボールクラブ男子選手権大会準優勝 ○全国大会ベスト16 ☆第67回天皇杯全日本サッカー選手権県大会優勝 △関西大会ベスト8 ○第14回全日本中学校陸上競技選手権大会3,000m4位	三木排釜会 三木フットボールクラブ 三木中学校 北門敏宗
63	○国民体育大会少年B女子やり投げ3位 ☆県高等学校総合体育大会相撲大会優勝 ○国民体育大会県代表団体3位 ○全国ベテランズ卓球東郷大会男子単70歳代の部優勝 ☆全日本中学校通信陸上競技兵庫県大会400m優勝 △近畿9人制バレーボールクラブ男子選手権大会3位 △近畿中学校総合体育大会女子駅伝の部3位 △近畿中学校総合体育大会水泳の部100m・200m平泳ぎ3位	三木高校 中嶋里実 市川高校 大内信英 藤枝進治郎 緑が丘中学校 足立 浩 三木排釜会 三木中学校女子駅伝競走部 三木中学校 桑田隆平
元年	△近畿中学校総合体育大会陸上競技男子1,500mの部2位 ☆県高等学校陸上競技対抗選手権大会男子やり投げ 60m28 優勝 ☆県空手道選手権大会青年型の部個人優勝 ○国体出場 ☆全日本9人制バレーボールクラブカップ男子県選手権大会優勝 ☆県9人制バレーボールクラブ男女選手権大会優勝 ☆県都市対抗ソフトボール大会 準優勝	緑が丘中学校 杉田博久 三木高等学校 片山雅彦 栗山一美 三木排釜会 前田クラブチーム

年度	大会名称	氏名・団体名
	△近畿総合バドミントン選手権大会30歳以上男子複の部3位	大片貞雄
2	○第26回全国身体障害者スポーツ大会 水泳50mの部優勝 ☆県中学校総合体育大会陸上競技の部男子100m優勝 男子走幅跳優勝 △近畿中学校総合体育大会テニスの部単の部準優勝 △第44回近畿高等学校選手権水泳大会100m平泳ぎ3位 ☆第44回県民大会水泳競技大会少女B100m平泳ぎ優勝 ☆県高等学校総合体育大会軟式庭球中央決勝大会男子団体戦優勝 ☆第44回県民体育大会バドミントンの部50歳以上男子複の部優勝 ☆県家庭婦人バドミントン大会個人戦優勝 ○第41回全国高校駅伝大会優勝メンバー第3区担当 ○第41回全国高校駅伝大会優勝メンバー第5区担当 ○全日本学生相撲選手権大会個人戦準優勝	大森幸一 三木東中学校 田中幸光 自由が丘中学校 高松直哉 小野高校 市原なおみ 三木東高校軟式庭球部 中西久昌 澄川稔子 北門敏宗 陣在茂章 森田章嗣
3	○全国高等学校総合体育大会2位 ○国民体育大会ウエイトリフティング選手権大会総合2位 ☆県選手権兼国体最終選考会兼県民大会50m平泳ぎ優勝 △近畿総合バドミントン選手権大会50歳以上の部2位 ☆県家庭婦人バドミントン大会個人戦優勝 △第8回近畿マスターズ陸上競技選手権大会35歳以上39歳未満100m3位 ○第9回全日本マスターズパワーリフティング選手権大会 45歳以上49歳未満60kg級優勝 ○第15回日本整復師全国柔道大会3位	三木東高校 齋藤和巳 小野高校 市原なおみ 中西久昌 澄川稔子 稲見臣二 沖浦克治 中村 古
4	△近畿高等学校選手権大会ウエイトリフティング48kg級3位 ○全国高校選抜大会ウエイトリフティング48kg級準優勝 ○全国女子選手権大会ウエイトリフティング48kg級準優勝 △近畿高等学校選手権大会ウエイトリフティング56kg級優勝 ☆県高等学校総合体育大会水泳の部平泳ぎ100・200m優勝 ○国民体育大会出場 △近畿中学校総合体育大会ソフトテニスの部団体3位 △近畿マスターズ陸上競技選手権大会35歳以上39歳未満400m優勝 全国大会5位 ○全国ベテランズ卓球東郷大会80歳以上89歳未満単の部優勝 ○全日本マスターズパワーリフティング選手権大会 45歳以上49歳未満60kg級優勝 ☆全日本レディースソフトテニス兵庫県大会ゆりブロック優勝 ☆県家庭婦人バレーボールクラブ秋季クラス別リーグ戦大会A-1優勝	三木東高校 立助亜紀子 三木東高校 長谷川陽子 三木東高校 小西美由貴 市原なおみ 自由が丘中学校ソフトテニス部 稲見臣二 藤枝進治郎 沖浦克治 鎌田節子 三木自由が丘MC
5	○国体記念杯女子ウエイトリフティング競技大会 高校生の部59kg級3位 ☆第31回兵庫県身体障害者スポーツ大会全盲陸上競技60mの部優勝 ☆第31回兵庫県社会人卓球大会全盲の部優勝 △第42回近畿中学校総合体育大会陸上競技の部男子100m2位 □円山川マラソン □神鍋高原マラソン □青垣もみじの里マラソン優勝 ○第14回全日本大学ジュニアウエイトリフティング競技選手権大会優勝 ◎世界ジュニア大会出場10位	三木東高校 小西美由貴 兼子 宏 自由が丘中学校 福田貴志 藤原和臣(三木RC) 齋藤和巳

年度	大会名称	氏名・団体名
	○全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会3位 ☆県壮年男子2部ソフトテニス大会複の部優勝 ○全日本シニアバドミントン選手権大会40歳以上単の部3位 ☆県総合バドミントン選手権大会男子50歳以上複の部優勝 ☆県民体育大会バドミントンの部男子30歳以上複の部優勝 ☆県民体育大会バドミントンの部女子30歳以上複の部優勝 △近畿社会人バドミントン選手権大会女子30歳以上複の部優勝 ☆全日本卓球選手権大会県予選会女子単の部優勝 ○全日本テニス選手権大会35歳以上の部ベスト16 ☆県9人制バレーボールクラブ男女選手権大会優勝 △関西少年サッカー大会ベスト4 △第10回ブリマ杯関西少女サッカー大会優勝 △県選抜選手として近畿中学校バスケットボールオールスター大会に出場3位	島田隆宏 若林博之 澄川稔子 中西久昌 大片貞雄 大片美由紀・中江由美子 岡本慶子 武庫有子 藤森茂樹 POPEYE 別所スポーツ少年団サッカー部 自由が丘小特別クラブサッカー 緑が丘中学校 谷迫由美
6	☆県中学校総合体育大会ソフトテニス大会 女子複の部優勝 ☆県中学校総合体育大会陸上競技大会 女子共通1,500m優勝 ○全国ジュニアオリンピック陸上競技大会出場 ○全日本中学校陸上競技選手権大会出場 ☆県中学校ソフトテニス新人選手権大会 女子複の部優勝 ○JOCジュニアオリンピックさわやか杯第8回全国都道府県対抗中学生バレーボール大会県代表チーム(12名)に選ばれる △近畿高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会 54kg級準優勝 ☆県高等学校総合体育大会陸上競技選手権大会 男子三段跳準優勝 ○全国高等学校総合体育大会出場 ☆県高等学校総合体育大会陸上競技選手権大会 男子走高跳準優勝 ○全国高等学校総合体育大会出場 ☆県民体育大会 バドミントン男子30才以上複の部優勝 ○全日本シニアバドミントン大会 女子40才以上単の部準優勝 ☆県マスターズソフトテニス大会 梅組(55才以上65才未満)複の部優勝 □福岡国際マラソン55位 ☆県マスターズ陸上競技選手権大会 M40 400m優勝 ☆ろうきん杯学童軟式野球兵庫県大会優勝 ☆全日本9人制バレーボールクラブカップ男子兵庫県選手権大会3位	自由が丘中学校 嵯田安希・高下智恵子 自由が丘中学校 今井千尋 自由が丘中学校 小林真佑・村上佳子 自由が丘中学校 牧村晴奈 三木東高校 田中里佳 三木東高校 泉雄一郎 三木高校 澄川 寛 大片貞雄 澄川稔子 中川清矩・田中真三 藤原和臣 稲見臣二 三木ユニオンズ 三木拜釜会

単位協会のひろば

陸上競技

陸上競技協会40年あれこれ



三木市陸上競技協会（美囊郡陸上競技協会）は昭和28年9月8日、兵庫陸上競技協会の要請に応じ結成された。当時はまだ青年団活動などが主体で、地区の運動会や小規模の競技会が行われていた。これを統一し美囊郡内選手権となり、29年には郡内一周の駅伝競走が行われた。30年、9回大会より、10区間93.75kmの駅伝に初参加、19チーム中12位のスタートだった。

陸協の結成には、美囊郡陸上競技協会が昭和26年3月岡森晴夫氏や前田薫副会長、稲垣武夫氏、三宅猛氏らを中心の世話役で久米孝二氏を会長に発足した。昭和29年7月1日、三木市制発足とともに三木市陸上競技協会と改称、三木市陸上選手権大会や地区対抗駅伝などで力を培い、県都市対抗大会や駅伝などにも伝統ある参加市として活動内容を拡げてきた。

その間、市内では中学選手権、ロードレース大会、地区対抗駅伝、小学生大会なども行

われ競技者も増加した。

また競技も単に勝つためというより、自らが楽しみながら参加するという生活者意識と共に健康と楽しみを求める意識の競技者がふえ、三木市にもランニングクラブが誕生し、いわゆる市民ランナーにより競技人口も年齢層も拡大し、各種競技会への参加と優秀な選手を次々に生み出した。

兵庫選手権に目を向けると

22回大会で魚住智恵子さん（三木高）が走高跳で優勝、小山浩君（三木高）が棒高跳で3位となり伝統の一步を築いたし以後27回大



会では岩本龍一君（棒高跳2位）、29回、31回大会小林敬典君（棒高跳優勝）32回大会光川敏郎君（400m優勝）一般の大人にまじってただ一人の中学生岸本鈴代さんが3位に入賞するなど活躍がはじまった。狩場陽子さんの41、43、46回大会での活躍も地元の人々を楽しませた。八木睦美さん（砲丸投）47、48回、金鹿玉緒さんの活躍も記憶に残るものである。

42年に鷺尾弘志氏が会長に就任され、東播郡市対抗を三木高校グラウンドで実施するなど県郡市対抗競技大会でも多くの優秀者を生んでいる。6回大会で井上滋己氏現陸協副会長が棒高跳で優勝小山氏が2位に以後活躍者を列記すると小林敬典君（棒高跳）優勝、岸本鈴代さんの走高跳で4連覇も輝かしいものである。浅原明敏君（2000m）近畿大会優勝もすばらしい。

〈兵庫リレーカーニバル〉

28年に準備大会、29年に1回大会とはじまったがここでは市川守君（6回走幅跳）、筒井勲君（9回棒高跳）、松原正文君（17回砲丸投）、藤原国裕君（18回走高跳）、狩場陽子さん、金鹿玉緒さんなどの大活躍もあった。

〈六甲マラソン（修法が原→小部峠→記念碑台間）〉

六甲マラソンは昭和40年より54年まで15回行われ、高地での競技練習が記録に与える影響を考え、メキシコオリンピックなどの高地対策としても考えられ開かれたアップダウンのきびしいコースであった。

中学の部で5回大会以降、浅原明敏君（三

木中）、常深達成君（星陽中）、村上秀明君（星陽中）と連続で入賞している。

〈郡市区対抗駅伝〉

昭和22年より始まり現在は加西市で行われている。

三木市は9回大会から参加した。当時はまだ14チームぐらいで三木市も選手養成をして参加したがチーム編成がやっという状況で神戸、姫路、明石などが常に上位で歯が立たなかった。当初は三木、加西、西脇、小野などが下位を争い。三木市はライバル意識もあり近隣の各市には負けまいと合言葉のように頑張り、最下位の汚名を着ることはなかった。

24回大会より佐用千種川コース3回、淡路で10回、このころより参加チームも多くなり、三木市も上昇気配で30回大会では藤井晃正選手が区間賞を得るなど39チーム中の上位に位置するようになった。37回より三田市コースになり、一時下位に落ちたが39回の4部優勝を足場に上位に返り咲き、今は三木市の面目を保っている。現在の加西市大会では、一度2部に落ちていた女子部も二部優勝し、念願の男女1部入りを果たしている。

〈三木市内の最近の現状〉

三木市内の現状は楽しみながら走り競技に参加する、いわゆる市民ランナーがふえ年齢層も10才～60才まで多くの人々が参加するようになり市民ランナー参加型の大会も兵庫県関係だけでも40大会にもなるほどの盛会になり、三木市内でもランニングクラブの人々が九州や北海道までの参加を楽しむ人がある。

その中からこつこつと努力され実績を積み、藤原和臣選手、瀬渡豊和選手などのように福岡マラソンや篠山マラソン大会などにまで一般参加される人がふえている。ただ学校関係ではサッカーブームにおされてか、活動部員の減少を嘆く声をきくのは残念であり心淋しい。しかし、記録面では上昇し、100m競走では中学で56年に10秒台が出、12秒台では県レベル大会では10位にも入れない状況であり、高校では県内で42年、43年に内藤吉博君（小野高10秒9）、藤本泰三君（社高10秒6）を出してから10秒台突入の年になり今では100名近くが10秒台という記録を残している。

三木山総合公園競技場ができ、競技環境も整いつつある。しんどい競技はごめんだという風調ではあるが地盤沈下にならぬよう楽し

みながら自分の力を貯え挑戦することになればまだまだ捨てたものではない。

今年も全国大会出場者の今井千尋さん（自由が丘中学校）、泉雄一郎君（三木東高校）、澄川寛君（三木高校）などの今後の活躍も楽しみである。

最後にこの40年間多くの競技者の活躍も、それを支える指導をして下さった方々を忘れる事が出来ない。

鷲尾会長をはじめ、井上滋己副会長、前田薫副会長をはじめ岡森晴夫氏、魚住正男氏、池町耕一氏、告野嘉朗氏、大野誠一氏、藤井晃正氏、三原充廣氏、渋谷博生氏、古田寛明氏、諸氏には他の多くの諸氏とともに40年を大きく支えていただいた人として感謝したい。

（文・小倉 滋）



▲平成4年グリーンピア三木にて



▲昭和63年グリーンピア三木にて

野 球

半世紀のあゆみ



三木野球協会が創立されて今年で48周年を迎えることとなった。

昭和21年の終戦間もない時、世の中も荒廃し、何の娯楽もなかった時、青少年を対象とし、野球を通じて健全な育成を目的として、井本政夫、岡田勇、高田真光、渡辺克巳、神澤康介、杉浦悟郎、大林嘉蔵の各氏を中心に、又、多くの諸先輩の絶大なご協力をいただき、三木野球協会が創立された。時を同じくして、兵庫県軟式野球連盟も創立され大林嘉蔵氏がその創立委員6人のメンバーとして活躍された。

創立当時は終戦間もなく荒涼たる人心の中に、一種の放心状態を持ちつつも懐かしい人々が次々に復員されチームが徐々に結成されていった。当時は各町内対抗戦が盛んで、三樹小学校の校庭は幾重にも人垣が出来るほどであった。

三木金物倶楽部、交球倶楽部、金星倶楽部等は兵庫県大会の出場常連チームであった。こんな中であって、昭和22年、三木金物倶楽部は「軟式野球20周年全国大会」において、兵庫県大会に優勝、大阪天王寺公園球場で行われた近畿大会にも優勝し、神戸市民球場で開催された全国大会へ近畿地区代表として出場、関東代表全千葉クラブを1対0で破り、全国制覇を成し遂げた。その後も連戦連勝が

続くなか、昭和23年10月29日より福岡県で開催された第3回国民体育大会にも、兵庫県代表として出場した。

時節柄、宿泊は米を持参しないと泊めてもらえず、遠征費用などは、後援会の岡田勇氏、井本政夫氏、高田真光氏らの方々が東奔西走してくださり、三木町挙げての応援をいただいた。

選手達も家業を忘れるほど、釜舌に尽くせぬ努力をし、連日ボールが見えなくなるまで三樹小学校庭を駆け巡り猛練習に明け暮れる毎日であった。

昭和30年代に入り、協会登録加盟チームは20チーム位になってきた。昭和31年7月に三木市において開催された、第11回天皇賜杯全国大会兵庫県大会において、誠球クラブが優勝し、和歌山県での全国大会に出場している。

その後、キングクラブ、ライオンズクラブ、別所クラブ、三木信用金庫、三木市役所等兵庫県大会では常に上位にランクされるチームを排出しながら、昭和50年代には登録加盟チームも60から65チームを擁するまでに発展し、三木市民運動場を主会場に、又昭和51年にオープンした巴運動公園野球場において、年間約250試合を実施してきた。

三木野球協会が創立されて、40周年を迎えた昭和61年6月1日、三木大和殿において

「三木野球協会創立40周年記念式典」を約100名のご参列をいただき盛大に開催し諸先輩各位の御苦勞に深甚なる敬意と感謝の誠を表明した。

平成2年8月にオープンした三木山総合公園野球場の建設に際し、当協会の意見も多く取り入れていただき、県下に誇る野球場が完成されたことは、感謝の気持ちで一杯である。この球場開きを記念して、兵庫県学童大会を当協会主管のもと、県下28チームが参加して盛大に開催したことは、記憶に新しいところである。

現在三木野球協会では、全日本軟式野球連盟並びに、兵庫県軟式野球連盟が主催する24大会の三木予選として、成年の部17大会、少年の部（中学校年齢）2大会、学童の部（小学校年齢）5大会の3部構成により、61チームが登録加盟し、年間を通して日曜祭日休む事無く、予選大会を実施している、その部ごとの活躍は誠に顕著であり、特に平成5年からは、学童の部が再編され、兵庫県大会への出場は常であり優勝、準優勝の実績も残しているなど、益々底辺の拡大が図られていることは喜ばしいかぎりである。

ここで当協会が所属する組織について紹介したい。

全日本軟式野球連盟→近畿軟式野球連盟→兵庫県軟式野球連盟→東播地区協議会→三木野球協会と言うことになり、兵庫県軟式野球連盟では25単位協会が所属、これを県下10ブロックに分けている、当協会は東播ブロック（明石、三木、小野、西脇）に属し、協議会を構

成している。

一口に上部への出場といっても、先ず三木予選に優勝し、東播大会に勝ち、兵庫県大会出場となるわけで、近年の技術の向上もさることながら至難を極めているのが現状である。

おわりにあたり、約半世紀のあゆみの中にあつて三木野球協会が今日の隆昌を迎えることができたのは、歴代役員の方々が一意専心努力されたのは勿論のこと、登録加盟チームをはじめ、三木市、三木市体育協会、並びに関係各位のご指導、ご協力の賜物であり、深く感謝申し上げたい。

今日、野球は私達国民にとって、最も親しまれているスポーツである。

いま、この足跡を振り返り、より一層の前進と、三木野球協会の益々の充実発展のため微力ながら努力してまいる所存である。

今後とも青少年の健全な育成と社会文化の向上発展に寄与することを目的に、関係各位のご指導とご協力、ご支援を心よりお願い申し上げます次第である。

（文・五百蔵征幸）



▲平成5年4月少年野球教室三木山総合公園野球場にて



昭和29年6月1日兵庫県第16番目の市制実施、三木市が誕生した。同時に市内各組織の名称も一斉に変更。昭和27年4月結成発足していた「排球協会」（結成時は排球協会の名称）も初代会長は「若田定夫氏」三木福井郵便局長。

特定コートもなく、旧教育委員会前の広場（現在ある大銀杏の下）に木製の支柱を立てネットを張り、ラインは「ヤカン」で水溶の石灰を引き実施、参加チームも、教育委員会職員、三木警察署員、三木高等学校職員、郵便局、電々公社職員、小中学校職員、三木市民病院職員、青年団員、等官公庁チームが主体で毎週土、日曜日に開催した。県道で立ち止まり応援される一般市民皆様の声援に現在のバレーボール三木があるものと思える。

一応軌道に乗り定期的大会も一般市民の愛好者に呼びかけ、逐次盛大になり会場も市内小中学校校庭を借用、参加チームも地域代表職場代表と参加、しかし四季を通じ各大会とも会場コートは屋外青空の下で実施、幸い用具は教育委員会の計らいで各校の移動式ボールを使用「グラウンド」に打ち込む「ベグ」の槌音も思い出の一つである。

これに並行して他市組織との交流試合もの声があり、隣接、小野、西脇の両市協会に呼掛けこれが実現「三市対抗親善大会」を8月

学校夏期休暇に実施することとなり、第1回大会を提唱市三木で実施、三木中学校裏のコートで開催、男子は口吉川クラブが女子は細川青年団チームが出場、共に優勝した。

現在の北播市町対抗親善大会の前身、其の後、社、滝野、北条、吉川、東条と各町協会からの要請希望によるものである。

運営については各市町教育委員会、体育協会に委ね主管をバレーボール協会が司ることとなった。当時三木が常に優勝したために小野、西脇両市が「追い越せ」「打倒三木」と。この影響から東播地区が県下でも最高のバレーボール地域となったと申しても過言ではない。西脇市教委の徳岡先生、小野市教員の内藤先生（現東条町教育長）には深謝している。

思い出となるのは「兵庫国体開催」の国体旗三木地区継走を排球協会に担当。若田会長を先頭に市内を走行、この光栄は協会の歴史に輝く一頁として残っている。

昭和36年若田会長辞任、後任の故高田真光氏も諸種の事情から38年辞任、その会長の要請もあり理事長であった「渋谷守」が三代目会長に就任、今日に至っている。

又体育協会会長も井本政夫氏から市長衣巻顕明氏に代わっていた。

三木高校の加佐移転により体育館、グラウ

ンドが市に移譲された当時、体育館の保全推移等から撤去の声があったのを当時練習場に不備を感じていた当協会傘下の各チームの定期的（夜間も含む）使用により、保全特に清掃の実施を約し存続を願った。その練習の結果が市内青少年非行防止の目的で結成されたバレーボールチームに「三木クラブ」が兵庫県青年大会で優勝全国大会に出場、東京体育館で常陸宮様御臨席の大会で3位の成績を取めたのも協会として誠に名誉とするところである。

以来、三木排釜会の連続12回全国大会出場をはじめ、自由が丘MC、ポパイ等々続々と全国大会に出場、三木市バレーボール協会の面目躍如のところである。

排球協会も昭和60年組織の一層の充実を機に名称を現在の「三木市バレーボール協会」と改称した。組織内容も傘下に、家庭婦人バレーボール連盟、家庭バレーボール連盟、ソ

フトバレーボール連盟、スポーツ少年団の少年部と5部門に6人制、9人制、職域等々、協会登録人員も優に2,000人、子ども会を含め市内愛好者をも合すると実に7,000人以上に、地域公民館等の利用度も最高。

家庭バレーボールの今日あるのは、昭和41年三木市子ども会が第1回大会を開催実施していただいたからである。「若田先生有難う」「三木市子ども会有難う」

(文・渋谷 守)



▲平成6年勤労者体育センターにて



▲平成2年ユニチカ選手とともに

卓球

40周年記念に寄せて



以前より卓球に愛着をもつメンバーはありましたがそれぞれに部活動を通して卓球競技に専念していました。

市制発足と時を同じくして体育協会が設立されるにあたり、同好の志が寄りあって卓球協会を結成いたしました。

当時はささやかな大会を開催しておりました。口伝えの呼かけをしておいて、大会当日の申し込みも受付し急いで組合わせをしてから開催するといった誠にローカルな模様もありました。旧三木高等学校の体育館（現三木市民体育館）を会場に使用させていただきましたが、人家も少なく大会が日暮れになると帰宅される方の心配までしていたのを懐かしく思い出します。昭和43年あたりより協会役員補充に努力し、建設的に進める基盤が充実いたしました。

40年後半に市教育委員会主催の婦人卓球教室が開催され緑が丘・自由が丘卓球クラブの母体となりました。52年に勤労者体育センターが新設となり、三木卓球クラブ（三卓クラブ）が発足して土曜日の開放教室と三卓ジュニア（小学生卓球教室）が定着しました。その甲斐あってカデット・ジュニア部門で成果が顕著に現れています。

東播7市親善大会といって男女混合での市対抗戦も39回を迎え、市民大会は64回を数え

ました。現在の大会は春秋の市民大会・9月のランク別大会・2月のランキング選手権・少年スポーツ大会・中学生大会（近隣中学を含む）と多彩になりました。なお行事としてはスポーツ振興基金による強化練習会・指導者講習会・ジュニア強化練習会を実施しています。



▲平成7年三木コミュニティスポーツセンターにて

特にスポーツ振興基金により61年の羅武漢・王会元、62年の謝春英・陳莉莉（中国）といった世界のトッププレーヤーを迎えての指導者講習会は圧巻でした。基金提供に深甚の感謝を申し上げます。

現在は競技人口約600名、役員20名という大家族になりました。

本当に息の合った温かい雰囲気運営されております。

さてバブルの崩壊以後わずかずつではあれ確かにスポーツ熱は後退していると感じます。

経済の不透明さが影響しているものと考えられます。

そういった中、世界レベルの広島アジア大会において小山ちれ（池田銀行）が陳静（台湾）ソウル五輪優勝・喬紅（中国）1989年世界選手権優勝・鄧亞萍（中国）バルセロナ五輪と1991年世界選手権優勝者を撃破して日本に1986年バンコク大会以来の女子シングルス優勝をもたらしました。本当に大きな意義をもつ優勝で、また新たな希望をあたえてもら

いました。紙一重の勝敗こそスポーツの醍醐味であり栄光だと思います。

三木市は兵庫県内7地区のうち、東播地区の中心に位置しており将来はさらに重要な立場を担うことになると考えられます。当卓球協会の今後の課題として新体育館の完成をかんがみ、さらにジュニアの強化と社会体育の発展に寄与できるよう邁進していきたいものと思っています。

（文・寺本興道）



▲昭和61年卓球教室



▲平成6年青山公民館にて

柔 道

選手の育成から市民の健康づくりまで



三木市柔道協会は体協発足時よりその傘下に入り同じく40周年を迎える。前身は三木武道連盟と称し、剣道と共に毎年金物まつり武道大会を盛大に開催していた。

現在も別所公春まつり武道大会、義民祭柔道大会等市民大会を企画、運営し市内の柔道の普及、発展に努めている。

三木の柔道は古くから市内の私設道場が実質的な活動の中心を担ってきた。戦前の三木尚武館に始まり、青田道場、山本道場等有名な道場が割拠した。現在も戦後まもなく故武川茂夫氏が創設された三木武川道場、昭和54年4月中村古氏が緑が丘に設立された三木誠心館、さらに公民館活動のサークルとして発足し県警OBの森田正己氏等の指導される緑が丘町公民館柔道部会、この3か所で青少年の育成から一般成年層まで幅広く活動が行われている。

また学校柔道部も市内の県立高校3校には全て柔道部があり、熱心な指導者のもとで県大会に於ても健闘し優秀な成績を収めている。近年、女子柔道も盛んになり殊に女子部の活躍にはめざましいものがある。

最近、女性の柔道人口の増加は喜ばしいことであるが、全体としては柔道人口が減少傾向にあり、近隣の市町に比べ市内の中学校に柔道部がない当市では特に顕著である。そこ

で今後、関係機関に働きかけ、市内の中学校のクラブ活動に柔道を取り入れていただくようお願いし、小学生から中学生、高校生、社会人と続く一貫した柔道の普及システムを整備し、選手の育成から市民の健康づくりに至るまで幅広い活動の一端を担えればと考えている。

最後に協会発足から今日まで御支援、御尽力いただいた関係各位並びに諸先輩方に対し、この稿をかりて厚くお礼申し上げる次第である。

(文・池田哲雄)



▲昭和38年青年大会

ソフトテニス

40周年記念を祝して



三木市体育協会40周年おめでとうございます。

皆様と共に、喜びを分かち合い、心からの祝福を、お贈り申し上げます。

体育協会は、市制発足以来、体育協会の発展と、市民の福祉向上、協会相互の親睦と交流等、広範囲に活動され、すばらしい「歴史と伝統」を構築していただきました。

これは、ひとえに歴代役員様の指導力と、各協会の皆様のご熱意とご努力であります。

深く敬意を表するものであります。

私達ソフトテニス協会の今後の活躍も時代の進歩と、変化を熟知し、知恵を出し合い、新しい発想、新しい行動を通じ、活動してまいります。

今後とも、40周年記念を契機に、変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げます。

(文・永尾隆保)



▲昭和57年緑が丘ソフトテニスクラブ



▲平成2年会長杯

剣 道

「礼節・いつくしみ・節度」を大切に



1. 剣道のこころ（在り方）

(1) 剣道の理念

剣道は
剣の理法の修練による
人間形成の道である

(2) 剣道修練の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して
旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて
礼節をとうとび
信義を重じて
常に自己の修養に務め
以って
国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

財団法人全日本剣道連盟で昭和50年3月20日に制定して、剣道を学ぶ者への指針として



▲剣道選手強化講習会

定めました。日本伝統武道（文化）の全てに通じる精神と思います。

日本の風土で育まれた伝統芸道や武道は、宗教に教えを求め、天地自然の中で人間として生かされ美しい人として、そのかたちに芸術性を求めるまで高まり育まれてきました。生命をかけての戦のなかから、身体や技の向上だけでなく、心の修業にまで昇華し人間形成の修練として伝えられました。故に中学校高等学校の教育課程の中「武道」として、伝統文化の継承と位置づけられています。

国際的な現在では、日本人の資質として伝統文化の理解は大切です。しかし、三木市内の中学校では武道場の建設が遅れており、授業での扱いも実施されていないようです。剣道連盟では、学校教育や社会教育の中で武道が正しく理解され位置づけられることを希求して、日々の実践に会員一同が取り組んでいます。



▲三木市民剣道大会

2. 三木市剣道連盟の組織（平成6年度）

名誉会長	宮脇義昌	82-3160	会長	藤原淳作	86-2541	・三木高校	高橋洋三	82-9749
顧問	仙丸喜次	63-2972	副会長	小紫邦夫	82-5423	・三木東高校	榊原一磨	84-1283
参与	大林勲	82-3138	副会長	岸本晃	85-2520	・三木北高校	安田隆一	078-593-0557
参与	服部巳代基	85-2141				・吉川高校	公森仁	82-1402
参与	松本精一	87-3779				・三木中学校	古井秀和	83-2289
参与	永井秋男	85-6754				・自由が丘中学校	船江しのぶ	
参与	大津明弘	0794-67-1848	幹事長	神澤正輝	85-4855	・志染中学校		
会計監査	伊藤富蔵	85-1404				・別所中学校	前田義典	
	赤井照夫	85-7172				・三木東中学校		
						・緑が丘中学校	酒井	(学校長)

幹事	高橋洋三	82-9749	那須敏比古	85-7249	森下哲次	84-1404	桜田勝巳	85-6035
	小寺正敏	85-3508	田畑修	83-4394	澤田薫	83-6127	西岡伸泰	82-5374
	小椋治朗	83-4490	大柴敏昭	83-1761				

3. 三木市剣道連盟の活動状況

伝統文化の剣道の正しい理解と継承を願い活動を続けました。主な活動を述べます。

(1)少年剣道教室

連盟発足の当初より、青少年の心身の健全育成を目標に小中学生を対象に剣道教室を開きました。現在は、三木中央・三木平田・別所・志染・口吉川・細川・緑が丘・自由が丘・剣修会（三木警察署）9教室があり、お互いに連携し心身の鍛錬に励んでいます。

(2)中学・高等学校の部活動

中学校は生徒数の減少に伴い、部活動で個人競技種目の廃部が目立ち、剣道部もその対象になっています。この10年間で三木東中学

校・自由が丘中学校で剣道部が無くなりました。今では、三木・別所・志染中学校の3校です。緑が丘・自由が丘中学校では、剣道部への希望者があるのに創部ができなかったり、廃部になる状況が出ています。連盟では、実技指導者を学校の部活動への参加をお願いしているが、学校からの要望は無い。高等学校は、三木・三木東・三木北・吉川高校と部活動は盛んで連盟の活動にも協力をいただき剣道活性の原動力にもなっています。しかし、生徒数の減少や社会の風潮の変化に伴い部員数も減っています。

(3)三木市剣道連盟の事業

連盟は中学校の体育科の武道の位置づけや、

三木市だけが無い武道場の建設・部活動での武道の扱い等について、教育委員会や市・関係機関へ要望をしています。

年間事業、1月～新春奉納剣道大会（東ライオンズ主催）・5月～別所公春祭協賛剣道大会（区長協議会主催）10月～三木市青少年健全育成剣道大会（防犯協会共催）11月～三木市民剣道大会兼少年スポーツ大会・12月～三木市剣道連盟稽古納め・3月～東播少年剣道大会・5月～中兵庫少年剣道大会・兵庫県少年剣道の集い・8月～東播七市親善剣道大会・11月～兵庫県剣道優勝大会・剣道級位審査会（年3回）・月木土曜日稽古会・中学生金曜稽古会（第1・3週）



▲剣道範士九段鶴丸先生～講習会に於て



▲仙丸範士「鍛錬」碑 緑が丘小体育館

(4)三木市スポーツ基金の剣道選手強化と指導者育成講習会

剣道の一層の充実を計るため、強化練習と指導者の審判講習・剣道理念について、立派な講師を招いて講習会を開催していただいた。

昭和62年度	剣道範士八段	鶴丸壽一先生
昭和63年度	剣道範士七段	仙丸喜次先生
平成元年度	剣道範士八段	村山慶佑先生
平成2年度	剣道範士八段	鶴丸壽一先生
平成3年度	剣道範士七段	仙丸喜次先生
平成4年度	剣道範士八段	鶴丸壽一先生
平成6年度	剣道範士八段	三浦経一先生

「それ剣は心なり、心正しからざれば剣また正しからず、すべからく、剣を学ばんと欲する者は、先ず心より学ぶべし。」

剣聖 島田虎之助

「心とは自己なり」 釈宗活老師

先人の教えの正しい剣道を求め、現在の日本社会に欠けて来た、「礼節・いつくしみ・節度」を重んじる伝統文化を大切に活動を続けていきたい。

(文・藤原淳作)

空 手 道

わが連盟のあゆみ



昭和30年頃、現、川庄百貨店の野田義一氏が、栄町の公民館で町道場として空手を教えておられた。当時は、一般社会人が仕事を終えて各自が、もくもくと、鍛錬していたことが思いだされる。昭和23年頃、県立三木高等学校にも、三木高等学校空手同好会という形で発足している。空手技術の取得にはいろいろ難しいことがあり、高校レベルはこのようなものであるという、比較できない状態の中で、ひたすら野田氏の道場よりの技術の取得で、空手道の修練にはげんでいた。昭和42年5月県立三木高等学校空手道部OBを主体として、三木市空手道同好会を発足、同時に組織の強化と、技術の向上のため、全国に団体、支部をもつ、全日本空手道連合修交会（会長 谷長治郎宗家、本部・神戸市兵庫区大開通7丁目3-10）の三木支部として登録し、修交会の支部機関としても発足した。目的として空手道の修業により、会員相互の連携と、相互援助により自ら進んで、心身をきたえ、品格の陶冶をはかり、識見の啓発につとめ、人格の向上と完成を期することにより、空手道の普及発展につとめると共に、空手道を通じて、社会に貢献せんことを目的とする。発足当初は、三木中学校の体育館を借用し、週に3回、一般社会人を対象に空手道の修練を開始した。昭和43年3月、三木市体育協会に

入会と同時に、練習場所を市民体育館に移す。この年より、2月11日に、大宮神社において、三木高校空手同好会と合同で奉納演武、5月には、別所公奉賛会主催の春祭には上の丸公園において、空手道演武を実施してきた。又修交会空手道の、年間行事等にも、積極的に参加して、心身の錬磨と、空手道の普及発展に努めてきた。現在、選手権大会、講習会等に参加して、より一層の技術の向上に努めている。年々有段者の数も増えて指導体制も、強化され、健全な三木市空手道連盟を三木市の土地に根強く発展させたいと会員一同が思っている。三木市空手道連盟の結成は昭和55年4月、三木空手同好会・自由が丘空手道同好会により発足をし、兵庫県空手道連盟にも加盟している。現在、練習日時は、月曜日は、体育センター、木、土曜日が市民体育館、いずれも午後7時30分から9時まで実施している。今後、会員の範囲も小学生から一般社会人まで広げ、空手道の普及、発展と健全な社会人となるべく努力したいと思っている。

（文・佐藤綱記）



▲平成6年少年スポーツ大会

水 泳

体育協会40周年を迎えて



夢に迄見た室内プールが出来る事となり30年にわたり云い続け御願ひして来た事が実現する喜びは筆舌につくしがたいとはこの事と思います。三木市体育協会40周年記念に当り加盟以来協会会長はじめ各種目協会の方々又賛同頂いた人々の御援助御協力によるものと感謝致すものであります。

三木に移り住み我が子と共に山に川にと遊びに行った時、山はまだ自然が一杯で四季の色が大変美しく思われました。

しかし川は生活様式の変化から濁水あわの立った水のたれ流しが川に流れこみ川底の石の色が水苔ではなくヘドロでおおわれて居てとても川遊び、水にしたしむ事は出来ないと痛切に感じました。人間生まれる迄母の胎内で羊水に守られ、人生の終わりには死水を取って旅立って行く様に人間と水との中は好者と悪者と紙一重であり、水も一たび怒れば人命も家も土地も一たまりもなくうばいさり年間の水難者数は一向に少なくならない、水を悪者にしたくない為にも水と仲よくし、おぼれない為に泳ぎをおぼえ、泳ぎながら体を鍛え好者である水を理解し利用していく事が大切だと思います。

室内プールは年中利用でき泳げる様になればより早く泳ぎ記録に挑戦する事も大事、しかしプール利用は競泳だけではなく、これか

らの時代は生涯スポーツをめざし、家族だんらんで遊ぶもよし全身運動でもあるから歩行困難な人は水の中を歩き走り、リハビリ等利用法はたくさんある事を知ってただプールが出来た、泳ぐ所かと云う考えをあらため、運動不足一生の保険の為ににおおいに自分の健康を願う気持ちをこのプールに託し利用する事が大切ではないかと思ひます。

永い年月をかけお願いして来た室内プールは近く着工されれば完成はまちがいに迎える事が出来るが、出来れば、出来たでどの様に適切に運営するか大切に管理して行けるかは利用する者の気持ち次第ではないかと強く感じます。市民待望の施設は市民みんなで利用し大事に守って行かなければならないと思ひます。

これより先50年100年と益々の三木市体育協会の発展と市民の皆様がスポーツを愛し健康で楽しく生活をされる事を祈ります。

(文・山村富和)



▲平成元年三木東中にて

サッカー

三木市のサッカーのあゆみ



昭和37年6月23日オリンピックデーを期して、「スポーツ少年団」が創設される。

*少年たちをもう少し組織的に、もう少し計画的に、もう少し目的的にスポーツをやらせる。

*スポーツ少年団の組織

- 日本スポーツ少年団本部
- ↓
- 都道府県スポーツ少年団本部
- ↓
- 市区町村スポーツ少年団本部
- ↓
- スポーツ少年団

昭和39年（1964年） 東京オリンピック

昭和42年（1967年） 三木中学校にサッカー部できる。

昭和43年（1968年） 三木小学校で特別サッカークラブの指導始まる。

昭和45年（1970年） 三木高校にサッカー同好会できる。

昭和47年（1972年） 三木・小野工高OBを中心に、三木フットボールクラブ（以下三木FCとする）結成。

三木FC神戸ユース大会優勝。

第5回兵庫少年サッカー大会6年の部で、三木スポーツ少年団準優勝。
5年が3位に入賞。

このころ、小学生の女子サッカーチームも活動を開始する。

三木サッカー協会設立。

昭和49年（1974年） 三木FC 天皇杯兵庫予選で準々決勝に進出。

第7回兵庫少年サッカー大会5部（4年の部）で三木スポーツ少年団県大会初優勝。

市制20周年記念三木サッカーフェスティバル開催。

昭和50年（1975年） 兵庫県少年サッカー大会で全三木が優勝。全国大会（東京）に出場。予選リーグ3勝1敗でおしくもベスト8に入れず。

*現横浜ベイスターズで活躍の横谷彰将選手と元全日空（現横浜フリューゲルスの前身）チームを退団後、関西学院大学サッカー部のコーチに就任された古谷大治氏はその当時のメンバー。

三木中学校サッカー部近畿大会出場。

- *この年 三木市スポーツ少年団本部が結成される。
- *三木F C県社会人都市対抗選手権優勝。
- 昭和51年（1976年） 近県少年サッカー大会（岡山県津山市）で全三木チーム準優勝。
兵庫県中学生サッカー選手権大会1年の部で三木S S初優勝。
三木F C県社会人中央大会優勝。
三木F C県社会人リーグ昇格（昭和63年まで）
（51・56・61・62年度はいずれも第3位の成績）
- 昭和52年（1977年） 近県少年サッカー大会（鳥取県鳥取市）で三木選抜チーム準優勝。
兵庫県中学生サッカー選手権大会で緑が丘中学校初優勝。
- 昭和55年（1980年） 第13回兵庫県少年サッカー大会女子の部で、自由が丘スポーツ少年団準優勝。
- 昭和57年（1982年） 鳥取国体で兵庫代表少年チーム全国初優勝。三木市から石田明豊氏が、代表チームの一員として活躍する。
中学総体で別所中学校 兵庫県大会初優勝。全国大会に出場し、1回戦で優勝候補の古河中を破る。
- 昭和58年（1983年） 三木高校サッカー部兵庫県新人戦第3位。
- 昭和59年（1984年） 兵庫県都市対抗少年サッカー大会で三木選抜チーム第3位。
- 昭和60年（1985年） 三木F C、兵庫県社会人中央大会で優勝。天皇杯関西大会に出場。
- 昭和61年（1986年） 三木F C、関西社会人大会（奈良）で優勝。全国社会人大会に関西代表として出場（沖縄）。
- 昭和62年（1987年） 三木F C天皇杯関西大会出場。
- 平成2年（1990年） 三木高校サッカー部兵庫県新人戦準優勝。
- 平成3年（1991年） 兵庫県都市対抗少年サッカー大会で三木選抜チーム第3位。
*この年、別所スポーツ少年団4年、兵庫県大会優勝。
- 平成4年（1992年） 別所スポーツ少年団の藤原功旨君日本代表チームの一人に選ばれる。
*三木サッカー協会設立20周年記念サッカーフェスティバル開催。
*F C三木ドリームズ92（中学以上の女性チーム）発足。
- 平成5年（1993年） 別所スポーツ少年団6年チーム、関西大会準優勝。
*緑が丘東サッカークラブ、兵庫県大会（女子の部）で優勝。
*自由が丘小特別サッカークラブ（女子）、秋の関西大会優勝。
*F C三木ドリームズ92 関西社会人女子サッカーリーグⅡ部リーグ優勝。

平成6年(1994年) FC三木ドリームズ92 関西社会人女子サッカーリーグI部リーグ昇格。

*FC三木ドリームズ92 関西中学女子サッカー選手権大会3位。



【三木市におけるサッカーのあゆみ】

三木市における組織的なサッカーの活動は、三木中学校にサッカー部が設立されたときに始まる。これが、中学生チームの草分けとなり、市内の中学校の部活動にサッカーが広まるもととなった。翌年(昭和43年)には、三木小学校で特別サッカークラブができ、最初の小学生チームとなり、三木市に少年サッカーが広まるもとになった。これには、全国的・県下のみにて圧倒的に劣る三木小学校の児童の体格・体力の向上をめざすねらいがあった。このねらいを達成しようとサッカーを取り入れ、その活動に積極的な役割を果たされたのが、現三木小学校の飯田弘次校長である。昭和45年には、三木中学校サッカー部で活躍された桑慶一氏等が中心となって、三木高等学校にサッカー同好会が設立され、高校サッカーのもとがつけられた。昭和47年には、三木フットボールクラブ(三木FC)が、今井正人氏等の尽力で結成され、社会人チームの誕生をみるようになった。こうして、5年にわたる歳月を要して、三木市に子どもから大人まで

のサッカーチームができ、以後の広がり活躍のもとができあがったのである。この年昭和47年には、市内のサッカーチームを統括するため、小山伊一現三木市議会議員を初代会長に迎え、三木サッカー協会が設立され、三木市体育協会への加盟も実現した。

三木サッカー協会ができてから20余年、その間の協会傘下の各チームの活躍は目を見張るものがある。全三木をはじめ、別所中学校・三木FCの全国大会出場は、金物の町三木の名を、あらためて県内外に広めるところになった。(年表参照) こうして、三木市体育協会40周年を迎えた今、子どもから大人まで(女子チームを含む)、チーム数とサッカー人口は



拡大の一途をたどり、協会としてはうれしいかぎりである。やがて、三木市からJリーグで活躍する選手があらわれることを期待して、簡単ではあるが「三木市におけるサッカーのあゆみ」としたい。

1994. 9 (文・西阪義雄)

(注) 写真はいずれも日本オリンピック委員会の岡野俊一郎氏の指導風景。
(会場は三樹小学校・昭和46年)

バドミントン

生涯スポーツとして



いま、広島ではアジア大会が開催されている。アジアならではの、オリンピックとは一味違う種目があったいへん興味深い。足を使うバレーボールのセパタクロ、鬼ごっこのカバディー、日本のお家芸の空手など。

バドミントンは、オリンピックでは前回のバルセロナから採用されたが、アジアのお家芸といわれるぐらい、人気、実力抜群で、アジアが世界にはこる種目のひとつである。かつて、日本女子は、ユバ杯（世界女子団体戦）保持国であったが、今は、残念ながら、インドネシア、韓国、中国に押されており今後の日本チームの奮闘を期待したいものである。

さて、本年度は、三木市体育協会40周年の記念すべき年。

バドミントン協会も昭和53年4月に体育協会加盟以来、今年で18周年を迎えることができた。結成時、3つの社会人クラブと三木東高校バドミントン部が母体となり、約30人の会員数でスタートした協会も、本年度登録会員数200人を数えた。また、協会OB（歴代登録者実数）も約800人をこえ、市民体育館を中心に、各地区公民館において多数のサークルが活動している。市民大会、県大会、全国大会をめざして、より高い技術向上をめざすもの、運動不足、ストレス解消、健康づく

りのためなど、めざすところはさまざまである。

今、高齢者の方のスポーツとして、ゲートボール、グラウンドゴルフ、ベタンクなどがさかんに行われ、年齢性別を問わず、国民皆スポーツの時代である。バドミントンにおいても、市民大会、県大会で50歳及び60歳以上の方々の参加もだんだんと増加しており、協会としても、「生涯スポーツとしての、バドミントン」への、対応を今後進めていかなければならないと考えている昨今である。

今後、ますますの体育協会の発展と、市民のスポーツの普及、振興を願いつつ、「さわやかな汗光ります」体育協会40周年おめでとう。」



▲昭和55年11月第4回市民大会

三木バドミントン協会の歩み

- S. 49. 5 市勤労青少年ホームにて、バドミントンサークル発足。
- S. 50. 8 市職員互助会バドサークル発足。
- S. 51. 5 三木バドクラブ発足。
- S. 52. 1 上記の3クラブと三木東高校バド部が母体となり「三木バドミントン協会」を設立。会長に玉木芳弘氏就任。
52. 5 第1回会長杯争奪バドミントン大会を開催。
- 8 第1回市民バドミントン大会を開催。
- 12 初めて、家庭婦人を対象とした「バドミントン教室」を開催。(市民体育館にて)
- S. 53. 4 三木市体育協会に加盟。
- 5 ジュネスバドサークル(家庭婦人)協会加盟。
- 6 別所町公民館にて、成人・家庭婦人・青少年対象のバドミントン教室を開催。
- 6 姫路バドミントン協会に加盟し、対外試合に積極的に参加。
- S. 54. 1 サタデーバドクラブ(家庭婦人)協会加盟。
- S. 55. 1 別所ブーナークラブ(家庭婦人)、別所ヤングシャトル(青年)、自由が丘バドクラブ(家庭婦人)協会加盟。
- 9 県青年大会(県連合青年団主催)に優勝。
- 11 全国青年大会(日本青年団協議会主催)に出場。
- S. 56. 1 玉木芳弘氏、会長を勇退、会長代行として高井孝行氏が就任。
56. 1 別所クリヤーズ(家庭婦人)協会加盟。
56. 4 県社会人連盟に登録。
- 7 第1回三木オープンバドミントン大会を開催、近隣市町より、バド愛好者多数参加。
57. 4 高井孝行氏会長に就任。
- 4 協会内に婦人バドミントン連盟が発足。会長に山岡美佐子氏。
- 8 緑が丘町公民館にて、成人、家庭婦人、青少年対象のバドミントン教室を開催。
58. 4 緑が丘フライデーバドクラブ、緑が丘ジュネス、緑が丘バドクラブ(以上家庭婦人)緑が丘成人バド、グリーン羽球会、追い羽根バドクラブ、協会加盟。
59. 3 婦人バドミントン連盟会長、山岡美佐子氏勇退。後任に吉田緋佐代氏。
- 4 協会加盟クラブ 13団体、150名となる。
- 7 体育協会30周年記念親子バドミントン大会。
- 高井会長が東播磨体育指導員功労者表彰を受賞。

松沢功・藤木義和・吉田一茂が体育協会功労者表彰を受賞。

S. 60. 4 グリーンジュニアバド（子供）協会加盟。

県青年大会優勝（県連合青年団主催）全国大会出場。

S. 61. 4 赤とんぼクラブ協会加盟。

S. 62. 2 第1回市民バドミントン大会団体戦。

10 バドミントン協会発足10周年セレモニー。

記念式典及び協会功労者16名及び永年会員18名を表彰。

協会発足10周年記念誌発行。

S. 63. 4 U・B・Aクラブ 協会加盟。

エムクラブ（家庭婦人）協会加盟。

BBC（家庭婦人）協会加盟。

細川クラブ（家庭婦人）協会加盟。

吉川高校バドミントンクラブ協会加盟。

平成元. 4 グリーンレディース（家庭婦人）協会加盟。

高井孝行・今井信夫が体育協会功労者表彰を受賞。

10 財団法人スポーツ振興基金によるバドミントン指導者研修会。

2. 9 元中国ナショナルチームメンバー「丁麒慶」を迎えてのバドミントン指導者研修会。

3. 4 フリーダム（家庭婦人）協会加盟。

ゆうゆう（家庭婦人）協会加盟。

4. 9 県青年大会優勝（県連合青年団主催）全国大会出場。

5. 4 オリーブ（家庭婦人）協会加盟。

9 元日本チャンピオン「北田スミ子」を迎えてのバドミントン選手強化練習会。

6. 10 大方貞雄・澄川稔子が体育協会功労者表彰を受賞。

10 体育協会40周年記念市民バドミントン大会開催。

（文・姥 浩二）



▲昭和55年第5回会長杯にて

バスケットボール

子どもたちとともに



はじめから私事で申し訳ないのですが、私は大学を卒業して3年間ほど西宮市で下宿生活をしていました。当時西宮市における、小学生とスポーツとの関わり方は、三木市では考えられないほど羨ましいものでした。土曜、日曜日ともなるとスポーツのユニホームを着た小学生が、いろいろなスポーツ教室に参加しているのです。バスケットボールが好きであった私は、三木市の小学生でバスケットボールをやってみたいと思っている人がいてもできない状況が残念で仕方ありませんでした。この思いが、三木市でミニバスケットボール教室を始めるのに協力させて頂いた私の動機です。

幸い、三木市にも3度の飯よりバスケットボールが好きだという金井氏、横野氏、芝本氏、山本氏、等がおられ、各氏と共に練習場所・指導者・児童の募集の仕方など、何から何までゼロからの出発でミニバスケットボール教室をスタートしました。今では11年目を向かえ、いくらかの課題はあるものの定着し、子供達と共にバスケットボールを楽しんでいます。

このことがきっかけで三木市においても組織的な活動が必要であることを痛感し、三木市バスケットボール協会を設立し、体育協会への加盟もさせて頂きました。

ここで三木市バスケットボール協会が関わっている主な事業について紹介したいと思います。

《三木市民大会》

昔から三木市にはバスケットボールを愛好する人達が多くいましたが、市内の大会がなく、何とか開けないものかと相談し、昭和60年度に第1回大会を開催しました、市民大会とは名ばかりで、男子5チーム、女子3チーム（高校チームを含む）という少ない参加チーム数での出発でした。回を重ね、今では男子17チーム、女子8チームとチーム数も増え、1日では消化できず、2日間の大会にまでなり、今年度は第10回大会の記念大会を実施する運びとなりました。

《バスケットボール指導者研修会》

三木市スポーツ振興基金・三木市教育委員会のご理解の基、バスケットボール技術向上のために日本リーグ1部（現在2部）の三洋電機チームの監督・選手に2日間直接指導を仰いでいます。この事業も6年目を向かえ石川監督より「年をおうごとに選手が上手になっている。協会もよくまとまって活動している」とお褒めの言葉を頂き喜んでいます。また、この研修会が縁で伊東千佳選手が三木高校より三洋電機に入社され、現在活躍中です。

（次ページ新聞記事参照）

バスケットボールの「星」

三木市の伊東千佳さん



三木市から初めてバスケット界の星に躍り出た伊東さん

強化練習会で 監督の目にとまる

エールを送る市民ら

の際、石川昭監督の目にとまり、才能と将来性を買われてスカウトされた。先月二十七日の卒業式を終え、一息つく間もなく今月四日に入寮した。

身長一七六センチ、ステップシュートが得意の伊東さんは「マーマイドのメンバーはすばらしい選手がいっぱい。レギュラーになるための努力したい」。三木高校のバスケットボール顧問、岩城浩司教諭は「とにかく頑張ってほしい。試合には応援団を率いて観戦します」とエールを送っている。

無名の三木高から日本リーグの三洋電機入り

三木市志染町東自由が丘 三洋電機に就職が決まり、一メイトの選手として活

するなど名門高の選手がほとんどだったが、無名の高校バスケット部からの入部は極めてまれ。出身の三木高校や市民は、伊東さんの活躍に期待を寄せている。

伊東さんは小学生のころからスポーツが得意で、市内の小学校記録大会では陸上選手として好成績を残

からスポーツが得意で、市内の小学校記録大会では陸上選手として好成績を残

からスポーツが得意で、市内の小学校記録大会では陸上選手として好成績を残

からスポーツが得意で、市内の小学校記録大会では陸上選手として好成績を残

からスポーツが得意で、市内の小学校記録大会では陸上選手として好成績を残

からスポーツが得意で、市内の小学校記録大会では陸上選手として好成績を残

からスポーツが得意で、市内の小学校記録大会では陸上選手として好成績を残

からスポーツが得意で、市内の小学校記録大会では陸上選手として好成績を残

からスポーツが得意で、市内の小学校記録大会では陸上選手として好成績を残

からスポーツが得意で、市内の小学校記録大会では陸上選手として好成績を残

《ミニバスケットボール教室》

始めに紹介しましたように11年目を向かえ活動しています。東播大会にも年に2回出場し、他地域との交流も深めています。若い指導者が少ないことが今後の課題として残されています。

最後に三木市バスケットボール協会としては三木市体育協会の傘下の基、生涯学習の一環として生涯スポーツ振興のため微力ながら協力したいと考えています。それと共に将来三木市に日本リーグの大会を誘致できればと夢を抱いています。

1994年(平成6年)8月21日

日曜日

不申

戸

新

三洋電機女子バスケットボール部を迎えて開かれた「バスケットボール指導者研修会」三木東中



今年で六回目を迎え、市・今回は個人技術よりもチームの六中学校と三高校のバスケットボール部員と指導者となった。講師は、初回から務めて

中高生と指導者からバスケット研修に60人

三木東中

すごいな一流プレー

一流のプレーから学ぶ「バスケットボール指導者研修会」(三木市スポーツ振興基金)が主催。21日、三木市福井の市立三木東中学校で開かれた。

チーム実技学ぶ

三洋電機女子バスケットボール部は、初の三木市立三木中学校の山城理絵さん(二年生)は「アイミックスでスピードあふれるプレーを間近で見て大変参考になりました」と話していた。研修会は二十一日も開かれる。

いる三洋電機女子バスケットボール部の石川昭監督と、同部のメンバー十三人が担当した。生徒らは、メンバーの素晴らしいチームプレーに見入っていた。また、コート内でディフェンスとオフenseの実技を熱心に学んだ。石川監督は「最初のころに比べると格段に進歩しているようだ。毎年の積み重ねの成果が目に見えてうれしい」と満足そうに話した。参加した市立三木中学校の山城理絵さん(二年生)は「アイミックスでスピードあふれるプレーを間近で見て大変参考になりました」と話していた。研修会は二十一日も開かれる。

(文・藤原千秋)



▲平成元年の指導者研修会

テニス

協会のあゆみ



三木市テニス協会が設立されて今年で17周年の年月を迎えることができました。当協会が今日の隆盛を迎える事ができましたのは、歴代の会長をはじめとする役員は勿論、会員諸氏の暖かいご協力であり、深く感謝申し上げます次第です。

協会発足当時の歩みは「30年の歩み」の中で詳しく記載されておりますが、昭和52年9月会員数72名・5団体で発足し、別表1に示すように現在では会員数1,307名・11団体と飛躍的に増加し、益々隆盛の一途をたどっている事は喜ばしいことであります。特に、昭和63年に関係者のご尽力で緑が丘スポーツ公園に待望のオムニコート8面が完成し、市民大会が青山地区周辺で、同時開催が可能となり、又、東播大会・兵庫県レディース大会・ふれあいの祭典などビッグイベントの誘致が実現されました。かくして協会発足からの願いで

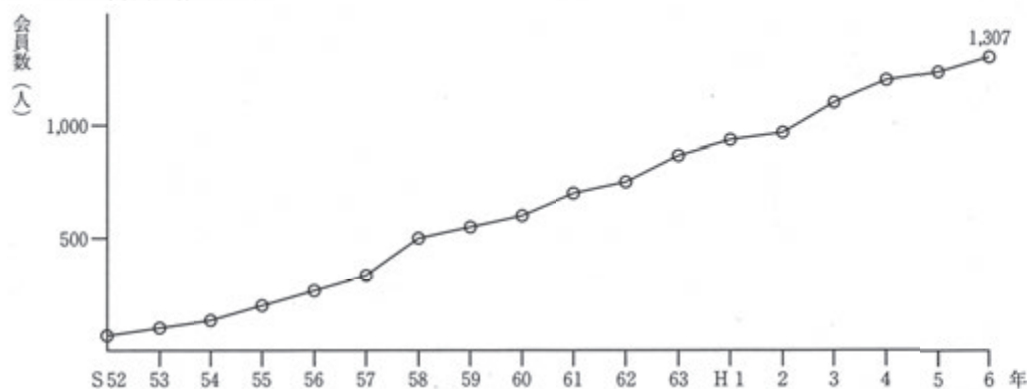
あった施設（コート）の完成をみて、会則にうたっているテニス普及発展への第2期目へのステップが始まった訳であります。

昭和57年より開催している初心者向テニス教室も、今年で13年目を迎えて延べ650名もの卒業生を送りだしました。

当時、初心者でボールを満足に打てなかった方々が、今では市民大会で活躍している姿を又、御夫婦でテニスに興じている姿を見ると、私達も少しはお役に立っているのかなあと思っています。

テニス協会の歩んだ17年間の足跡を振り返り、又、テニスをするための環境の整った今「市民の健康増進とテニス普及発展」という命題を今一度原点に戻り、会員諸氏の皆様方とともに考える機会とし、私達協会役員一同は益々の発展の責任を感じるとともに、微力ながら努力してまいりたいと思っております。

表1 テニス協会員数の状況



三木市テニス協会の歩み（昭和59年以後）

- S. 59. 1 原 春男氏会長を勇退。佐藤 充会長・長曾我部次郎理事長が就任
- S. 59. 11 三木オープンテニス大会（S）男子375名・女子75名計450名参加で史上最高であった。
- S. 61. 3 第16、第17回市民大会を真新しいグリーンピア三木テニスコートで開催。
- S. 62. 9 第20、第21回市民大会を関西女学院短大コートで開催。その後数年間、開催した。
- S. 63. 4 第22、第23回市民大会を新設なった緑が丘スポーツ公園コートで開催。
- S. 63. 10 兵庫県レディーズ大会を三木市にて開催。その後、兵庫県女子委員会大会の中、4大会誘致。
- S. 63. 12 兵庫県テニス協会総会をグリーンピア三木にて開催。（1泊2日）
- H. 1. 3 第1回東播磨テニス選手権開催。（於：三木）その後、各市持回りで開催。
- H. 4. 1 佐藤充氏会長を勇退。長曾我部次郎会長・野津千巻理事長が就任。
- H. 4. 10 ふれあいの祭典'92東播磨硬式テニス大会開催。
- H. 5. 4 第30、第31回市民大会を協同学苑テニスコートで開催。
- H. 6. 10 協会員数1,307名所属11団体となる。



▲昭和52年ごろ天王山テニスコートにて

《役員》

顧問：福間俊史・田中敏朗

会長：長曾我部次郎

理事長：野津千巻

副理事長：郡山孝志

専務理事：高見一男・木村俊紀・八木成旭

会計理事：勝丸由美子

監査役：若林博之

理事：福村誠助（緑が丘TC）・長尾順子（緑が丘TC）・井上利通（オアシス）

告野幹也（オアシス）・高松 優（天王山TC）・松下 明（天王山TC）

井上勝俊（ミヤナガ）・長野正勝（極東開発）・小林敏彦（古野電機）

小柴寛治（三木ロイヤル）・宮本政一（三木ロイヤル）・鈴木秀明（三木ロイヤル）

田中勝志（広野田園）・石原義勝（広野田園）・長尾郁代（協同学苑）

協会推薦：平井順子・井上幸子

（文・長曾我部次郎）

ソフトボール

レベル向上をめざして



ソフトボール協会は、三木市におけるソフトボール競技の普及振興と会員相互の親睦をはかり、併せて、三木市内のスポーツ界の発展に寄与することをスローガンに、昭和53年4月に発足、又、事業として……三木市におけるソフトボール競技の各種大会及び会合の主催・主管または後援、各種競技大会への三木市代表チームの選手及び役員派遣、競技規則の研究及び徹底・技術向上に関する研究指

導等を行いながら、ソフトボールの発展を希望し各方面と御協力しながら協会運営を続ける。

本年度、兵庫県都市対抗ソフトボール大会において、三木市代表「前田クラブ」は2回戦で優勝候補「富士通明石」チームと対戦し4-3で惜しくも敗戦したが、全国大会出場チームと対等に試合が出来るまで、三木市協会のレベルも向上した。



▲平成6・7年度役員

市民大会の成績

■男子の部

	優 勝	準 優 勝
第1回	排釜会	誠球クラブ
第2回	オール自由が丘	緑が丘西3丁目
第3回	緑が丘西3丁目	ベアーズ
第4回	緑が丘西3丁目	オール自由が丘
第5回	緑が丘西3丁目	オール自由が丘
第6回	緑が丘西3丁目	志染クラブ
第7回	丸一フォックス	フェニックス
第8回	緑が丘グリーンファイターズ	前田クラブ
第9回	緑が丘グリーンファイターズ	前田クラブ
第10回	オール自由が丘	緑が丘本町
第11回	オール自由が丘	緑が丘本町
第12回	さわやかBOYS	緑が丘中1丁目
第13回	さわやかBOYS	あさひが丘スポーツ同好会
第14回	さわやかBOYS	あさひが丘スポーツ同好会
第15回	さわやかBOYS	あさひが丘A
第16回	さわやかBOYS	清水クラブ
第17回	さわやかBOYS	43年会

■女子の部

	優 勝	準 優 勝
第1回	—	—
第2回	—	—
第3回	東自由が丘	自由が丘ファミリーズ
第4回	自由が丘ファミリーズ	ナインズ
第5回	自由が丘ファミリーズ	レッドミッキーズ
第6回	自由が丘ファミリーズ	レインボー
第7回	自由が丘ファミリーズ	レインボー
第8回	—	—
第9回	—	—
第10回	—	—
第11回	三木高校	三木東高校
第12回	三木高校	三木クイーンズ
第13回	三木高校	自由が丘ファミリーズ
第14回	三木東高校	自由が丘ファミリーズ
第15回	—	—
第16回	三木高校	自由が丘クラブ
第17回	Fairy-R	自由が丘ファミリーズ

■中壮年地域の部

	優 勝	準 優 勝
第1回	—	—
第2回	西自由が丘	ナメラ
第3回	えびす町	ナメラ
第4回	西自由が丘	ナメラ
第5回	えびす町	フリーヒルズ
第6回	ナメラ	自由が丘本町
第7回	フリーヒルズ	えびす町
第8回	西自由が丘	自由が丘本町
第9回	中自由が丘2丁目	西自由が丘
第10回	西自由が丘	平田同好会
第11回	西自由が丘	大宮支部
第12回	自由が丘西	栄町シニヤーズ
第13回	学校北	中自由が丘クラブ
第14回	自由が丘西	中自由が丘クラブ
第15回	西自由が丘	あかねが丘
第16回	西自由が丘	三木クラブ
第17回	西自由が丘	緑が丘本町クラブ

(文・立山 亘)



▲平成元年4月ソフトボール審判講習会



▲昭和62年7月第10回市民ソフトボール大会始球式

ゲートボール

市民ゲートボール協会の歩み



私達の三木市民ゲートボール（GB）協会は、昭和57年7月に結成されました。当時GBは各地区の愛好者が老人スポーツとして練習を行っていましたが、兵庫県GB連合が行う県審判員制度を知り、地区のリーダー30余名の方々がその資格試験を受けられて、県審判員となられ、その方々の力によって三木市民GB協会が誕生しました。現在協会役員を辞職しておられますが、別所町東這田の岡本正文氏がその先駆者です。そして県GB連合に三木市民GB協会として正式加盟致しました。

初代の会長は当時三木市老人会連合会長宮脇初治氏に就任して頂き、副会長に岡本正文氏がなられ、三木市福祉会館の事務所一部を借用して事務局を置き現在に至っております。以来GBについての県連合との接渉、他市町加盟団体との交流、または協会内の諸行事、会計まで担当して一切を仕切ってこられました。

平成5年度より志染町御坂の黒井進氏が会長として岡本氏の後を引き継いでいます。現在の三木市民GB協会の組織構成は下表の通りです。

三木市民GB協会指導体系図

平成6年4月現在

会 長 副 会 長 指 導 部 長 副 指 導 部 長 事 務 局 長 会 計							
三木地区	久留美地区	別所地区	自由が丘地区	志染地区	緑が丘地区	細川地区	口吉川地区
コ ー チ 1 名	コ ー チ 1 名	コ ー チ 1 名	コ ー チ 1 名	コ ー チ 1 名	コ ー チ 1 名	コ ー チ 1 名	コ ー チ 1 名
指 導 員 2 名	指 導 員 3 名	指 導 員 5 名	指 導 員 3 名	指 導 員 6 名	指 導 員 6 名	指 導 員 13 名	指 導 員 6 名
審判員 1級 2級 3級 計	審判員 1級 2級 3級 計	審判員 1級 2級 3級 計	審判員 1級 2級 3級 計	審判員 1級 2級 3級 計	審判員 1級 2級 3級 計	審判員 1級 2級 3級 計	審判員 1級 2級 3級 計
1級 2級 3級 計	1級 2級 3級 計	1級 2級 3級 計	1級 2級 3級 計	1級 2級 3級 計	1級 2級 3級 計	1級 2級 3級 計	1級 2級 3級 計
4 18 22	7 62 69	3 6 26 35	2 4 17 23	1 6 28 35	1 9 27 37	2 14 44 60	2 8 28 38
一般会員 合 計	一般会員 合 計	一般会員 合 計	一般会員 合 計	一般会員 合 計	一般会員 合 計	一般会員 合 計	一般会員 合 計
51 73	78 147	53 88	21 44	75 110	37 74	40 100	41 79
チ ー ム 10	チ ー ム 18	チ ー ム 11	チ ー ム 8	チ ー ム 15	チ ー ム 10	チ ー ム 16	チ ー ム 14
指導員=45名 審判員 1級=11名 2級=58名 3級=250名 計319名 一般会員=396名 合計=695名 チーム数=102							

協会には市内各町より選出された理事25名をもって構成し、理事の互選により協会役員が選任されます。

平成6年度は会長黒井進氏、副会長小西宏氏、指導部長大前吉蔵氏、事務局長高田邦則、会計近藤善夫氏が就任、会長は協会を統括し、県連合の諸会議に参画する、副会長は会長補佐、指導部長はコーチ、指導員を掌握し協会の育成強化に当たる、事務局長は県連合、他市町加盟団体との接渉事務を扱い、協会事務業務に当たる、会計は会計業務に当たる、その他に行事企画委員等がいます。

兵庫県GB連合は昭和56年に発足し今年で15周年を迎えます。また、兵庫県は昭和61年に日本GB連合に加盟しました。日本GB連合には一般会員制度と、1級、2級、3級の公認審判員制度があり、県連合に加盟した団体の会員はその資格試験を受け、その資格を得た審判員は県連合が定める年2回の審判員規定講習会を受けなければなりません。審判員制度は生涯スポーツGBの普及振興を図り競技を通じて会員の健康を増進し、明るい社会づくりに寄与することを目的としますがいづれのスポーツにも共通した理念です。また、一般会員へのGBルール指導や各種GB競技大会にも進んで参加し、大会の競技指導、役員、審判員を努めます。

昭和62年、兵庫県GB連合は指導員制度を作り、2級以上の審判員より指導員を認定して年2回の研修会を開催しGBについての教育を行います。指導員は一般会員の育成強化、審判員の指導、組織内の活性化に努め本協会

にも45名の指導員が認定されその任に当たっています。

平成元年度よりコーチ制度も発足し、指導員1級審判員の中より、県連合が行うコーチ認定試験及び審査会に合格された方が任命され、三木協会でも6名のコーチがいます。コーチは県連合の指導審査専門委員会（GI委員会）が行う研修会を受け、県連合が実施する審判員規定講習会運営指導、指導員の活動を指揮実践し、指導員、審判員に対する自主研修会を実施して指導に当たる。また、審判資格試験の受験者に対する指定講習会も行い指導する、県連合が主催する競技大会や加盟団体が行う大会等にも大会役員、競技役員として参加することを優先されています。

その他、指導審査専門委員会制度等があり、県連合が主催する規定講習会、指導員研修会、コーチ研修会等係る業務を分担し、各研修会運営の業務も行い、審判員試験委員、また、各種競技大会ではそれぞれの部署の役員、これに係る業務を担当します。当協会でもGI委員2名が委嘱されています。以上三木市民GB協会の結成と組織の構成、県連合、日本GB連合に加盟した経緯、県連合が主管する制度の一部を紹介しました。

当協会では、結成以来数々の競技大会を行い、また、日本GB連合、県連合が主催する競技大会にも多く参加しています。例えば、当協会が行うGB大会の主なものは、春秋2回のライオンズクラブ杯GB大会、市長杯、社会福祉協議会長杯、喜友杯その他春秋2回のグリーンピアGB大会、年金友の会GB大

会等の主管も行っています。

県連合が主催する大会には、昭和63年第1回全国健康福祉兵庫県大会が初めて姫路市立スポーツセンターで開催され、北海道から沖縄の全国47都道府県、176チームが参加、3日間に亘る大会がありました。当協会からも大会役員6名が委嘱され参加しました。近くは昨年5月に第8回全国選抜選手権大会が神戸総合運動公園で開催され、全国より192チームが参加し2日間に亘り盛大に挙行されました。瀬戸内海オープン大会が毎年12月に淡路で開催され、今年で第8回今回は播州赤穂が開催地となっております。当協会からも毎年4～5チーム参加しております。平成4年度より山陰オープンGB大会が日本海香住町で開催、今年4月第3回大会、毎年2チームが参加し、協会役員は大会役員に召集されています。その他県内の諸競技大会が開催されそれ等の消化に協会としては苦慮しております。

平成3年9月、第4回全国健康福祉祭ねりんピック岩手GB大会が開催され、県大会で優勝した三木グリーンチームが県代表として参加し、全国176チームの予選を勝ち進み決勝トーナメント戦第2回戦で僅少の差で惜敗しましたが一躍三木GB協会の名を挙げました。

平成5年10月には第7回近畿地区GB選手権大会にも三木なかよしチームが兵庫県代表20チームの中に加わり、近畿120チームの中より決勝戦に進出し、ベスト8の成績を納めて平成6年3月三木市よりスポーツ賞を受賞しております。

以上三木GB協会が県内県外の大会に参加して得た業績と経緯です。

最後に、GBは一般的に高齢者、謂ゆるお年寄りの遊びスポーツと考えられがちですが、決してそうではありません。現在は小中学生から青年、壮年層まで幅広い範囲で楽しむスポーツ、全国大会に3連覇を成した日本海かすみチームは30代の年齢層です。私達三木協会も段々と高齢化が進んで参りましたが、決してお年寄りの遊びと言うスポーツではありません。今は世界選手権大会まで発展して来ております。若い世代の方々のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(文・高田邦則)



▲平成6年グリーンピア三木にて

会員のひろば

愛ちゃんに思う

卓球協会 武庫 富美子

ここ数ヶ月、「天才卓球少女愛ちゃん」をテレビで観るたびに、とかく卓球はクライだの、ダサイだのと、言われている中で、同じ卓球を愛する者にとって、卓球が話題になることを、とても嬉しく思っています。

9月10日、11日の2日間、姫路で行われた全国大会の様子がワイドショーで放映されると、あわててビデオに納めるありさまです。

愛ちゃんは、フォームも他のどの選手よりもきれいだし、サーブを出す時のラケットの握り方なども本格的です。もちろんパンビの部で愛ちゃんが優勝したことは、皆様ご存知のとおりです。

三木の少年卓球教室からも、小学2年生以下の愛ちゃんと同じパンビの部と、小学5・6年のホープスの部に、各1名ずつの選手が出場権を勝ち得て参加しています。このことは、小学生の卓球教室を指導している私たちにとってとてもうれしく励みになることです。いつも小さい子供達に卓球の楽しさを教え、指導することのむつかしさを痛感している私

たちにとって、愛ちゃんを始め、出場選手があそこまで上達するには、本人達の努力と共に、指導者の指導力と包容力がどんなに凄いものか、どんなに辛抱のいったことか、想像すらつきません。

愛ちゃんが将来、日本を代表する選手に成長することを楽しみにすると共に、第2の愛ちゃんを目指す全国の子供達がたくさん出てくれることと、三木の少年卓球教室からも、そうした選手が出ることを願って、日々の練習、指導に励みたいと思います。



私の人生、体育人生

陸上競技協会 池町 耕一

40周年記念誌に掲載を許され誠に光栄です。体協・体指・陸協を通じて多くの人に支えられ、「私の人生は体育人生」とも言える程年毎にいい思い出を重ねることができました。

お世話させていただくようになったのは、

昭和42年第1回建国記念市民ロードレースからでした。アスリートの底辺拡充策の一つとして三木市教育委員会の肝入りで開催、三木中学から平田橋まで往復3キロコース、中学生中心で始め、後に、小学生の部を設け、コースも三木高校一農免道路コース、一般社会人の部も設けるようになり、別所町ライスセンター周辺コース、再び三木高校、そしてグリーンピア三木へと発展、グリーンピア三木コースとなってからは、三木市教育委員会事務局、体指委、三木ライオンズクラブなどの全面支援を受け、営々と続いてきました。

また、昭和44年第1回市民家庭バレーボール大会（三木市、三木市体育協会主催）でも、星陽中PTAチームで出場、見事第1回優勝、その後も長らく運営に参画させていただきました。実行委員会制度発足当時は皆さんと力を合わせ、よく活動してきたと自負しています。

(注)三木青年会議所が新旧市民・幼少青壮高齢者・三世代ふれあいの場をと提唱・推進してこられた三木山ふれあいマラソンに第1回から参画させていただき、特に第7回から実行委員会で運営することになってからは、体育協会の皆さんに大変お世話になりました。いつも委員長という目立った位置に座らせていただいていたのですが、きれいな花には枝や葉があり幹があり、そして見えないところで一番大事な根があってこそです。そういうそれぞれの働きをしていただいた皆さん方のお陰です。ありがたいことと心から感謝申し上げます。



今年の3月、三木市制40周年を機会に建国記念三木市民ロードレース大会と三木山ふれあいマラソンを統合合併して、第1回みっきふれあいマラソンとして、全市民を挙げての一大スポーツイベントになったことをこの上ない感激のうちに迎えることができました。

ここまで書いたら、今日的话题として、大相撲入間川部屋の大内信英君のことに触れておきたいと思います。元大関琴風の尾車親方の40周年記念講演もいいタイミングで感謝しています。

彼は昭和58年三木中学校に入学しました。ちょうどその3年前から、藤原亮一氏が三木中に相撲部を復活させ、県大会や全国大会出場など勢いが出てきた当時のことでした。59年別所小学校長にご栄転されて、その後、相撲部の顧問を引き受けた時、大内君は2年生



でした。その年は、県総体団体準優勝（決勝戦3-2で惜敗）、近畿大会では団体優勝。近畿でチャンピオンとなった森田章嗣君（市川高一日大く全日本学生選手権2位）が3年生で抜群の力を発揮していました。2年生の夏から秋・冬と以後、機会を見つけて市川高校相撲部の胸を借り、淡路南淡、姫路灘、神戸夢野、三田八景など県内くまなく出稽古に行き、私も冬の寒空・寒風の中裸になってまわしをつけ一日も休まず一緒に稽古、その頃になると大内君の立合いの当りに耐えられなくなり確実に力を付けてきました。大内君以外の部員はまだまだ私に勝てる者はいませんでした。しかし、押し込まれてから土俵際の逆転投げ技の冴えが出て、翌年は県新人戦・総体とも団体優勝、札幌市での全国大会出場など、兵庫に三木ありと旋風を起こしました。三木市スポーツ最高賞を受賞。三木中に屋内相撲場ができたのは翌年昭和61年でした。

高校相撲の名門市川高校では森田君とともに市川高校2年生の時、インターハイ団体優勝の主役者となり、その輝かしい栄光を記念して、同校中庭に記念碑が建てられ顕彰され

ています。

日本大学に入学。高校時代相撲道に打ち込んだつわものどもが全国から集まった40名余の部員の中から、大学選手権の5人のメンバーに入ることは容易なことではありませんが、こつこつと力をつけ、濱の島や肥後の海、アマチュアチャンピオン矢須らと共に見事レギュラーの位置を獲得して健闘しました。東京阿佐ヶ谷日大相撲部の合宿所・大阪浜寺での全日本大学体重別選手権大会などへ激励に行ったりしているうちに、当初は大相撲入りを躊躇しておられたご両親も「ここまできたら本人がやりたいことを応援するしかない。」と話され、平成4年の暮れ、大相撲に入門するとの話を聞き、正月、藤原亮一氏と二人で大内君の前途隆盛を祈念してささやかな激励会をしました。NHKのど自慢で歌ったあの「男の土俵」はこの時から覚え始めました。

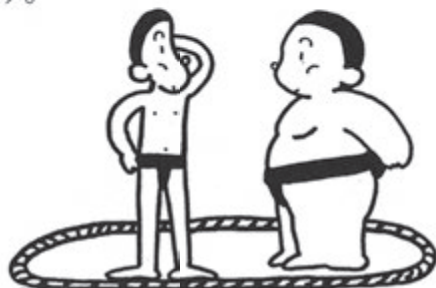
平成5年3月、日大卒業と同時に、4回生時代の主将、石川県輪島市出身白崎東洋君と一緒に、日大先輩元関脇栃司が起こした大相撲入間川部屋に入門。3月幕下つけだし4勝3敗、5月7戦全勝で幕下優勝、7月名古屋場所も初日から3連勝と勢いに乗っていたが、



中日、三木から友人と応援に行ったその目の前で、体重216キロの金作〔北の湖部屋〕と対戦して足首靭帯裂傷のケガに会い、約一年間はそのケガをかばい稽古不足で苦しい本場所づとめでした。NHKのど自慢が三木文化会館で催されるときいて、変わったキャラクターがあれば出場できるかもしれないと、大内君のことをコメントにして村田英雄の「男の土俵」を申し込んで毎日練習しました。750名の申し込みの中から抽選で200人が予選に参加。大内君に宅急便で送ってもらったあのどでかいユカタを安全ピンであちこち身上げして着て、幸い22人の枠に入れてもらい下手ながら熱唱しました。以後、三木の街で人に会えば大内君のことが話題に上るようになりました。

平成5年7月三木で後援会をと有志の方々のご苦勞により8月末、「大内信英君を応援する会」が結成され約600名の入会で盛り上がってきています。約一年、ケガが癒えるにしたがって元気を取り戻し、平成6年7月と9月二場所連続で5勝2敗と再起の機運がみなぎってきました。

一日も早く関取に昇進してくれることと体育協会のますますの発展を祈念してペンを置きます。



私の望みたい事

バドミントン協会 澄川 稔子

体協40周年おめでとうございます。私達家族は、神戸の西区から昭和61年に引越して来ました。近くに多くの緑があり、子供達は、虫や魚取り、そして、春にはつくしや、わらびを取りに出かけるのが毎年楽しみでした。

バドミントン協会には、越して来る以前から練習に参加させてもらっていた「スパロークラブ」に、所属しました。三木に来て驚いた事は、小規模でも体育施設が多く、定期的に練習が出来、使用料も低額なので、今まで練習を多くすれば出費は当たり前だったから信じられませんでした。三木の人達は、とても恵まれていると感じました。そして、ほぼ定期的に開かれる、スポーツ教室もとても素晴らしいと思います。

ただ、残念に思う事は、中学校や、高校にクラブ活動が無い事です。毎年、スポーツ少年団や子ども会の大会に大勢の子供達が参加しているのを見ると「もったいない」の一言につきます。この子達の多くが中学校でバドを続け、更に高校へと続くなら、今頑張っている三木東高の部員達だけでなく多くの仲間が増え続け底辺が広がり、その上の社会人や一般の人達にも広がって、と、どんどん夢は大きくなるのですが、ぜひ、中学、高校にクラブを作っていただきたいと思います。そして、子供達の育成に出来る事があれば、協力を惜しみません。



現役の頃、自在にコートの中を走り回っていた時の事をよく思い出します。体格的には恵まれない為、取えは走り回る事と確実な返球しか無かったので、夢中で走り回っている内にどんな所へ返球されても、取れる事がおもしろくて、おもしろくて、仕方がない時代でした。そして40代を迎えた今、あの頃の様なプレーは出来ないけれど、今出来る最高のプレーが出来る様に年齢に負けず頑張りたいと思っています。そして、私の回りには大勢の素敵なバド仲間がいます。その人達と技術はもちろん人間的にも磨き合って、あの頃よりも更に楽しいバドミントンを目指したいと思っています。

心身共にリフレッシュ！

ソフトテニス協会 新田 為章

ソフトテニスは、サーブ、ロビング、ボレー、スマッシュと機敏な瞬発力を要求される紳士、淑女のスポーツである。昨年より国際ルールに改正され、技術的にも前衛、後衛の区別なくオールラウンドプレイヤーを求められるよ

うになり、ここ緑が丘クラブも土、日曜日、この練習にはことの他余念がない。

当地のベッドタウンの開発と同時に発足したこのクラブも20余年を過ぎ、先輩、同僚達の輝かしい歴史がありなつかしいものとなってきた。と同時に今や、中、高齢者が主体となりつつある。一連の合同練習が終わると大きな輪になり役員の方より報告や、試合の予定、結果等が発表される。練習ゲームに入る前には「ジャンケン」が始まる。真剣になり、だんだん声も大きくなり子供顔負けの純な気持ちになっている。この公平な勝、負の方法で順番とペアが決まりプレーボール。チームのサーブによりレシーブが返りクロスにラリーが続く。ようし今だノ前衛の出番だ。センターより右へ出る。見抜かれていて前衛オーバー。ようし今度こそノと出た時にはサイドを抜かれた。前を守るは仕掛人。後はただただ我慢強くラリーを続ける。タイミングよく出てビシッとボレーが決まった時はもう満悦この上ない喜びであるが、こんな事は一日のうちで1回あればよい方である。

同好の仲間でも一旦コートに入れば敵、味方、互いに揺さぶり、相手の弱みを見つけては攻撃をかける。相手には小さな弱みも見せず耐え、チャンスには素早く攻撃して1点をとる。

大きな技術の差のあるチームが敵であっても1本のスマッシュが決まればその日が充実した1日となる。このクラブの良い所は上下の隔たりがなくお互いに切磋琢磨し互いのレベルを向上させようとする所だ。

休日の半日をコート一杯に走り汗をかき、仲間と共に喜び合えるスポーツはリフレッシュそのものである。こんな仲間があってこそ「生き生きとした定年を迎えられる」と信じている。男女共に仲良く1泊2日の合宿、年に数回の市民大会、部内の大会、県の大会、西脇庭協他との親睦会等があり充実した休日になり1年の過ぎ去るのがとても早い。

青春の淡い思いを胸に秘め、遅くなった足、出張ってきた腹、鈍ってきた勘を少しでも取り戻そうとする努力があってこそハツラツとしたソフトテニスが続けられると信じている。

こんな球友達と共に「光る汗」を流し続けたい。この緑が丘2面のコートで永遠の交流の場としたいと願うこの頃である。



四つ葉のクローバー

バスケットボール協会 横野 泰祐

身長159cm体重40kg（現在168cm68kg）の骨皮筋エモンの僕は兄の勧めで5月中旬三木中バスケットボール部に入部した。その当時、先輩には現協会会長の藤原さん、広田さん、山口さん、入舟さん、藤田さん、協会副会長の金井さんがおられた。180cmの身長の高田さんと同じサイズのユニホームをもらってプレーした。これには色々苦勞した、大きすぎ



て。1年生の時の思い出としてもう1つ、三美大会（細川中にて）で優勝。その帰りのバスの時間には1時間余りあるので3年生が歩いて帰ると言い出し、校長先生、顧問の西山先生（チャボさん）、上前先生と一緒に歌をどなりながら三木中まで帰った。最近では市民ハイキング以外、長い距離を歩いた事がない。

中学三年生の時明石（望海中）へ招待試合に参加した。その頃は、対外試合のほとんどない時代だ。今年8月13日に中学の同窓会の席上、バスケットボールクラブの部員同志話し合っている時四つ葉のクローバーの話が出たが、忘れていた者は6名中わずか1名だった。明石の中学はレベルが相当上だった。試合前校庭の片すみのクローバーが生い茂っている所で、迷信かどうか四つ葉のクローバーを探して試合に勝とうと云って、試合前の練習どころかクローバー探しに熱中し、そして10数本の四つ葉のクローバーをさがし出して試合に望んだ所、運よく望海中に勝った。迷信は生きていた。

もう1つの思い出は三美に優勝して東播大会に出た時である。生まれて初めて体育館を

見た、なおそこで試合をした事、(西脇高校)にしろ初づくしなので足はガクガク手はブルブル試合どころではなかった。1回戦は勝ち2回戦は敗けたけど内容はほとんど覚えていない。覚えているのはただ体育館で試合をしたと云う事だけ。現在の人達にこの様ないい経験を味わわさない様に総合体育館が早く出来るのを楽しみにしている。

私とバドミントンとの出会い

バドミントン協会 中西 久 昌

さあ、今から41年も昔のこと、高校に入学して、ほっとしている最初の夏休みの頃、中学時代の友達を尋ねた時、今迄見た事もないラケットを振り回しているのを見て「それ何んや、テニスのラケットとも違うけど」「これ、バドミントンと云うて、羽つきみたいなもんや」と云う、ふと入学の時のクラブ紹介の時に、この様なクラブが確かあった事を思い出した。当時、男子のクラブのあった高校は県立神戸、県立星陵、神戸市立神戸商業の様に覚えている。私はからだが弱く、やせ型であったので何か運動して体質を変えたいと思っていた矢先、これなら楽に出来そうだと思う(実は大違い)、多少の興味も手伝って2学期が始まるとすぐ入部したのが、バドミントンとのつき合いはじめ、(まさか、これ程ハードなスポーツとは思いつかなかった)。ラケットといえばオール木製、すぐにフレームやシャフトが折れる、フレームには



プレスをしなれば変形してしまう様な代もの、5年後にスチールシャフト(フレームは木製)のラケットが出た時は珍しかった。今の様に100gをきる重さは考えも及ばない。重いラケットを振り回さなければシャトルが飛んでくれない。そのフォームが今だに続いている。昭和36年10月の第16回秋田みちのく国体の出場を最後に仕事の都合上すっぱりとやめてしまった。しかし、いつの頃から肩が凝りはじめたのを解消しようと思って、性根りもなく今から11年程前から再びラケットを握りだした。オールスチール製のラケットに馴れるのに1年近くもかかった思い出がある。頑固な肩凝りはなおる気配もなく今では、歳相応に常に自分の体調を考えながら、日々楽しくバドミントンと付き合っている。



私とゲートボール仲間

ゲートボール協会 近 藤 善 夫

定期検診の結果入院治療を余儀なくされ、毎日の検温、血圧、採血の検査に少々うんざりしていた頃でした。入院して1週間くらい経ってから、今まで気が付かなかった「カーン」「カチン」と言う音が耳に入ってきた。病室の窓を開けて見るとお年寄達がゼッケンを付けて、木槌の長いクラブでボールを打合いゲームをしているようでした。「ああ、これがゲートボールなのか」と、余り関心も湧かなかったが都会の中の狭い空気を、時間制で近所のお年寄達が交互に借り、休憩時間には世間話に花が咲くのか笑声が木陰から聞こえてくる。老夫婦がオヤツに手を伸ばし歓談している姿が素晴らしく美しい、平和な安らぎの世界をかい間して見る。「ああこれは写真になるなあ」と今時の写真マニア気分になった。散歩が許されたのを機会にお年寄達の広場に足を運ぶようになった、毎日の訪問観戦に気付いたお年寄たちが声をかけてくれるようになり、いつしか病院の兄ちゃんとして仲



間入りしてしまった。競技規則やゲームの奥深さを語ってくれ、「あんたもやりんか面白いぜ!」と誘ってくれた。

教員退職後村のクラブに入会し、その頃は18名も会員がいた。あれから10年、高齢化、入院、故人になられた方々もあり当時は4名にまで減ってしまった。老人会の体育部長として会合のある度毎に会員入会の勧誘を訴えたが、数ヶ月間何の反応もあらわれず、半ばあきらめていた矢先朗報が入った。昨年夏も終わりの頃だった。今まで棄権したり義理が悪い思いが吹飛んだ。「初歩から教えて」との声で3人の新会員の入会申込みがあった。以来週1回の新入会員のみの練習を始めた。先ず基本から、用済みカレンダー裏紙にコート図を書き、基礎知識と基本の技術、ボールはこう打って、それに関わるルールの理解と、底辺を広げていった。「毎日」にと新会員の要望が出て来る。打撃の感覚、距離感、方向性などは体で覚えなくてはならぬ。各人の個性を見極めて一人一人に課題を与え、体得するまで基本練習は5ヶ月も続けた。新会員は一言も弱音を吐かなかった。技術は猛スピードに向上した。初めて村の月例会に出場したが結果は無残であった。

以後毎日の練習に熱が入り、指摘した一挙手一投足にも自分なりの工夫が見られるようになった。

本年7月8日三木市制40周年、体育協会設立40周年記念を合わせた第2回三木市長杯GB大会に出場して、予選リーグ戦では苦戦しながらも3勝をし、決勝トーナメント戦を1

段階づつ突破連勝し、夢のような優勝杯と金色に輝くメダルを手にすることが出来た。新会員達の光る眼差し、落ちる汗が私の胸を熱くした。新会員達と先輩のチームワークの絆は益々固く、不断の努力の大切さを身を持って体験した。

(GBコーチ)

全国健康福祉祭いわて大会の思い出

ゲートボール協会 米 村 寿 子

平成3年4月29、30日に「91ひょうご花と緑のフェスティバル」が県立播磨中央公園一帯で繰りひろげられ、このフェスティバルの一環として、「県民親善ゲートボール大会」が催されました。又この大会は、9月21日から24日迄開催される厚生省主催の「第4回全国福祉祭いわて大会」のイベント「ゲートボール大会交流大会」への県代表権をかけた「ねんりんピック」予選大会として、総勢120チームが参加して県代表上位3位をめざし熱戦を繰りひろげました。各チーム男女60才以上で編成され、常時2名の女子が競技に参加していることが条件です。私等は、三木市民ゲートボール協会から選抜された男女7名の編成で出場致しました。西川主将の指示のもと一致団結し、チームワークもよく一戦一戦を大切に競技致しました。私は皆さんに迷惑をかけては申し訳ないと、打順が廻ってくるたび一心に神仏に祈り、はやる心を鎮めました。無心に競技しているうちに次から次へと勝ち

進み、いつしか上郡町チームとの決勝戦まで進んでおりました。

チームの皆さんはさすがに緊張し、かたくなっていましたが、お互いに励ましあい、いなりあいながら夢中で最後の気力をふりしほり、終わってみると20対9という大差で勝ち、思ってもみなかった優勝旗や賞品を戴き「ねんりんピックいわて」の出場キップを手に入れることが出来ました。そして出発までの4ヶ月余り日増しに県代表としての責任が重く重く体にのしかかります。この間対外試合、交流試合を多く経験し、試合度胸も身につけ、まっ黒に日やけて練習に練習を重ね努力致しました。

平成3年9月21、22日、第4回全国福祉祭ねんりんピック91いわて大会が開催され兵庫代表3チームの中に加わりました。

全国から176チーム兵庫県から三木グリーン、上郡、明石の各チームと政令指定都市からも参加、会場は岩手県三陸海岸の田老グリーンピアの芝生のグラウンドです。大阪から夜行列車で秋田に着き、バスに3時間乗り盛岡へ。そこで総合開会式に出席し、時間の都合で途中から又バスで2時間かけて宮古に着きまし



た。そこで宿泊です。

次の朝30分位の田老グリーンピアへ。芝生の美しい会場でゲートボールだけの開会式がありました。小学生をはじめ、老人会等地元の皆さんから暖かい歓迎をうけ心あたまる思い出でした。

県代表として三木市の代表として恥ずかしくない成績を残したいものと心に誓い競技に臨みました。1コート8ゲームで22コートでおこなわれ三木グリーンの初戦はBパート、2回戦で茨城県富士崎チームと対戦、13対9で勝ち好調なすべり出しで、4回戦は長野県長崎相愛会チームと対戦16対10、これなららくと勝ち進み次の神奈川県湯河原チームとも13対10と幸いにも西川主将の作戦のもとチームワークもよく夢中で戦い第1日目は3勝することが出来ました。帰りのバスの中でやっと我にかえり、ああこれで責任を果たすことが出来た、うれしいと胸をなでおろすと、今まで練習に練習を重ねて来た苦労の数々が思い出され涙がとめどもなく流れてなりません。3勝も出来たなんてまるで夢のようで三木に帰っても又県連合にも面目がたつと思うと又新たな嬉し涙が出て来るのでした。翌日トーナメント戦に進みました。上郡、明石のチームの皆さんの声援をうけ1回戦は青森県十和田湖チームと対戦21対12で勝ちました。次は大分県宇佐チームと対戦、好調な私等はリードしておりましたが競技時間終了間ぎわで逆点されて10対12と接戦で残念ながら敗れたのでした。しかし順位は18位だったそうです。ここまで勝ち進むことができたのも市民

ゲートボール協会の役員様をはじめ会員の皆様方の御指導と暖かいご声援の賜物と深く感謝いたしております。又関係団体からも多大のご援助とご支援をいただき誠にありがとうございました。私にとりまして生涯忘れることのできない楽しい思い出と尊い体験を積むことができ幸せでございます。北国の方々のあたたかいおもてなしも忘れることができません。

「ねりんピック91」に参加させていただいた3年前を思い出して綴ってみました。

「やったあー。優勝だ！」

野球協会 学童の部

三木小学校6年 岡田真治

みんなの目は涙でうるんでいました。がんばったかがありました。母や父も喜んでくれました。うれしさのあまり、握手しながら涙ぐんでいました。監督の方を見ると、よくやったなあという表情だったので、うれしくなりました。各市代表の32チームの中の頂点にたちました。労働金庫杯兵庫県大会でのこ



とです。本当に長い間野球をやってきてよかったと思いました。

三木ユニオンズクラブに入部して、野球を始めたのは、小学校1年の時です。幼稚園の時から野球は好きだったし、練習もみんなと一緒にできるので楽しかったです。去年（5年生）の時は県学童軟式野球兵庫県決勝大会で準優勝し、京都で行われた近畿大会に出場できました。毎年、大きな大会に出場できるのも、日頃監督や指導者の人達の熱心で適切な指導のたまものだと思います。

僕はピッチャーとして試合に出ると口で言い表せないほどのプレッシャーを感じます。しかしベンチ（監督）からサインが出ると気持ち楽になり、がんばろうと思います。毎日、あれだけ練習してきたんだから、みんなもがんばってくれているんだから、と思うと、負ける気が全然なくなってきます。

野球では勝つことが目的のように思われがちです。しかし、勝つことも大切ですが、あきらめないねばり強さなど精神的な面で学ぶことが多くあります。それと、なんといっても、みんなが協力しないとできないスポーツです。チームワークが大切です。また、一人一人の能力を引き出してくれた有能な監督やコーチに恵まれたことも強いチームになった



理由の1つだと思います。

これからも野球で知り合った友達と仲良くやっていきたいし、野球を監督やコーチにもっと教えていただきたいと思います。とても温かいチームでプレーできて大変幸せです。

今後がんばり続けるつもりです。

（三木ユニオンズクラブ）

剣道との出会い

剣道連盟 神 澤 正 輝

私が別所中学校3年生の時、担任の先生に「剣道をしないか」と誘われ、私を含めて10人程が集まった。校舎の間の中庭が道場になった。雨が降れば渡り廊下に場所が変わる。それまでは相撲を取るか、バットを振るか、走ることしか知らなかった私は竹刀を持ってする新しいものに非常に興味を持った。

素振りが出来るようになってくると、何とか防具を着けてやってみたくなり三木中剣道部より防具を借り、交代しながらたたき合いをした。土の上では調子が出ないので小学校の旧校舎の教室を借りる。机をかたづけ掃除をし雑巾掛けをすると結構道場らしくなった。

体操服の上に大切な防具を着け2人立ち向かう。「これが剣道だ」と思った。後になりかなり違う事が分かったのだが……。

三木高校に入学し即、剣道部に入る。主将に「そんな細い腕で出来るのか。」とからかわれる。その頃は体重40キロそこそこのガリガリの体だった。道場は古く節目が出ているところは要注意、しかし踏み込むと丁度良いバウンドがあり膝を痛めることは無かった。床が抜けたり窓に体当たりしてガラスを破る事は度々、でも我々にとって思い存分使える道場だった。

講師として三木中学校の先生が指導に来れていた。この先生こそが現在三木市剣道連盟の会長である藤原淳作先生であり、今までやっていた格好だけの剣道でないほんとうの剣道を教えて頂く。今ある自分の剣道の基本はこの時に指導して頂いた技術、精神力、考え方であり、先生の総てを吸収しようとしていた。益々面白くなり、高校時代の思い出は「剣道一筋」と言える程勉強をやらなかった。

年齢、男女を問わず出来る剣道に出会え非常に良かったと思うし、それを皆んなに教え、一生楽しみながら続けたいと思っている。



バドミントンは私の一生の友

バドミントン協会 大 片 貞 雄

私がバドミントンを始めて早24年になろうとしています。その間ブランクもありましたがまわりの方の暖かい声援、激励により何とか続けてこられました。今や、家族ぐるみで、バドミントンを愛し、熱中している日々を送っております。(私の家内も大学時代から始め今では県の大会で活躍し、私の影が薄くなっている今日此の頃です。)

バドミントンは、世間ではマイナーなスポーツであり、又、一般の方には羽根つきというイメージがあるのですが、やってみるとかなりハードで、又、奥の深いスポーツなのです。一言で言えば瞬発力と持久力(陸上競技で言えば100mを走る瞬発力とマラソンを走り切る持久力)を兼ね備えた体力が必要なのです。

私も高校、大学時代、厳しいトレーニングをしたことが、今でも強く印象に残っています。最も厳しかったのが週に3回の15km走で、そのおかげか、長距離走は早くなり陸上部と肩を並べる位までになった記憶が残っています。

今では学生時代の体力はありませんが、バドミントンの魅力の1つは、その年代に応じたバドミントンができるということです。私も5年前から年代別の競技会に出場しておりますが、体力の劣えをラケットワーク、試合の組立を変えてカバーできるという、バドミントンの味わい深さをひしひしと感じており



ます。過去3回年代別の全日本大会に出場しましたが、そこでは60代の方も出場しており、その年齢を感じさせないプレーに強く感動したことを覚えています。私もその年齢まで頑張

らねばと毎回励まされ、決意新たにして帰ってくるのです。

バドミントン競技も前回のバルセロナオリンピックより正式種目となり、今後益々競技人口も増加してくると思います。

この三木からも、オリンピックに出場できるような選手がでてくることを夢追いながら、今後は底辺の拡大に少しでもお役に立てればと思っています。

私も（妻も）、このすばらしいバドミントンを一生の友として、エンジョイしていきたいと思っています。

念願の全国大会出場！

サッカー協会 岸本博介

昭和47年クラブ結成以来、関西代表として念願の全国大会出場を果たした。

県社会人サッカーリーグは、昭和51年に発足。県社会人サッカー230チーム余の頂点に立つ1部リーグで、前年度の一連の大会で好成績を収めた三木フットボールクラブ（以後三木FCと略す）はその年から県リーグ入り

した。当時、川鉄（現JFL）古河などの実業団や名門神戸FCなど強豪とともに10数年このリーグでもまれ強くなった。

昭和61年、この県リーグで前期3位以内のチームが、他府県チームの代表と関西代表をかけ、奈良、京都、神戸と転戦。京都教員、大教大クラブなどを敗り、全国大会の出場を決めた。ベテランと三木市少年サッカー出身の選手がうまくからみ、リーグ戦も好調であった。当時の神戸新聞は、「日々の鍛錬、体育館サッカー花開き全国大会出場果たす」と全国版に取り上げた。

市や関係者のおかげで、市民グラウンドや市民体育館を週3回使用させてもらった。その成果が実を結んだものである。また、出場にあたりスポーツ振興基金や寄付により三木FC22名一行を沖縄へ送りこんでいただいた。

11月22日、沖縄市で第22回全国社会人サッカー選手権大会が開幕。1回戦の相手は関東代表の茨城日立（現柏レイソルの前身）。試合は雨の降りしき中、熱戦をくりひろげた。三木FCは、ショートパス、ドリブルでクリーンなサッカーをするチームにとって土のグラウンド、しかも雨。不運にも0-3で敗れた。かなり自信をもって出場したが全国の壁は厚かった。この日立は準優勝した。

この全国大会出場後も安定した力を着け、天皇杯関西大会出場や県リーグで上位を確保した。

「継続は力」まさにこの言葉どおり、仕事もばらばら年齢もまちまち、この雑草集団が全国へ出場したことは練習の積みかさねに他



ならない。

また、出場した選手たちはマナーがよく、フェアなプレーをすると審判の方々からおほめの言葉をいただいた。

フェアプレーの精神は、現在も三木市少年サッカーに引きつがれている。

柔道とともに

柔道協会 池田 哲雄

私と柔道との出会いは、昭和31年三木高校入学時に遡る。実は柔道がしくて高校に入ったのである。当時私は身長157cm、体重57kg。今から思えば随分かわいい体であったが、故常深陽太郎、故武川茂夫両先生の熱心な御指

導のおかげで1年生の秋東播大会準優勝、県大会ベスト8に入賞し翌春昭和32年4月念願の黒帯、初段を取得した。その後団体では2年生の冬県新人戦3位、3年生の夏県総体3位になり近畿大会にも出場、選抜チームであったが優勝の栄誉に輝いた。

高校卒業後も青年層への柔道の普及にとりくみ、昭和34年、選手として全国青年大会に出場、さらに三木高校柔道OBを主力メンバーとし、監督として以後6回、全国大会出場を果たすことができた。中でも昭和38年、今井隆之、井本源治、横山豪樹で出場の際は団体で3位、井本が個人戦で準優勝に輝いた。また、昭和63年は愚息池田秀一と共に出場させていただいた。

柔道を始めてからもう40年近くになった。体も165cm、85kgになってしまったが若い日々に鍛えた心と体は50才を過ぎた今日でも元気である。

柔道は苦しい稽古の積み重ねであり厳しい勝負の世界である。私自身も修業未だ半ばであるが、柔道を通じて得たすばらしいものを若い人々に伝えていきたいと思っている。

最後に、今日の柔道協会の基礎を築かれた





故常深陽太郎、故武川茂夫両先生の功績を偲
び心から感謝申し上げるものである。

(5段)

スポーツから得たこと

空手道連盟 黒田成樹

私は、現在三木市空手道同好会で、空手の修業をしております。スポーツとしての空手は、ケンカの道具として見られがちですが、日頃鍛錬した技術をルールを決めた上で競い合うものです。

空手は、二人で対戦する組手と、段位を受けるたびに課される型の二つの形式によって、技術を問われるわけですが、単に技術の優劣

が問題にされるものではありません。日頃の練習を通して、心の鍛錬という基盤の上で技が存在するものであると思います。

その積み重ねが、礼儀、積極さ、創造しようと言う気持ちや、ものに耐える人格形式ができてくるのです。

世のため、人のために使うにはむずかしいですが、何か一つでも、空手を通して人に役立てたいと考えています。

それから、家族に対しても、仕事に対しても、今まで鍛錬した心と体で守って行けるという自信がついたと思います。

空手から得たことを、言葉にするのは、むずかしいのですが、自分でもそれが何かははっきりわからないのですが、わずかなやさしさと、自信と何か……。

それが、これからの鍛錬によって、ひとつ、またひとつふえてくるのではないのでしょうか。

そして、これらは、一人でなく同じく空手を志す仲間と共に……。

上には上がある

ソフトボール協会 岡本 仁

三木市の代表として今年は三度県大会に参加しました。三度ともまだまだ大きな壁があると実感しました。壁の向こう側のチームには何度挑戦しても勝てないのではないかと思います。程力の差を見せつけられてきました。企業のチームは組織力と選手の力量が充実していますし、クラブチームでも投手力を中心にし





たディフェンスがすばらしい。攻撃をかける時の集中力はすごいものを感じます。

ソフトボールを始めて31年目になる勘定になりますがまだまだ愛好し続けていくことに変わりはありません。同じやるならより高いところをノと常に高いレベルを望んでおります。三木インパルスも若者の多いチーム編成ができてきました。若者の力はすばらしい。この若い人達もこれからずっとソフトボールを愛好し続けてくれるものと思っております。そのためにはもっと高い技術を身につけ、ソフトボールの真髄に触れてほしいと願っているところです。メンバー個々間の信頼感とこころ豊かな「心の繋がり」ができればより強くなり、高いレベルのチームになると信じております。

生涯スポーツが叫ばれて久しい訳ですが、ソフトボールは生涯スポーツにピッタリのスポーツと思います。三木市のスポーツ熱はたいへん盛んで、各種目とも充実した活動を続けておられます。ソフトボール協会としてもさらなる隆盛を期待して運営に当たっておりますが、市民の皆様には十分「その存在」が認識されていないのではないか、と思うことが

あります。この40周年記念誌をお読みいただいた皆さん、各チームは門戸を広く開放しておりますので地元のチームの代表の方にお問い合わせ下さい。企業の方々もソフトボールのスピード感、集中できる魅力、人とのふれあい等々その良さを検討していただいてチームの編成を考えてみていただけないものでしょうか。

いろいろな年齢層の者どうしが同じものを愛し、同じ目標を持って悲喜をともにできることは本当に素晴らしいことだと思います。若い人達の地元への回帰を期待しております。

(三木インパルス監督)

三木市と私とバレーボール

バレーボール協会 川 島 富 雄

昭和46年4月、新任教師として三木中学校に着任と同時に男子バレーボールの顧問を命じられた。

私自身バレーボールとの出会いは高校時代からで、始めた動機は“背が低かったのでバレーをすれば背が高くなる”“友達がバレー部に入ったら”といった単純な理由からで、野球少年であった私にとって、好きでやりはじめたバレーではなかった。(当時のバレーは女子のスポーツであった)

しかし、やりはじめると大変おもしろく夢中になったが、指導して下さる先生がいなかったもので、『それなら俺が指導者になる』と決意し教師への道を選んだ。



青年教師の夢は①ユニホームに‘兵庫’の2文字をいれる。②自分の子供をコートサイドにおき、バレーボールの指導をする。③バレーボールの好きな生徒をつくり、OB会をすると体育館が卒業生でいっぱいになる、であった。

『花のお江戸でバレーする』を合い言葉に、私のすべてを三木中男子バレー部にかけた。

そして3年後、三美、北播、東播大会優勝、県大会3位、翌49年には、県大会優勝、近畿大会優勝、そして何と全国大会にも準優勝という栄誉に輝くことが出来た。その指導には、

【選手・指導者・環境】3つの条件が揃うことが大切であると考えていたが、とりわけ良い環境づくりには三木の風土は最適であった。

三木市教育委員会による適切な指導体制や、渋谷守会長、井上要二さんらが率いる三木市バレーボール協会のバックアップ、藤枝正樹（故人）、岩谷潜、告野嘉朗、服部武司校長先生や戦場の伯井美津代、神崎良雄、田中純一、井上好央先生等の仲間の応援。

そしてなによりも山本勝次、井上宏美、境一、森本芳明の各PTA会長、バレー部のご父兄の仲上一郎さん（故人）、戸田俊一校長（故人）、西垣康弘さん（故人）、井上健太郎さん（故人）らや父母会の皆様方の支援があっ

てこそ快挙であった。

もちろん当時、鬼と言われた私の、“地獄のワンマンレシーブ”や夏の“一日8時間練習”に耐えて、がんばってくれた多くの選手の努力に対しては、20数年たった今も、感謝の気持ちでいっぱいである。

2つ目の夢のOB会づくりは当初、‘三木中OB会’の活動としては、毎年“1月3日の9時体育館集合”の新年会として現在に至っており、卒業後1回も欠かさず出席しているOBも数多くいる。

その後私自身の気持ちとしては、全国準優勝に満足すると同時に、ますますバレーボールへの熱い思いはつのるばかりであった。

そして3年後、平均身長167cmではあったが大変チームワーク良い、元気あふれる生徒に恵まれ2度目全国大会出場となった。この年の練習試合のセット数は、実に316セットにもほっている。

私の52年転勤後も、53、54、55年にわたり東播総体優勝、兵庫県総合体育大会で3位という好成績を残せたのも、玉井俊夫先生、池町耕一校長らのご努力のたまものである。

同じ昭和52年にはOB会と同心円の活動として、森本吉治さん、藤岡利平さん、戸田明儀さん、木嶋謙三先生、本多憲さん、池町早苗さんらと、三木市民が誰でも参加できる“総合スポーツクラブ”を目指し、



三木排釜会を発足させた。当初は市のソフトボール大会や軟式野球大会にも参加し、何度となく優勝もした。

また、夏は水泳に、冬はスキーにとオールシーズンの活躍であった。

三木排釜会は、昭和56年に全国青年大会の県大会優勝をかわきりに、平成6年度までの14年の間に全国大会出場13回という成績を残し、“兵庫に三木排釜会あり”と言われるま

でになった。

その間、幾度となく廃部の危機もあったが、一年間を通して週2回の練習を約15年も続けることが出来たのも、現在の監督の田中雅英くん、コーチの仲島功先生、今安孝次先生、加古潤三郎くん、桑村久和くん、仲上尚吾くん、戸田文博先生、桑村徹也くん、そして西垣弘志くん、木多卓三くん、高梨篤くん、岩本充弘くん、森本浩二くん、戸田佳秀くん等、名前を上げたらきりがなほどの多数の諸君の情熱と、バレーボールを愛する同志の努力のたまものである。

また、三木市民のバレーボールへの関心も非常に高く、昭和44年11月には“第1回三木市民家庭バレーボール大会”を市、並びに体育協会の主催のもと、参加75チームで開催し、平成6年度には、第26回大会を参加120チーム、1,100人という、県下でも最大規模の市民大会を開催している。

今後は、三木市バレーボール協会としては、“豊かで活力ある生涯学習社会の建設”を目指すといった観点に立ち、少年、少女バレーボール、中学校、高等学校、一般等の組織や

活動の充実と、社会の変化に対応出来る情熱あふれる指導者の育成に全力を尽くすことが、必要であると考えている。

つづけていてよかった

水泳協会 三木小学校6年 北村 エミ

わたしは、スポーツ少年団の水泳部に入っています。

聞いてたとおり、ものすごく練習がキツくて、とくに、オフシーズンの陸上トレーニングは、ほんとにつらくて、何回も、やめたい、と思いました。母は、わたしの気持ちも知らずに

「コーチっていい人たちだね、ほとんどタダなのに、夏休みまで。」

とか

「コーチにもうしわけないから、あまり休まないように。」

とか、けっこう厳しいことをいつてくれる。実さい、わたしの学年でも、6人いたのが、いまは、3人もやめてしまっている。

わたしは、入ってから3年目になるけど、その2年の間でも、何度もにげたりした。



でも、やっぱり続けてて、よかった、と思うこともある。最初の1年間は、つらくて、もう、いやでいやでたまらなかった。でも最近は大いぶなれたとはいえないけど、がんばっている。タイムの方も、初めのころは

「たんにコーチにおこられるのがこわかったから。」

と、いうかんじだったが、今は、ほんとに、自分自身、タイムをあげたい!!と、思っている。

むかしからなかった決断力が、やっとつきはじめたかな、とも思っている。

それに、いろいろなことにも参加したり、大会などに出たりして、けっこうけいけんとかもつくのかなーとも思っています。

やっぱりやっててよかった。

ぜんぜん泳げなかったぼくが

水泳協会 三木小学校3年 小西けんじ

ぼくは、なんでスポーツ少年団にはいったかという、およいでる人が、あまりにも、気もちよさそうだったから、ぼくもはいろうとおもいました。

ぜんぜんおよげなかったぼくが、25メートルもおよげるようになってとてもうれしかったです。でも、はじめは、よかったけど、だんだんといやになってきて、やすみたい、やすみたいと、おもっていたとき、おかあさんが「コーチから毎日家をだしてくださいと、いわれているからいきなさい」といったので、



ぼくは、できるだけがんばっていきました。そのおかげで25メートルから50メートルもおよげるようになりました。

だけどプールがおわって、陸上トレーニングになって、とてもしんどいです。まいしゅう土ようびがくるのがいやです。家で「いきたくない」とおかあさんにいうと、おかあさんが「ガンバレけんじ」といってはげましてくれます。

ぼくは、体も大きいし、おなかもすこしできているので、がんばってトレーニングするぞ。

らいねんはわたしもせんばいに

水泳協会 三木小学校1年 よこたにゆか

わたしが、しょうねんだんにはいったときは、まだみずはつめたいし、おともだちもいなくていやでした。だからなみだがでたときもありました。でもとちゅうから3ねんせいのおくまつさんと、おともだちになって、およぐのもたのしくなりました。それからおなじくみの、みなちゃんもはいつてきてもったのしくなりました。

まいにちおよぐのはしんどくて、きゅうけいしたこともあったけど、タイムをとったと



きは、はやくおよぎたいとおもいました。

しょうねんだんにはいってうれしいことがたくさんありました。1つは、はじめははながいたかったけど、クイックターンができるようになったことです。それから、バタフライができるようになったこともうれしかったです。はじめて、しみんたいかいにでて、びりにならずに、さいごまでおよげて、ベストタイムがでたこともすごくうれしかったです。でもほんとうはとてもどきどきしていました。

それから、のうかいでは、わたしのチームが、リレーでぜんぶ1つになってうれしかったです。

1ばんうれしかったことは、せんばいのおにいさんや、おねえさんにやさしくしてもらって、おともだちもたくさんふえたことです。せんばいたちは、すごくおよぐのがじょうずではやくて、わたしも、がんばってうまくなりたいと、おもいます。

こんど、およぐときには、あたらしい1ねんせいはいってきて、わたしもせんばいになるので、はずかしくないようにがんばりたいとおもいます。

毎週泣いていたわたし

水泳協会 三木小学校5年 坂本真梨子

私がスポーツ少年団に入ったのは2年生の夏ごろでした。入って初めのほうは小プールだったのですごく楽しかったけど大プールになると、練習がきつくなり泣いていた時もあったと思います。

3年の時は、初めて三木中のプールに入ったので、すごく深く1コースの真ん中ではもうおぼれていたと思います。とても寒がって、毎週泣いていたという記おくが今でも残っています。3年の時は、もう大プールだったので泳いでいたけど、やっぱり時々泣いていたと思います。

陸上トレーニングは、初めグラウンド3周。これはそれほどしんどくなかったけど、次の2分間ぶらさがるのが、一番苦手でほとんど落ちていたと思います。1分間でもう手がしんどくなるので、2分なんてとてもむりだと思っていました。

4年生になるともう水泳も三木小でなら、ほとんど慣れていたけどやっぱり三木中なら、



とても寒くて深くてだめでした。

5年生になると初めにくらべると、ずいぶんタイムが速くなっているの、とてもうれしかった。子ども会の水泳大会も2種目で、2種目ともメダルをもらったので、うれしかった。

市民水泳大会は、みんなとても速く、クロールなんて予選でだめだろうと思っていました。平泳ぎは決勝までいけて、とてもうれしかったけど、ついたら4位か5位ぐらいでした。

今は陸上トレーニングをしているけど6年になっても最後までがんばって行きたいと思っています。

やすんだらあかん

水泳協会 三木小学校1年 あおきゆうた

ぼくが、スポーツしょうねんだんに、はいて、たのしかったことは、プールでおよぐことです。

たってばかりで、コーチにおこられたけど、れんしゅうのおわりに、あそばせてもらうのが、すごくたのしみでした。

たまには、やすもうかな？やすみたいなあ、とおもうときもあったけど、コーチが、いていた「しんどくないときは、やすんだらあかん」というのを、おもいだして、がんばっていきました。

れんしゅうは、しんどいけれど終わったときに、ぼくは、「ああ終わった。やっぱりきこよかった。」と、おもってかえります。

いちばんおぼえているのは、グリーンピアみきまで、あるいたことです。

さいしょは、おかあさんといっしょにいけないので、いきたくなかったけど、おにいちゃんコーチと、あそんでたのしかった。プールで、ふじもとコーチとおよいでおもしろかった。

みんなに「すごいなあ。」とか「たくさんあるいて、えらかったね。」とかほめられてすごくうれしかった。こんどは、おかあさんといっしょにいきたい。

それと、やきにくをたべたりしたこともたのしかった。

それと25メートルおよげるようになったこともうれしかった。とくに、ひらおよぎが、はくはすきです。

これからも、しんどいけれどがんばっていきます。



体育協会40周年記念事業

体育協会40周年記念事業実施に向けて、体協加盟団体より各1名の実行委員を選出し、実行委員会を結成する。

4月14日に第1回の実行委員会を開催して役員、規約、事業計画並びに予算を審議し、決定。その後、実行委員会、事業部会、編集部会を度々開催し事業実施にあたっての詳細な計画及び準備を進める。

1. 事業内容

10月10日に本事業のメインである。40周年記念式典及び元大関琴風の「尾車親方」によるスポーツ講演会を三木文化会館において開催。ひき続き、県立三木山森林公園へ会場を移し、祝賀会が盛大に催された。その他、「なつかし・おもしろ写真展」の開催、記念ポスターの制作配布、記念スポーツ大会等盛りたくさんの記念事業が持たれ、意義ある40周年を祝った。

事業部会関係事業

- ①体育協会40周年記念式典及びスポーツ講演会及び祝賀会
- ②体育協会40周年記念スポーツ大会
- ③体育功労者表彰
- ④体育協会40周年記念の「記念品」配布
- ⑤体育協会40周年記念横断幕・看板の製作と掲示

記念誌編集部会関係事業

- ①体育協会40周年記念誌の発行
- ②体育協会40周年記念写真募集
- ③体育協会40周年記念ポスターの製作と掲示
- ④体育協会40周年記念展示会（応募作品発表会）



三木市体育協会 40周年記念事業
夢と感動の40年
三木市体育協会
記念ポスター

2. 三木市体育協会40周年記念事業実行委員名簿

	役 職	氏 名	住 所	所 属	電 話
1	委 員 長	五百蔵 征 幸	小林734-60	野 球	85-0675
2	副 委 員 長	池 田 哲 雄	別所町小林734-17 6-345	柔 道	83-2899
3	〃	横 野 泰 祐	末広1丁目12-39	バ ス ケ ッ ト	83-3647
4	事 業 部 会 長	井 上 要 二	細川町瑞穂1256	バレーボール	88-0251
5	事 業 部 会	永 尾 隆 保	平田257	ソフトテニス	82-3683
6	〃	藤 原 淳 作	細川町金屋177-2	剣 道	86-2541
7	〃	佐 藤 綱 記	大村848	空 手	83-3410
8	〃	西 阪 義 雄	宿原1270-401	サ ッ カ ー	83-3549
9	〃	黒 井 進	志染町御坂117	ゲートボール	87-3852
(再掲)	〃	池 田 哲 雄			
10	記念誌部会長	平 上 文 洋	跡部8-11	卓 球	82-3320
11	記念誌部会	長曾我部 次郎	宿原1265	テ ニ ス	83-4187
12	〃	小 倉 滋	加佐1015-12	陸 上	83-5123
13	〃	山 村 富 和	大塚1丁目4-46	水 泳	82-5868
14	〃	白 井 正 宏	本町3丁目2-8	バドミントン	82-8277
15	〃	立 山 亘	志染町中自由が丘1丁目212	ソフトボール	85-0332
(再掲)	〃	横 野 泰 祐			



▲記念式典30分前。会長、委員長を囲み実行委員全員で。

3. 三木市体育協会40周年記念体育功労被表彰者一覧

氏 名	活動年数	推薦団体	氏 名	活動年数	推薦団体	氏 名	活動年数	推薦団体
三 原 充 廣	13年	陸 上	岸 本 晃	21年	剣 道	大 片 貞 雄	12年	バドミントン
桑 英 行	19年	◇	神 澤 正 輝	19年	◇	澄 川 稔 子	11年	◇
小 山 久 男	24年	◇	伊 藤 富 蔵	13年	◇	折 野 貞 夫	14年	ソフトボール
堀 内 修 次	13年	野 球	中 村 古	20年	柔 道	浅 川 義 弘	12年	◇
山 田 啓 一	13年	◇	森 田 正 己	13年	◇	吉 田 平 三	12年	◇
森 田 博 則	14年	卓 球	藤 原 茂 芳	14年	◇	田 中 敏 朗	18年	テ ニ ス
平 上 文 洋	16年	◇	宮 上 能 員	40年	空 手	野 津 千 巻	12年	◇
武 庫 富 美子	11年	◇	三 村 勲	28年	◇	郡 山 孝 志	18年	◇
井ノ元 恵美子	17年	バレーボール	松 平 未 次	20年	◇	金 井 清	11年	バスケット
川 島 富 雄	17年	◇	黒 田 静 男	19年	水 泳	横 野 泰 祐	11年	◇
常 深 政 三	10年	◇	西 馬 英 雄	10年	◇	芝 本 拓	11年	◇
坂 田 敏 夫	23年	ソフトテニス	西 阪 義 雄	21年	サ ッ カ ー	黒 井 進	12年	ゲートボール
新 田 為 章	19年	◇	岸 本 博 介	21年	◇	小 西 宏	12年	◇
財 田 佳 朗	21年	◇	内 田 忠 志	14年	◇			

4. 体育協会40周年記念スポーツ大会一覧

No	主催協会名	大 会 名 称	実 施 年 月 日	実 施 場 所	参加人数
1	陸 上	三木市美濃郡駅伝競争大会	H 7 年 1 月 16 日 (日)	グリーンピア三木	400
2	野 球	第11回三木市体育協会会長杯大会	H 6 年 7 月 3 日 (日)	三木山総合公園野球場ほか	850
3	卓 球	第63回三木市民卓球大会	H 6 年 6 月 12 日 (日)	三木勤労者体育センターほか	250
4	バレーボール	家庭バレーボール、6人制男女、家庭婦人、ソフトバレーボール	6/19、10/30、11/27、12/11	三木勤労者体育センターほか	1100
5	ソフトテニス	第40回三木市民夏季ソフトテニス大会	H 6 年 8 月 21 日 (日)	緑が丘スポーツ公園野球場	500
6	剣 道	第14回三木市民剣道大会	H 6 年 11 月 23 日 (水)	緑が丘小学校	300
7	柔 道	記念大会	H 6 年 11 月 20 日 (日)	三木高校	200
8	空 手	記念大会	H 6 年 7 月 3 日 (日)	自由が丘公民館	91
9	水 泳	三木市民水泳大会	H 6 年 8 月 28 日 (日)	三木中学校	200
10	サ ッ カ ー	第22回市長杯三木市少年サッカー大会	H 6 年 8 月 27 日 (土)	三木山総合公園陸上競技場ほか	1450
11	バドミントン	三木市民バドミントン大会	H 6 年 10 月 23 日 (日)	市民体育館ほか	120
12	ソフトボール	会長杯	H 6 年 6 月 19 日 (日)	グリーンパークほか	250
13	テ ニ ス	記念市民大会	H 6 年 8 月 28 日 (日)	緑が丘スポーツ公園	350
14	バスケット	第10回三木市民バスケットボール大会	H 7、3/11 (土) 12日 (日)	三木高校ほか	200
15	ゲートボール	三木市長杯ゲートボール大会	H 6 年 7 月 8 日 (金)	グリーンパーク	300

さわやかな汗 光ります

三木市体育協会40周年記念スポーツ大会

平成6年10月10日
体育協会40周年記念の日

スナツプシヨット!



▲記念式典開会直前の緊張の一時。



▲体育協会鷺尾会長の40周年を振り返っての開会のごあいさつ。



▲式典会場風景。ご来賓の加古三木市長のごあいさつ。



◀七転び八起きの人生を熱く熱く語る尾車親方。
「熱演に観客の目からも熱いものが。」

▶かけ声も大きく祝賀会のオープニング。「もっと大きなハッピーがほしかったノ」



◀講演会のあとのラッキー賞抽選会。
「すもうグッズがいっぱい。」



▲祝賀会での五百蔵実行委員長のごあいさつ。
「記念式典も無事終えてはっと一息。」



▲記念式典前に講師の元大関琴風「尾車親方」を囲んで。「さすがに大きいノ」



▲祝賀会を企画・運営した井上事業部会長（右側）も笑みがこぼれる。



▲体育功労者表彰。15単位協会より41名が表彰された。
「長い間ご苦労様でした。これからがんばってください。」



▲「なつかし、おもしろ写真展」
なつかしの声があちらこちらに聞かれた。

資料編

三木市体育協会組織図

平成6年度三木市体育協会役員・事務局員名簿

平成6年度種目協会役員名簿

三木市体育協会歴代役員名簿

三木市体育協会規約

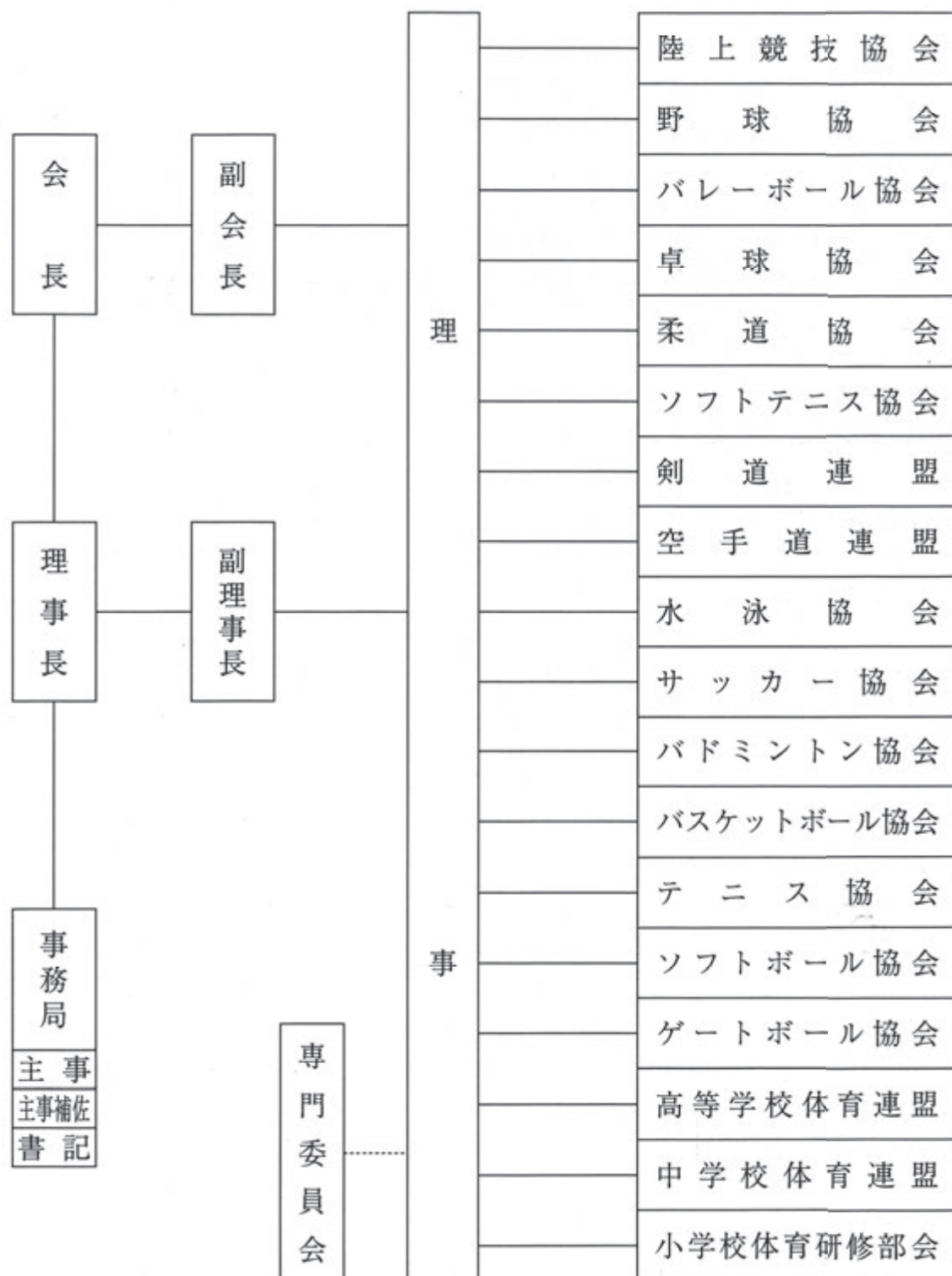
三木市体育功労者表彰者一覧

三木市スポーツ賞受賞者一覧

三木市スポーツ賞表彰規則

三木市立のスポーツ関連施設

三木市体育協会 組織図



平成6年度三木市体育協会役員名簿

(任期 平成6年4月1日～平成8年3月31日)

*電話上段(夜間) 下段(昼間)

役 職 名	氏 名	住 所	所 属	電 話
会 長	鷺 尾 弘 志	志染町井上449	陸 上	87-3101
副会長兼 理 事 長	大 林 嘉 蔵	末広2丁目12-43	会長推薦 (野球)	82-1040
副会長兼 副理事長	渋谷 守	口吉川町殿畑640	バレーボール	88-0667
副 会 長	中 嶋 将 雄	末広1丁目2-22	卓 球	82-1043 82-0043
会 計	宮 脇 義 昌	別所町石野792	剣 道	82-3160 82-5342
監 査	池 田 哲 雄	別所町小林734-17 ローレルハイツ北神戸6-345	柔 道	83-2899 82-4675
〃	山 村 富 和	大塚1丁目4-46	水 泳	82-5868 078-583-8188
理 事	前 田 薫	別所町下石野25-3	陸 上	82-4160
〃	小 倉 滋	加佐1015-12	〃	83-5123 85-1300
〃	池 町 早 苗	本町1丁目2-20	野 球	82-0535
〃	五百蔵 征 幸	別所町小林734-60	〃	85-0675
〃	平 上 文 洋	跡部8-11	卓 球	82-3320
〃	井 上 要 二	細川町瑞穂1256	バレーボール	88-0251 82-2000
〃	永 尾 隆 保	平田257	ソフトテニス	82-3683 82-2000
〃	財 田 佳 朗	福井1丁目1-5	〃	82-1983
〃	藤 原 淳 作	細川町金屋177-2	剣 道	86-2541
〃	今 井 隆 之	府内町12-16	柔 道	82-3106
〃	宮 上 能 員	志染町中自由が丘3丁目184	空 手	85-2008 078-231-4062内線327
〃	佐 藤 銅 記	大村848	〃	83-3410
〃	天 野 文 利	緑が丘町東2丁目11-20	水 泳	85-8309 82-0404
〃	西 阪 義 雄	宿原1270-401	サッカー	83-3549 83-1600

役 職 名	氏 名	住 所	所 属	電 話
理 事	岡 田 八 郎	志染町青山5丁目15-6	サッカー	85-3580
〃	高 井 孝 行	緑が丘町本町1丁目2-39	バドミントン	85-2134 83-5107
〃	今 井 信 夫	宿原86-7	〃	83-1147 078-927-0018
〃	大 塚 美智夫	岩宮265-5	ソフトボール	82-6077 85-3300
〃	立 山 亘	志染町中自由が丘1丁目212	〃	85-0332 078-331-4716
〃	長曾我部 次郎	宿原1265-257	テ ニ ス	83-4187 83-8302
〃	木 村 俊 紀	志染町中自由が丘2丁目578	〃	83-1370 078-612-2052
〃	金 井 清	本町2丁目10-5	バスケットボール	82-3303 82-0555
〃	横 野 泰 祐	末広1丁目12-39	〃	83-3647 82-2555
〃	小 西 宏	細川町増田188	ゲートボール	86-2591
〃	大 前 吉 蔵	緑が丘町東3丁目6-2	〃	84-1807
〃	高 橋 敏 雄	神戸市北区星和台2-3-9	高 体 連	078-591-9080 82-5001
〃	増 澤 輝 夫	志染町青山5丁目12-16	〃	85-9585 85-8000
〃	今 安 孝 次	緑が丘町東1丁目10-17	中 体 連	85-4723 86-2334
〃	岸 本 亮 式	神戸市北区淡河町淡河685	〃	078-957-0522 82-0547
〃	永 尾 貢	志染町西自由が丘1丁目138	小学校体育研修部	85-5696 82-0341
〃	池 町 耕 一	細川町増田115	会長推薦	86-2978 82-0404
〃	魚 住 正 男	別所町東這田724-8	〃	82-8405 82-3232

事 務 局

主 事	岡 田 嘉 正	小野市山田町336-1	体育青少年課長	62-3475
主事補佐	姥 浩 二	加古川市平荘町山角154-1	体育青少年課長補佐	0794-28-1302
書 記	岩 崎 誠	大塚1丁目5-24	社会体育係長	82-7285
〃	河 端 康	緑が丘町東4丁目15-7	体育青少年課主事	85-5014

平成6年度種目協会役員名簿

※協会連絡先 上段(夜間) 下段(昼間)

協 会 名	役 職	氏 名	住 所	電 話
三木市 陸上競技協会	会 長	鷺 尾 弘 志	志染町井上449	87-3101
	副 会 長	井 上 滋 己	福井2142	82-2837
	◇	前 田 薫	別所町下石野25	82-4160
	理 事 長	池 町 耕 一	細川町増田115	86-2978
	連 絡 先	小 倉 滋	加佐1015-12	83-5123
			自由が丘小学校	85-1300
三木 軟式野球協会	会 長	大 林 嘉 蔵	末広2丁目12-43	82-1040
	副 会 長	高 島 末 暢	末広1丁目2-85	82-2182
	◇	宮 永 正 彦	加佐34-5	82-2335
	◇	池 町 早 苗	本町1丁目2-20	82-0535
	理事長・連絡先	五百蔵 征 幸	別所町小林734-60	85-0675
三木市卓球協会	会 長	中 嶋 将 雄	末広1丁目2-22	82-0043
	副 会 長	森 田 博 則	緑が丘町東2丁目12-14	84-1930
	顧 問	藤 原 正 明	細川町豊地707	86-2248
	事務局・連絡先	澤 田 勝	別所町東道田538	82-3325
			J A三木市南府内支店	82-3141
三木市 バレーボール 協会	会 長	渋谷 守	口吉川町殿畑640	88-0667
	副 会 長	井ノ元 恵美子	緑が丘町西3丁目3-21	84-0526
	顧 問	小 山 伊 一	本町2丁目9-10	82-1036
	理 事 長	川 島 富 雄	福井1丁目3-22	83-3628
	副理・連絡先	井 上 要 二	細川町瑞穂1256	88-0251
			三木市水道ガス事業所 内線4161	82-2000
三木市 ソフトテニス 協会	会 長	永 尾 隆 保	平田257	82-3683
	副 会 長	中 川 清 矩	緑が丘町東3丁目1-28	84-1247
	理 事 長	新 田 為 章	緑が丘町中2丁目14-7	85-1425
	連 絡 先	財 田 佳 朗	福井1丁目1-5	82-1983
三木市剣道連盟	会 長	藤 原 淳 作	細川町金屋177-2	86-2541
	副 会 長	小 紫 邦 夫	上の丸町11-41	82-5423
	◇	岸 本 晃	緑が丘町西1丁目9-20	85-2520
	幹 事 長	神 澤 正 輝	志染町青山5丁目14-6	85-4855
	名誉会長	宮 脇 義 昌	別所町石野792	82-3160
	連 絡 先	植 田 吉 則	末広1丁目14-11	82-1969
			瑞穂小学校	88-2550
三木市柔道協会	会 長	小 山 伊 一	本町2丁目9-10	82-1036
	副 会 長	池 田 哲 雄	別所町小林734-17 ローレルハイツ北神戸6-345	83-2899
	連 絡 先	五百蔵 勲	細川町西20	86-2715
			三木市役所 内線2253	82-2000

協 会 名	役 職	氏 名	住 所	電 話
三木市 空手道連盟	会 長 副 会 長 々 事 務 局 連 絡 先	宮 上 能 員 村 岡 秀 雄 佐 藤 綱 記 白 石 幸 一 郎 宮 上 能 員	志染町中自由が丘3丁目184 自由が丘本町3丁目219 大村848 志染町東自由が丘2丁目116 志染町中自由が丘3丁目184 ナブコ	85-2008 82-8584 83-3410 85-1291 85-2008 078-231-4062 内線327
三木市水泳協会	会 長 副 会 長 々 連 絡 先	山 村 富 和 告 野 嘉 朗 天 野 文 利 山 村 富 和	大塚1丁目4-46 志染町窟屋540 緑が丘町東2丁目11-20 大塚1丁目4-46	82-5868 85-3276 85-8309 82-5868
三木 サッカー協会	会 長 副 会 長 々 理 事 長 連 絡 先	岡 田 八 郎 西 阪 義 雄 内 田 忠 志 永 尾 貢 内 田 忠 志	志染町青山5丁目15-6 宿原1270-401 緑が丘町東1丁目9-11 志染町西自由が丘1-138 緑が丘町東1丁目9-11 平田小学校	85-3580 83-3549 85-5047 85-5696 85-5047 82-7322
三木 バドミントン 協会	会 長 副 会 長 々 理 事 長・連 絡 先	高 井 孝 行 大 片 貞 雄 今 井 信 夫 小 原 武	緑が丘町本町1丁目2-39 志染町東自由が丘2丁目114 宿原86-7 緑が丘町中2丁目8-11 神戸税関	85-2134 85-0874 83-1147 85-6147 078-857-0742
三木市 ソフトボール 協会	会 長 副 会 長 理 事 長 事 務 局 長 連 絡 先	藤 枝 啓 吾 大 塚 美 智 夫 立 山 亘 富 田 進 立 山 亘	口吉川町大島1086 岩宮265-5 志染町中自由が丘1丁目212 宿原1263-118 志染町中自由が丘1丁目212 大阪湾水先会	88-0638 82-6077 85-0332 82-6740 85-0332 078-331-4716
三木市 テニス協会	会 長 理 事 長 連 絡 先	長曾我部 次 郎 野 津 千 巻 長曾我部 次 郎	宿原1265-257 志染町東自由が丘1-628 宿原1265-257 広野化学	83-4187 85-8858 83-4187 83-8302
三木市 バスケット ボール協会	会 長 副 会 長 理 事 長・連 絡 先	藤 原 千 秋 金 井 清 横 野 泰 祐	大村1074-374 本町2丁目10-5 末広1丁目12-39 横野金物	83-2926 82-3303 83-3647 82-2555
三木市民 ゲートボール 協会	会 長 副 会 長 顧 問 連 絡 先	黒 井 進 小 西 宏 岡 本 正 文 黒 井 進	志染町御坂117 細川町増田188 別所町高木979-48 志染町御坂117	87-3852 86-2591 82-8778 87-3852

三木市体育協会歴代役員名簿

役 職 名		昭和29～36年度	昭和37～38年度	昭和39～40年度	昭和41～42年度
事務局	会 長	井 本 政 夫	衣 巻 顕 明		
	副 会 長				
	副会長・理事長				
	副会長・副理事長				
	会 計				
	監 査				
	監 査				
	理 事				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
	〃				
事務局	主 事	寺 本 勇 善		横 山 正 三	
	書 記	横 山 正 三		小 池 清 三	池 村 幸 隆
	〃	梨 原 宗 純		赤 松 輝	吉 永 七 郎
	〃				

役 職 名		昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度	昭和46年度
事務局	会 長	鷺 尾 弘 志		鷺 尾 弘 志	
	副 会 長	横 山 昇		横 山 昇	
	副会長・理事長	大 林 嘉 蔵		大 林 嘉 蔵	
	副会長・副理事長				
	会 計				
	監 査				
	監 査				
	理 事	前 田 薫		前 田 薫	
	〃	渋谷 守		渋谷 守	
	〃	岡 野 清		岡 野 清	
	〃	岡 田 逸 治		岡 田 逸 治	
	〃	武 川 茂 夫		武 川 茂 夫	
	〃	藤 原 正 明			
	〃				
事務局	主 事	横 山 正 三		横 山 正 三	
	書 記	池 村 幸 隆		池 村 幸 隆	森 本 吉 治
	〃		田 中 宏 通	澤 井 一 男	戸 田 明 儀
	〃				

役職名		昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度
会	長	鷺尾弘志	→	鷺尾弘志	→
副	会 長	横山 昇	→	横山 昇	→
副会長・理事長		大林嘉蔵	→	大林嘉蔵	→
副会長・副理事長		渋谷 守	→	渋谷 守	→
会	計	中嶋将雄	→	中嶋将雄	→
監	査	宮脇義昌	→	宮脇義昌	→
監	査	池田哲雄	→	池田哲雄	→
理	事	小倉 滋	→	小倉 滋	→
〃		前田 薫	→	前田 薫	→
〃		池町早苗	→	池町早苗	→
〃		衣川堯之	→	衣川堯之	→
〃		岡田逸治	→	岡田逸治	→
〃		井口威和緒	→	井口威和緒	→
〃		岡野 清	→	岡野 清	→
〃		常深陽太郎	→	常深陽太郎	→
〃		池町耕一	→	池町耕一	→
〃		岡森晴夫	→	岡森晴夫	→
〃		大豊次郎	→	大豊次郎	→
〃		野田義一	→	野田義一	→
〃		木島昌伸	→	藤田 貢	→
〃			山村富和	山村富和	→
〃			服部武司	服部武司	→
〃				塩田 満	→
〃				今井正人	→
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
主	事	横山正三	→	横山正三	→
書	記	森本吉治	→	森本吉治	→
〃		戸田明儀	→	戸田明儀	→
〃				黒井敏男	→

役 職 名		昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度
会 長		鷺 尾 弘 志	→	鷺 尾 弘 志	→
副 会 長		横 山 昇	→	横 山 昇	→
副会長・理事長		大 林 嘉 蔵	→	大 林 嘉 蔵	→
副会長・副理事長		洪 谷 守	→	洪 谷 守	→
会 計		中 嶋 将 雄	→	中 嶋 将 雄	→
監 査		宮 脇 義 昌	→	宮 脇 義 昌	→
監 査		池 田 哲 雄	→	池 田 哲 雄	→
理 事		小 倉 滋	→	河 合 正 美	→
〃		前 田 薫	→	池 町 早 苗	→
〃		池 町 早 苗	→	前 田 薫	→
〃		土 出 勝	→	小 倉 滋	→
〃		藤 原 淳 作	→	広 田 勇	→
〃		井 口 威和緒	→	土 出 勝	→
〃		永 尾 隆 保	→	井 口 威和緒	→
〃		常 深 陽太郎	→	永 尾 隆 保	→
〃		池 町 耕 一	→	藤 原 淳 作	→
〃		岡 森 晴 夫	→	野 田 義 一	→
〃		野 田 義 一	→	藤 田 貢	→
〃		藤 田 貢	→	今 井 隆 之	→
〃		山 村 富 和	→	山 村 富 和	→
〃		服 部 武 司	→	服 部 武 司	→
〃		小 山 伊 一	→	小 山 伊 一	→
〃		横 山 誠 一	→	平 田 義 則	→
〃		河 合 正 美	→	玉 木 芳 弘	→
〃		告 野 嘉 朗	→	高 井 孝 行	→
〃		竹 内 斉 克	→	竹 内 斉 克	→
〃		上 崎 長太郎	→	鹿 森 修 男	→
〃				玉 井 俊 夫	→
〃				池 町 耕 一	→
〃				上 崎 長太郎	大 塚 美智夫
〃					前 田 友 子
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
〃					
事 務 局	主 事	横 山 正 三	森 本 吉 治	森 本 吉 治	→
	書 記	森 本 吉 治	戸 田 明 儀	戸 田 明 儀	佐 藤 雅 勝
	〃	戸 田 明 儀	黒 井 敏 男	黒 井 敏 男	→
	〃	黒 井 敏 男	生 田 達 雄	生 田 達 雄	→

役 職 名		昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度
会 長		鷺 尾 弘 志	→	鷺 尾 弘 志	→
副 会 長		横 山 具	→	横 山 具	→
副会長・理事長		大 林 嘉 蔵	→	大 林 嘉 蔵	→
副会長・副理事長		渋谷 守	→	渋谷 守	→
会 計		中 嶋 将 雄	→	中 嶋 将 雄	→
監 査		宮 脇 義 昌	→	宮 脇 義 昌	→
監 査		池 田 哲 雄	→	池 田 哲 雄	→
理 事		河 合 正 美	→	河 合 正 美	→
〃		池 町 早 苗	→	池 町 早 苗	→
〃		前 田 薫	→	前 田 薫	→
〃		小 倉 滋	→	小 倉 滋	→
〃		広 田 勇	→	松 井 藤 男	→
〃		土 出 勝	→	山 本 晃 一	→
〃		井 口 威和緒	→	佐 藤 充	→
〃		佐 藤 充	→	中 川 清 矩	→
〃		藤 原 淳 作	→	藤 原 淳 作	→
〃		藤 田 貢	→	野 田 義 一	→
〃		今 井 隆 之	→	藤 田 貢	→
〃		山 村 富 和	→	今 井 隆 之	→
〃		服 部 武 司	→	山 村 富 和	→
〃		小 山 伊 一	→	服 部 武 司	→
〃		平 田 義 則	→	小 山 伊 一	→
〃		吉 田 一 茂	→	内 田 忠 志	→
〃		高 井 孝 行	→	高 井 孝 行	→
〃		大 塚 美智夫	→	上 田 正 人	→
〃		酒 井 友 子	→	大 塚 美智夫	→
〃		長曾我部 次郎	→	酒 井 友 子	→
〃		竹 内 斉 克	→	長曾我部 次郎	→
〃		鹿 森 修 男	→	石 原 義 勝	→
〃		玉 井 俊 夫	→	岡 田 哲 臣	→
〃		池 町 耕 一	→	鹿 森 修 男	→
〃		竹 内 秀 夫	→	玉 井 俊 夫	→
〃		告 野 嘉 朗	→	片 嶋 次 郎	→
〃			実 井 憲 二	実 井 憲 二	→
〃				告 野 嘉 朗	→
〃				池 町 耕 一	→
〃				魚 住 正 男	→
〃					
〃					
事 務 局	主 事	森 本 吉 治	→	森 本 吉 治	西 山 博 文
	書 記	佐 藤 雅 勝	→	西 山 博 文	佐 藤 雅 勝
	〃	黒 井 敏 男	→	佐 藤 雅 勝	黒 井 敏 男
	〃	生 田 達 雄	→	黒 井 敏 男	岩 崎 国 彦

役 職 名		昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度
会 長		鷺 尾 弘 志	→	鷺 尾 弘 志	→
副 会 長		横 山 昇	→	横 山 昇	→
副会長・理事長		大 林 嘉 蔵	→	大 林 嘉 蔵	→
副会長・副理事長		洪 谷 守	→	洪 谷 守	→
会 計		中 嶋 将 雄	→	中 嶋 将 雄	→
監 査		宮 脇 義 昌	→	宮 脇 義 昌	→
監 査		池 田 哲 雄	→	池 田 哲 雄	→
理 事		池 町 早 苗	→	前 田 薫	→
〃		五百蔵 征 幸	→	小 倉 滋	→
〃		前 田 薫	→	池 町 早 苗	→
〃		小 倉 滋	→	五百蔵 征 幸	→
〃		上 崎 長太郎	→	山 本 晃 一	→
〃		山 本 晃 一	→	井 上 要 二	→
〃		佐 藤 充	→	佐 藤 充	→
〃		財 田 佳 朗	→	財 田 佳 朗	→
〃		藤 原 淳 作	→	藤 原 淳 作	→
〃		野 田 義 一	→	野 田 義 一	→
〃		佐 藤 綱 記	→	佐 藤 綱 記	→
〃		今 井 隆 之	→	今 井 隆 之	→
〃		山 村 富 和	→	山 村 富 和	→
〃		神 崎 良 雄	→	神 崎 良 雄	→
〃		石 丸 和 馬	→	永 尾 貢	→
〃		内 田 忠 志	→	内 田 忠 志	→
〃		高 井 孝 行	→	高 井 孝 行	→
〃		上 田 正 人	→	今 井 信 夫	→
〃		大 塚 美智夫	→	大 塚 美智夫	→
〃		立 山 亘	→	立 山 亘	→
〃		長曾我部 次郎	→	長曾我部 次郎	→
〃		石 原 義 勝	→	福 間 俊 史	→
〃		玉 井 俊 夫	→	高 橋 敏 雄	→
〃		片 嶋 次 郎	→	寺 本 興 道	→
〃		岸 本 博 介	→	玉 井 俊 夫	→
〃		告 野 嘉 朗	→	片 嶋 次 郎	→
〃		池 町 耕 一	→	岸 本 博 介	→
〃		魚 住 正 男	→	告 野 嘉 朗	→
〃				池 町 耕 一	→
〃				魚 住 正 男	→
〃					金 井 清
〃					横 野 泰 祐
事 務 局	主 事	西 山 博 文	→	西 山 博 文	→
	書 記	佐 藤 雅 勝	黒 井 敏 男	古 田 寛 朗	→
	〃	黒 井 敏 男	岩 崎 国 彦	岩 崎 国 彦	→
	〃	岩 崎 国 彦		-	

役 職 名		昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度
会 長		鷺 尾 弘 志	→	鷺 尾 弘 志	→
副 会 長		中 嶋 将 雄	→	中 嶋 将 雄	→
副会長・理事長		大 林 嘉 蔵	→	大 林 嘉 蔵	→
副会長・副理事長		洪 谷 守	→	洪 谷 守	→
会 計		宮 脇 義 昌	→	宮 脇 義 昌	→
監 査		池 田 哲 雄	→	池 田 哲 雄	→
監 査		山 村 富 和	→	山 村 富 和	→
理 事		前 田 薫	→	前 田 薫	→
〃		小 倉 滋	→	小 倉 滋	→
〃		池 町 早 苗	→	池 町 早 苗	→
〃		五百蔵 征 幸	→	五百蔵 征 幸	→
〃		山 本 晃 一	→	山 本 晃 一	→
〃		井 上 要 二	→	井 上 要 二	→
〃		佐 藤 充	→	永 尾 隆 保	→
〃		若 林 博 之	→	財 田 佳 朗	→
〃		藤 原 淳 作	→	藤 原 淳 作	→
〃		野 田 義 一	→	宮 上 能 員	→
〃		佐 藤 綱 記	→	村 岡 秀 雄	→
〃		今 井 隆 之	→	今 井 隆 之	→
〃		神 崎 良 雄	→	天 野 文 利	→
〃		永 尾 貢	→	西 阪 義 雄	→
〃		内 田 忠 志	→	内 田 忠 志	→
〃		高 井 孝 行	→	高 井 孝 行	→
〃		今 井 信 夫	→	今 井 信 夫	→
〃		大 塚 美智夫	→	大 塚 美智夫	→
〃		立 山 亘	→	立 山 亘	→
〃		長曾我部 次郎	→	長曾我部 次郎	→
〃		田 中 敏 朗	→	郡 山 孝 志	→
〃		金 井 清	→	金 井 清	→
〃		横 野 泰 祐	→	横 野 泰 祐	→
〃		高 橋 敏 雄	→	高 橋 敏 雄	→
〃		寺 本 興 道	→	寺 本 興 道	→
〃		玉 井 俊 夫	→	玉 井 俊 夫	→
〃		片 嶋 次 郎	→	片 嶋 次 郎	→
〃		藤 本 貴 樹	→	藤 原 大 輔	→
〃		告 野 嘉 朗	→	告 野 嘉 朗	→
〃		池 町 耕 一	→	池 町 耕 一	→
〃		魚 住 正 男	→	魚 住 正 男	→
〃		横 山 昇	→		
事 務 局	主 事	烏 田 成 典	→	烏 田 成 典	岡 田 嘉 正
	書 記	古 田 寛 朗	石 丸 和 馬	石 丸 和 馬	→
	〃	岩 崎 国 彦	→	岩 崎 国 彦	河 端 康
	〃				

役 職 名		平成4年度	平成5年度	平成6年度	
会 長		鷺 尾 弘 志	→	鷺 尾 弘 志	
副 会 長		中 嶋 将 雄	→	中 嶋 将 雄	
副会長・理事長		大 林 嘉 蔵	→	大 林 嘉 蔵	
副会長・副理事長		渋谷 守	→	渋谷 守	
会 計		宮 脇 義 昌	→	宮 脇 義 昌	
監 査		池 田 哲 雄	→	池 田 哲 雄	
監 査		山 村 富 和	→	山 村 富 和	
理 事		前 田 薫	→	前 田 薫	
〃		小 倉 滋	→	小 倉 滋	
〃		池 町 早 苗	→	池 町 早 苗	
〃		五百蔵 征 幸	→	五百蔵 征 幸	
〃		平 上 文 洋	→	平 上 文 洋	
〃		井 上 要 二	→	井 上 要 二	
〃		永 尾 隆 保	→	永 尾 隆 保	
〃		財 田 佳 朗	→	財 田 佳 朗	
〃		藤 原 淳 作	→	藤 原 淳 作	
〃		宮 上 能 員	→	宮 上 能 員	
〃		佐 藤 綱 記	→	佐 藤 綱 記	
〃		今 井 隆 之	→	今 井 隆 之	
〃		天 野 文 利	→	天 野 文 利	
〃		西 阪 義 雄	→	西 阪 義 雄	
〃		岡 田 八 郎	→	岡 田 八 郎	
〃		高 井 孝 行	→	高 井 孝 行	
〃		今 井 信 夫	→	今 井 信 夫	
〃		大 塚 美智夫	→	大 塚 美智夫	
〃		立 山 亘	→	立 山 亘	
〃		長曾我部 次郎	→	長曾我部 次郎	
〃		木 村 俊 紀	→	木 村 俊 紀	
〃		金 井 清	→	金 井 清	
〃		横 野 泰 祐	→	横 野 泰 祐	
〃		小 西 宏	→	小 西 宏	
〃		近 藤 善 夫	→	大 前 吉 蔵	
〃		高 橋 敏 雄	→	高 橋 敏 雄	
〃		増 澤 輝 夫	→	増 澤 輝 夫	
〃		芝 本 拓	→	今 安 孝 次	
〃		片 嶋 次 郎	→	岸 本 亮 式	
〃		告 野 嘉 昭	→	永 尾 貢	
〃		告 野 嘉 朗	→	告 野 嘉 朗	
〃		池 町 耕 一	→	池 町 耕 一	
〃		魚 住 正 男	→	魚 住 正 男	
事 務 局	主 事	岡 田 嘉 正	→	岡 田 嘉 正	
	書 記	姥 浩 二	→	姥 浩 二	
	〃	石 丸 和 馬	岩 崎 誠	岩 崎 誠	
	〃	河 端 康	→	河 端 康	

三木市体育協会規約

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本協会は三木市体育協会という。

(目 的)

第2条 本協会は、体育諸団体が相互の親密なる協調と連絡を保ち、体育・スポーツ・レクリエーションなどの普及、振興をはかり市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の育成に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 本協会は前条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- (1) 三木市体育行政及びその他の機関、団体の施策に対して協力すること。
- (2) スポーツのアマチュア精神を確立すること。
- (3) 加盟団体の強化発展と相互の連絡融和を図ること。
- (4) スポーツの指導者養成を図ること。
- (5) 各種大会・講習会等、スポーツに関する行事の実施。
- (6) スポーツの宣伝、啓発及び研究調査に関すること。
- (7) スポーツの功労者並びに優秀選手を表彰すること。
- (8) その他本協会の目的達成に必要な事業。

(登 録)

第4条 本協会は兵庫県体育協会に加盟する。

(事務所)

第5条 本協会の本部及び事務局は、三木市教育委員会事務局内に置く。

(加盟団体)

第6条 本協会は各種アマチュア体育団体（以下「加盟団体」という。）をもって組織する。学校体育連盟は、本協会の組織単位として認めることができる。

(加 盟)

第7条 加盟団体及び前条の組織団体として認められた団体は理事会の決議を経て加盟する。

(脱 退)

第8条 加盟団体が第6条に掲げる資格を失った時、又は加盟が不適當であると認められ

た時は、理事会の決議を経て脱退させることができる。

第2章 組 織

(役 員)

第9条 本協会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 理事長 1名
- (4) 副理事長 若干名
- (5) 理事 若干名
- (6) 監査 若干名
- (7) 会計 1名

(役員を選出)

第10条 本協会の役員は次によって選出する。

- 2 会長、副会長は理事会の決議を得てこれを定める。
- 3 理事長、副理事長、監査、会計は理事会に於いて理事の中から選出する。
- 4 理事は、構成団体の中から各2名選出し、その他、学識経験者から若干名会長が推薦し、理事会の承認を得て選出することができる。

(任 務)

第11条 本協会の役員の任務は次のとおりとする。

- 2 会長は本協会を代表し会務を統理する。
- 3 副会長は会長を補佐し会長事故ある時はその職務を代行する。
- 4 理事長は会長の命を受けて会務を執行し、副理事長は理事長を補佐し理事長事故あるときは、その職務を代行する。
- 5 理事は理事会を組織し、本協会の重要会務を審議処理する。
- 6 監査は本協会の会計を監査する。
- 7 会計は本協会の会計をつかさどる。

(名誉会長、顧問、参与)

第12条 本協会は、理事会の議決を経て名誉会長、顧問、参与を置くことができる。

(職 員)

第13条 本協会の会務の処理をするために主事及び書記若干名を置くことができる。

2 主事及び書記は理事長の推薦により、理事会の承認を経て会長が任命する。

(任期)

第14条 本協会の役員の任期は2カ年とする。但し、再任を妨げない。補欠役員の任期は、前任者の残任期間とし、増員による役員の任期は他の役員の残任期間とする。

第3章 会 議

(理事会)

第15条 理事会は会長、副会長及び理事をもって構成し、会長がこれを召集する。

(議 事)

第16条 会議は召集役員の2分の1の出席をもって成立し議決は出席者の過半数をもってきめる。

(記 録)

第17条 すべての会議には会議録を作成する。

第4章 会 計

(経 費)

第18条 本協会の経費は次に定めるものをもって当てる。

- (1) 会費
- (2) 事業収入
- (3) 寄付金
- (4) 補助金
- (5) その他

(会計年度)

第19条 本協会の会計年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日に終わる。

第5章 専門委員会

(設 置)

第20条 本会は理事会の議決を経て各種専門委員会を設けることができる。

第21条 各種専門委員会は、それぞれの所管する事項に関しては決定及び実施の権限を有する。但し、各種専門委員会の事業計画及び基本方針については理事会の承認を得なければならない。

第22条 各種専門委員会について必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める。

第6章 規約の変更及び細則

(規約の変更)

第23条 本協会の規約の変更は理事会において過半数の同意があればこれを変更することができる。

(細 則)

第24条 本協会の細則は別にこれを定める。

附 則

本規約は、昭和43年4月1日より施行する。

昭和32年4月1日 制定

昭和36年4月16日 一部改正

昭和43年4月1日 改正

三木市体育功労者表彰者一覧

市制周年功労者表彰、体育協会表彰及び体育指導委員等

No. 1

年 度	近畿体育指導委員会功労者表彰	兵庫県体育指導委員会功労者表彰	東播磨体育指導委員功労者表彰
43			
44		渋谷 守	
45～48			
49			
50			
51			池町 早苗
52、53			
54			池町 耕一
55		魚住 正男、池町 耕一	池田 哲雄、寺本 興道、魚住 正男
56		寺本 興道	山村 富和、藤原 淳作
57		藤原 淳作	
58		池田 哲雄	
59		山村 富和	高井 孝行、竹内 齊克
60			
61			魚住 英雄
62			實井 憲二
63		高井 孝行	富田 進、玉井 俊夫
平成元年			川島 富雄、小嶋 茂葉
2			片嶋 次郎
3	山村 富和	魚住 英雄	
4			井上 要二、渋谷 博生
5		富田 進	横野 泰祐、楠本 信男
6		小嶋 茂葉	木下 安男、山内 基行

三木市体育功労者表彰者一覧

市制周年功労者表彰、体育協会表彰及び体育指導委員等

No. 2

年 度	兵庫県体育協会功労者表彰	三木市体育協会功労者表彰（感謝状）	市制記念周年大会功労者表彰
4 3			
4 4			
4 5～4 8			
4 9			渋谷 守
5 0			
5 1			
5 2、5 3			
5 4			小倉 滋、前田 薫、池町 耕一 池町 早苗、井口威和緒、宮脇 義昌 池田 哲雄、中嶋 将雄、藤田 貢 山村 富和、服部 武司、告野 嘉朗 竹内 齊克
5 5	井口威和緒		
5 6	大林 嘉蔵		
5 7	前田 薫		
5 8	渋谷 守		
5 9		鷺尾 誠、藤井 晃正、渋谷 博生 河合 正美、岡田 正一、池町 早苗 渋谷 守、上嶋長太郎、広田 勇 土出 勝、坂田 憲治、山本 晃一 三宅 祐治、三宅 得之、永尾 隆保 武川 茂夫、武川 正英、今井 隆之 服部巳代基、小紫 邦夫、高橋 洋三 須藤 正寿、玉井 俊夫、荒川 三治 神崎 良雄、横山 誠一、塩田 満 飯田 弘次、松沢 功、藤木 義和 吉田 一茂、大塚美智夫、酒井 友子 西坂 豊、原 春男、佐藤 充 長曾我部次郎	大林 嘉蔵、横山 具、前田 薫
6 0			
6 1	宮脇 義昌		
6 2			
6 3	横山 具		
平成元年		魚住 正男、大野 誠一、五百蔵征幸 魚住 英雄、木下 安男、宮本 敦子 澤田 勝、佐藤 充、中川 清矩 井上 要二、大林 勲、森下 哲次 今井 正人、實井 憲二、高井 孝行 今井 信夫、立山 亘、今富 隆 若林 博之、福岡 俊史、藤原 千秋 天野 文利、佐藤 雅勝	宮脇 義昌、中嶋 正明
2			
3	山村 富和		
4	中嶋 将雄		
5			
6		三原 充廣、桑 英行、小山 久男 堀内 修次、山田 啓一、森田 博則 平上 文洋、武庫富美子、井ノ元恵美子 川島 富雄、常深 政三、坂田 敏夫 新田 為章、財田 佳朗、岸本 晃 神澤 正輝、伊藤 富蔵、中村 古 森田 正己、藤原 茂芳、宮上 能員 三村 勲、松平 未次、黒田 静男 西馬 英雄、西阪 義雄、岸本 博介 内田 忠志、大片 貞雄、澄川 稔子 折野 貞夫、浅川 義弘、吉田 平三 田中 敏朗、野津 千巻、郡山 孝志 金井 清、横野 泰祐、芝本 拓 黒井 進、小西 宏	

三木市スポーツ賞受賞者一覧表

No. 1

年度	三 木 市 民 ス ポ ー ツ 最 高 賞	
	個 人	団 体
43	(制定)	
44		
45		
46		
47	小原 強志(陸上) 平井可津代(陸上)	
48	渋谷 俊司(水泳) 泉 秀和(水泳)	三木中学校男子バレーボール部
49	山村 祐一(水泳) 黒田 静男(水泳) 出雲 誠(水泳)	三木中学校男子バレーボール部 三木フットボールクラブ
50	金鹿 玉緒(陸上) 藤井 晃正(陸上) 河中 好之(陸上) 名倉 正憲(水泳) 藤原 貴代(水泳) 大東美恵子(水泳)	三木クラブ(バレーボール) 三木市スポーツ少年団サッカー部 口吉川スポーツ少年団女子サッカー部 三木SSS(サッカー) 三木スポーツ少年団6年 星陽中サッカー部 三木高校空手道部 三木高校山岳部 三木中学校サッカー部 三木中学校テニス部
51	福本 政浩(水泳) 戸田 光剛(水泳)	
52	金鹿 玉緒(陸上) 磯野恵理子(水泳) 小坂 良子(水泳) 藤田 晴子(水泳)	三木中学校男子バレーボール部 緑が丘中学校サッカー部 三木中学校水泳部男子リレーメンバー 朝日ヶ丘スポーツ少年団(サッカー)
53	八木 睦美(陸上)	
54	藤本 哲也(水泳) 高橋 真利(水泳) 内山 直美(水泳) 栗林 英夫(水泳) 荒川 興子(水泳)	キャンディーズ(女子ソフトボール) 三木中学校男子バレーボール部
55	八木 睦美(陸上) 金鹿 玉緒(陸上) 安随ゆかり(陸上) 横山 重政(陸上) 村松 津子(陸上) 藤本 由雄(水泳) 温湯奈緒美(水泳) 若杉多江子(水泳) 大西 智子(水泳) 福本 信浩(水泳) 高木 耐(水泳) 長田 由美(水泳)	三木中学校駅伝競走部 三木中学校男子バレーボール部
56	安随ゆかり(陸上) 切原 孝治(陸上) 赤松 哲次(陸上) 清水 義一(水泳) 藤田 晴子(水泳) 増家 秀彦(水泳) 沢田あゆみ(水泳) 大東 大樹(水泳) 森本真由美(水泳) 井上 豊和(水泳) 市枝 郁子(水泳) 形本ゆかり(剣道)	別所中学校サッカー部 三木バドミントンチーム 三木排釜会(バレーボール) 三木高校女子水泳部
57	赤松 哲次(陸上) 戸田 香織(陸上) 金鹿 玉緒(陸上) 滝谷美津子(陸上) 横山 重政(陸上) 栗林 英夫(水泳) 徳平 一郎(水泳) 片岡 伸二(相撲) 永尾 嘉章(車イス・スラローム)	別所中学校サッカー部 緑が丘西3丁目同好会(ソフトボール) 三木中学校相撲部 三木排釜会(バレーボール) 緑が丘中学校陸上部リレーメンバー
58	今福 仁志(陸上) 滝谷美津子(陸上) 本岡 弘隆(陸上) 山田 勝美(陸上) 新倉 優美(陸上) 浜口 佳美(陸上) 上田 純子(陸上) 稲田 百寿(水泳) 山本 隆一(水泳) 末瀬 文(水泳) 徳平 一郎(水泳) 坪田 義智(相撲) 永尾 嘉章(車イス・スラローム)	緑が丘西3丁目同好会(ソフトボール) 三木高校男子バレーボール部 三木高校サッカー部 三木東高校女子陸上競技部 三木中学校相撲部 三木排釜会(バレーボール) 三木自由が丘M.C.(バレーボール)
59	吉田 公宏(陸上) 齊藤千江子(陸上) 三輪 泰教(陸上) 山田 勝美(陸上) 新倉 優美(陸上) 上田 純子(陸上) マクドナルド エリザベス・信子(陸上) 森田 章嗣(相撲)	三木フットボールクラブ(サッカー) 三木中学校相撲部 自由が丘中学校野球部 三木排釜会(バレーボール)
60	梶原 雅寛(陸上) 田村 綾(陸上) 上田 純子(陸上) 上田 佳世(陸上) 角 鉄平(陸上) 宮脇 英光(剣道) 形本ゆかり(剣道) 坪田 義智(相撲) 森田 章嗣(相撲)	三木市剣道連盟男子チーム 三木市剣道連盟女子チーム 三木バドミントンチーム 三木排釜会(バレーボール) 三木中学校相撲部 三木中学校男子軟式庭球部 三木自由が丘M.C.(バレーボール)
61	森水 信二(陸上) 谷口美和子(陸上) 藤田 靖二(水泳) 徳平 一郎(水泳) 増家 秀彦(水泳) 塩田美弥子(水泳) 中浜美司子(水泳) 藤本 伯志(水泳) 森田 章嗣(相撲)	三木市青年水泳チーム 三木フットボールクラブ(サッカー) 三木排釜会(バレーボール) 三木バドミントンチーム 緑が丘(ソフトボール) 三木中学校女子駅伝チーム(陸上)
62	北門 敏宗(陸上) 大野 香織(陸上) 昇 裕之(陸上) 岡田脩香里(陸上) 桑田 隆平(水泳) 武庫 有子(卓球)	三木排釜会(バレーボール) 三木フットボールクラブ(サッカー) 三木中学校女子駅伝チーム(陸上) 三木高校山岳部女子
63	中島 里実(陸上) 足立 浩(陸上) 桑田 隆平(水泳) 栗林 英夫(水泳) 大内 信美(相撲)	三木排釜会(バレーボール) 三木中学校女子駅伝競走部(陸上)
	三木市スポーツ賞表彰規則の制定(平成元年12月21日)	

三木市スポーツ賞受賞者一覧表

No. 2

年度	優秀選手・団体賞		奨励賞		特別賞
	個人	団体	個人	団体	
元	杉田 博久 (陸上) 片山 雅彦 (陸上) 栗山 一美 (空手)		三浦 宏文 (陸上) 常本 佳希 (陸上) 藤井 大 (陸上) 大上みどり (陸上) 戸田 ちえみ (陸上) 田中 幸光 (陸上) 福井 昌子 (陸上) 下津 愛子 (陸上) 宮田 恭子 (陸上) 中嶋 里実 (陸上) 加藤 貴志 (水泳) 市原なおみ (水泳) 安岡とも子 (水泳) 山田 由美 (水泳) 栗師 隆太 (水泳) 林野 一義 (柔道) 上田 美樹 (庭球) 田中 千香 (庭球) 二宮 聡 (庭球) 森 淳 (庭球) 大川 真雄 (バドミントン)	三木東中学校女子駅伝競走部 三木東高等学校男子軟式庭球部 三木東高等学校柔道部 三木連合青年団 (水泳) 三木排釜会 (バレーボール) 前田クラブチーム (ソフトボール)	
2	田中 幸光 (陸上) 大森 幸一 (水泳) 市原なおみ (水泳) 高松 真哉 (テニス)	三木東高等学校 軟式庭球部	三浦 宏文 (陸上) 栄 善哉 (陸上) 大上みどり (陸上) 澤田 隆 (陸上) 岡 真哉 (陸上) 杉田 博久 (陸上) 中嶋 里実 (陸上) 中野 大介 (陸上) 橋田 智仁 (陸上) 西山 世剛 (水泳) 橋田 健次 (水泳) 杉田 祥子 (水泳) 三浦 聖子 (水泳) 武藤真由美 (水泳) 村上 容子 (水泳) 北尾 友裕 (水泳) 石岡 明子 (バレーボール) 那須敏比古 (剣道) 山本 卓弥 (卓球) 川野 勇人 (卓球) 上田 美樹 (庭球) 田中 千香 (庭球) 増田 裕弘 (庭球) 田上 道 (庭球) 中西 久昌 (バドミントン) 澄川 稔子 (バドミントン) 大川 真雄 (バドミントン) 齋藤 和巳 (ウエイトリフティング) 安随しのぶ (ウエイトリフティング)	三木東中学校女子駅伝競走部 三木排釜会 (バレーボール)	北門 敏宗 (陸上) 陣在 茂章 (陸上) 森田 章嗣 (相撲)
3	市原なおみ (水泳) 齋藤 和巳 (バレーボール)		水堀 順一 (陸上) 稲見 臣二 (陸上) 三浦 宏文 (陸上) 村上 容子 (水泳) 西山 世剛 (水泳) 武藤真由美 (水泳) 鳥居 啓悟 (水泳) 石崎 義忠 (水泳) 高谷 光一 (剣道) 中村 古 (柔道) 岡田 富美 (卓球) 山本 卓弥 (卓球) 大和 達郎 (庭球) 田上 知幸 (庭球) 中西 久昌 (バドミントン) 中江由美子 (バドミントン) 大川美由紀 (バドミントン) 澄川 稔子 (バドミントン) 安随しのぶ (ウエイトリフティング) 立助聖紀子 (ウエイトリフティング) 殿界めぐみ (ウエイトリフティング) 小西美由貴 (ウエイトリフティング) 長谷川陽子 (ウエイトリフティング) 沖浦 克治 (パワーリフティング)	自由が丘中学校軟式庭球部男子 三木高等学校サッカー部 三木高等学校山岳部女子 三木東高等学校サッカー部 別所スポーツ少年団4年 (サッカー) 緑が丘東スポーツ少年団女子 (サッカー) 三木排釜会 (バレーボール) 三木東高等学校なぎなた部 三木東高等学校卓球部女子 三木市チーム (柔道)	
4	市原なおみ (水泳) 立助聖紀子 (バレーボール) 長谷川陽子 (バレーボール) 小西美由貴 (バレーボール)	自由が丘中学校 男子ソフトテニス部	金井 望 (陸上) 森尾 健一 (陸上) 境 実千世 (陸上) 福田 貴志 (陸上) 澄川 寛 (陸上) 稲見 臣二 (陸上) 北尾 友裕 (水泳) 稲田 百寿 (水泳) 松坂 美和 (水泳) 藤本かおり (水泳) 栗林 英夫 (水泳) 栗林 正弘 (水泳) 藤本 由雄 (水泳) 藤原 功旨 (サッカー) 佐野 宜規 (卓球) 藤枝進治郎 (卓球) 田上 知幸 (ソフトテニス) 鎌田 節子 (ソフトテニス) 大和 達郎 (ソフトテニス) 中西 久昌 (バドミントン) 大川美由紀 (バドミントン) 澄川 稔子 (バドミントン) 澄川 良雄 (バドミントン) 中江由美子 (バドミントン) 西垣 英行 (バドミントン) 中井 貴子 (バドミントン) 近藤さおり (なぎなた) 殿界めぐみ (ウエイトリフティング)	三木市チーム (剣道) 三木市チーム (柔道) 三木排釜会 (バレーボール) 三木自由が丘M. C. (バレーボール) 三木東高等学校卓球部女子	

三木市スポーツ賞受賞者一覧表

No. 3

年度	優秀選手・団体賞		奨励賞		特別賞
	個人	団体	個人	団体	
			内田 博康 (ウエイトリフティング) 大中 徹 (ウエイトリフティング) 沖浦克治 (パワーリフティング)		
5	小西美由貴 (バレーボール) 兼子 宏 (陸上) 福田 貴志 (陸上)		藤原 和臣 (陸上) 橘田 恵 (陸上) 井手本真衣子 (陸上) 岡室 智行 (卓球) 岩崎 陽介 (卓球) 武庫 有子 (卓球) 谷迫 由美 (バスケットボール) 藤森 茂樹 (テニス) 樹田 安希 (ソフトテニス) 高下智恵子 (ソフトテニス) 中川 清矩 (ソフトテニス) 田中 真三 (ソフトテニス) 若林 博之 (ソフトテニス) 岸田 正輔 (ソフトテニス) 木山 芳雄 (ソフトテニス) 澄川 稔子 (バドミントン) 大片 貞雄 (バドミントン) 中西 久昌 (バドミントン) 大片美由紀 (バドミントン) 中江由美子 (バドミントン) 岡本 慶子 (バドミントン) 大西 誠子 (なぎなた) 島田 隆宏 (ウエイトリフティング) 畑 邦宣 (ウエイトリフティング)	三木ユニオンズ (野球) 別所スポーツ少年団サッカー部 三木高等学校陸上部 緑が丘東サッカークラブ 三木高等学校サッカー部 三木排釜会 (バレーボール) POPEYE (バレーボール) 自由が丘小学校特別サッカークラブ 自由が丘中学校女子ソフトテニス部 三木東高等学校男子ソフトテニス部 三木北高等学校男子ソフトテニス部 自由が丘中学校男子ソフトテニス部 三木なかよしチーム (ゲートボール) 三木市チーム (柔道)	齋藤 和巳 (バレーボール)
6	樹田 安希 (ソフトテニス) 高下智恵子 (ソフトテニス) 今井千尋 (陸上)		林 敬子 (陸上) 榮 善哉 (陸上) 衣田 友美 (陸上) 高木 晃子 (陸上) 井手本真衣子 (陸上) 泉 雄一郎 (陸上) 藤原 和臣 (陸上) 稲見 臣二 (陸上) 澄川 寛 (陸上) 三浦 聖子 (水泳) 牧村 晴奈 (バレーボール) 岩崎 陽介 (卓球) 小林 真佑 (ソフトテニス) 村上 佳子 (ソフトテニス) 中川 清矩 (ソフトテニス) 田中 真三 (ソフトテニス) 宮脇 正富 (バドミントン) 高井 雅也 (バドミントン) 大片 貞雄 (バドミントン) 大片美由紀 (バドミントン) 中江由美子 (バドミントン) 岡本 慶子 (バドミントン) 澄川 稔子 (バドミントン) 田中 里佳 (ウエイトリフティング)	三木ユニオンズ (野球) 別所スポーツ少年団サッカー部 三木市チーム (柔道) 自由が丘中学校女子バレーボール部 自由が丘中学校駅伝競走部女子 三木高等学校陸上部 三木東高等学校女子ソフトテニス部 三木排釜会 (9人制バレーボール) ビクトリー (9人制バレーボール)	

三木市スポーツ賞表彰規則

(目 的)

第1条 この規則は、三木市における体育・スポーツの成績が優秀であった個人又は団体を表彰し、市民の範とするとともに、スポーツを広く市民に普及させることを目的とする。

(表彰の種類及び対象者)

第2条 表彰は、次に掲げる種類とし、被表彰者は当該各号に該当する者で、学校、体育協会又は教育委員会事務局から推薦されたものとする。

(1) スポーツ優秀選手・団体賞

個人又は団体として体育・スポーツの競技成績が特に顕著なもの

(2) スポーツ奨励賞

個人又は団体として体育・スポーツの競技成績が顕著で、将来において活躍が一層期待されるもの

(選考及び決定)

第3条 被表彰者は、前条の規程により推薦された候補者について三木市スポーツ賞選考委員会（以下「選考委員会」という。）で審議し、教育委員会が決定する。

(選考委員会)

第4条 選考委員会は、体育協会並びに教育委員会事務局及び学識経験者で構成する。

(表彰の方法)

第5条 被表彰者には、表彰状及び記念品を贈る。

(表彰の時期)

第6条 表彰は、毎年1回教育委員会が定める日に行う。

(推薦の方法)

第7条 候補者の推薦は、三木市スポーツ賞候補者推薦書（別記様式）により教育委員会に行うものとする。

- 2 前項の推薦は、毎年1月から12月末までの競技成績等を対象として行う。

(選考の基準)

第8条 被表彰者の選考の基準は、別に定める。

(その他)

第9条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が定める。

附 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 三木市市民スポーツ最高賞選定規則（昭和43年三教委規則第7号）は、廃止する。

－ 三木市立のスポーツ関連施設 －

ともえ運動公園 別所町巴13 ☎82-9822 (ともえ会館)	野球場1面、テニスコート兼バレーボールコート1面
高木公園 別所町高木79-1 ☎83-4309	テニスコート4面、芝生広場、児童広場
緑が丘スポーツ公園 緑が丘町西2丁目42 ☎85-5522	テニスコート8面、多目的グラウンド、児童広場
自由が丘北公園 志染町吉田 ☎82-2000 (市役所 都市整備課)	野球場1面
三木グリーンパーク 福井 ☎83-2212 (クリーンセンター)	多目的グラウンド1面
三木山総合公園 福井 ☎83-4442 (陸上競技場メインスタンド内)	野球場(1面)、陸上競技場(多目的広場)、親水広場、展望広場
市民運動場(体育館) 福井 ☎82-0941 (勤労青少年ホーム)	勤労者体育センター(バレーボール2面、バスケットボール1面、バドミントン4面)、市民体育館(同上)
三木コミュニティスポーツセンター 加佐572 ☎83-3434	アリーナ(同上)、トレーニングルーム、ミーティングルームなど。
サンライフ三木 福井1933-12 ☎83-3010	体育館、トレーニングルーム
公民館 別所町=別所町西遠田1丁目10 ☎82-0072 志染町=志染町井上173 ☎87-3814 細川町=細川町豊地55-1 ☎86-2059 口吉川町=口吉川町殿畑144 ☎88-0004 緑が丘町=緑が丘町中3丁目38 ☎85-7011 自由が丘=志染町西自由が丘1丁目595 ☎85-4700 青山=志染町青山3丁目15-2 ☎87-1300	体育館、トレーニングルーム(緑が丘、自由が丘)
屋内ゲートボール場 福井2472 ☎83-0488	ゲートボール場2面
クリーンセンター庭球場 小林525-2 ☎83-2212 (クリーンセンター)	テニスコート3面

あ と が き

昭和29年7月1日に三木市体育協会が設立され、はや、40年を迎えることになりました。

記念誌は、10年前の30周年記念に初めて発刊されましたが、今回の40周年記念誌は、前号の貴重な資料にこの10年間のあゆみを加えるとともに、新たに「40周年記念なつかし・おもしろ写真展」、「一般協会の寄稿文」、「輝かしき栄冠」等を加えて、40周年にふさわしいフレッシュな内容にと編集作業にあたっていました。

スポーツの目的、内容が多様化する中、この記念誌発行を機に40年の歴史を振り返り、今後のスポーツのあり方を考えるとともに、スポーツのすばらしさをますます再認識いただければと思います。

最後になりましたが、ご寄稿いただいた方々、貴重な写真を提供していただいた方々に厚く御礼申し上げます。

40周年記念誌編集部会一同

発行年月日 平成7年3月吉日
三 木 市 体 育 協 会
〒673-04 兵庫県三木市上の丸町10-30
三木市教育委員会 体育青少年課内
☎ (0794) 82-2000
印 刷 株式会社 イズミ
